

調査の概要

1. 調査の目的
新城市男女共同参画プラン策定の基礎資料とする。
2. 対象
新城市に在住の満20歳以上の男女1,000人
3. 抽出方法
住民基本台帳による層化無作為抽出
※住民基本台帳により、地区（旧市町村）別、年齢階層別、男女別を設定
4. 調査方法
郵送配布、郵送回収
5. 調査期間
平成26年11月27日～12月12日
6. 調査項目
 - (1) 属性（あなた自身のことについて）
 - (2) 男女平等について
 - (3) 結婚、家庭生活について
 - (4) 子育て、子どもの教育について
 - (5) 働くことについて
 - (6) 配偶者からの暴力（DV）について
 - (7) 地域活動などへの参加について
 - (8) 介護について
 - (9) 男女共同参画社会に関する意識について
7. 回収結果

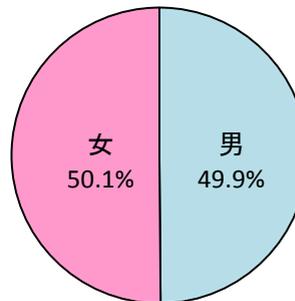
(1) 調査票配布数	1,000通
(2) 回収数	391通
(3) 回収率	39.1%
8. 報告書の見方
 - (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならないこともあります。
 - (2) 基礎となるべき実数は、件数または調査数として掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
 - (3) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数とし、その項目を選び○印をつけた人が全体から見てどれだけの割合なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率を合計すると100%を超えます。

1. あなた自身のことについて

Q1 あなたの性別についてお答えください。（〇は1つだけ）

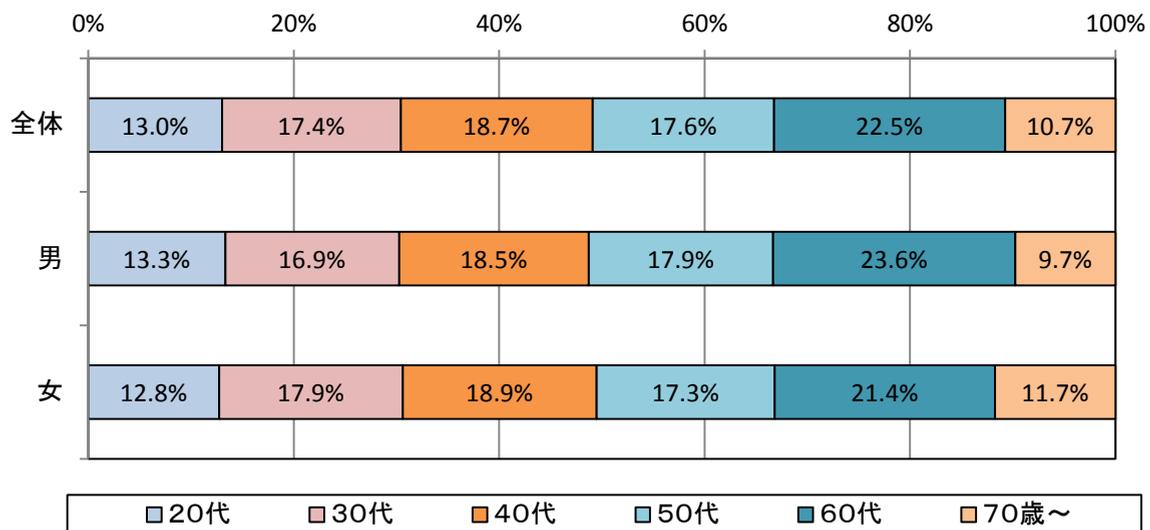
**「男性」が49.9%、「女性」が50.1%となり、
回答割合は半数ずつになりました。**

全体	391人	100.0%
男	195人	49.9%
女	196人	50.1%



Q2 あなたの年齢についてお答えください。（〇は1つだけ）

回答者の年齢は「60代」が22.5%と最も多く、以下「40代」が18.7%、「50代」が17.6%、「30代」が17.4%、「20代」が13.0%、「70歳以上」が10.7%、となっています。



	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~	合計
全体	51 13.0%	68 17.4%	73 18.7%	69 17.6%	88 22.5%	42 10.7%	391 100.0%
男	26 13.3%	33 16.9%	36 18.5%	35 17.9%	46 23.6%	19 9.7%	195 100.0%
女	25 12.8%	35 17.9%	37 18.9%	34 17.3%	42 21.4%	23 11.7%	196 100.0%

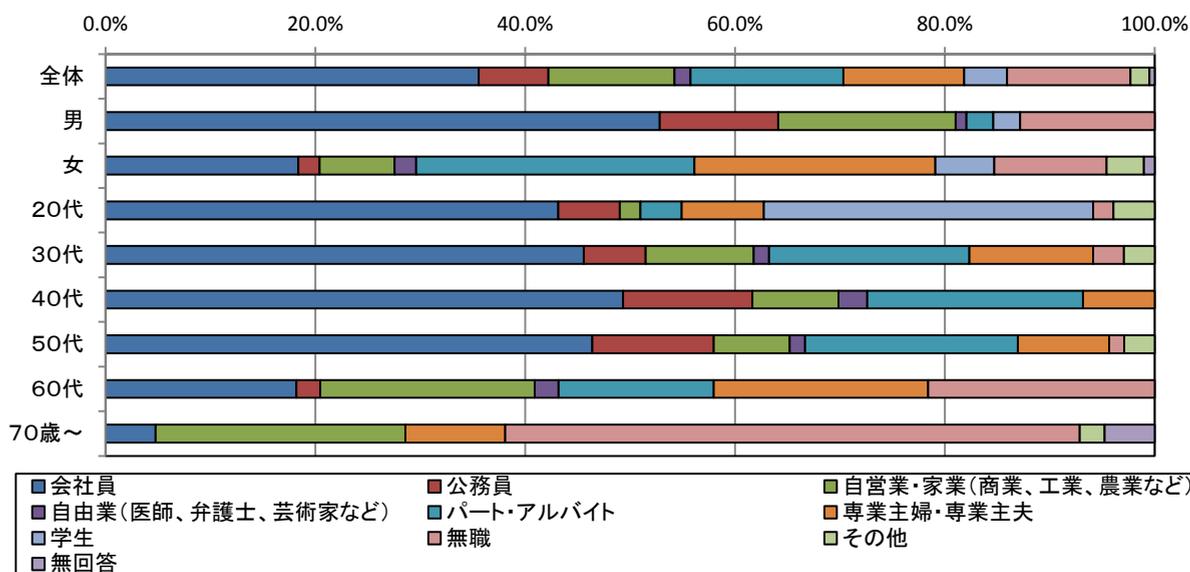
Q3 あなたの職業についてお答えください。2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。（1つに○）

男性は「会社員」52.8%、「自営業・家業」16.9%
女性は「パート・アルバイト」26.5%、「専業主婦」が23.0%

全体では、「会社員」が35.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が14.6%、「自営業・家業」が12.0%となっています。

男女別では「会社員」では、男性52.8%に対して女性が18.4%、「パート・アルバイト」では、男性が2.6%にたいして女性が26.5%となっています。

年代別では、20代は「会社員」が43.1%、30代は「会社員」45.6%、「パート・アルバイト」が19.1%、40代は「会社員」が49.3%、「パート・アルバイト」が20.5%、50代では「会社員」が46.4%、「パート・アルバイト」が20.3%、60代は「無職」が21.6%、「専業主婦・主夫」が20.5%、70歳以上は「無職」54.8%、「自営業・家業」が23.8%となっています。



	会社員	公務員	自営業・家業(商業、工業、農業など)	自由業(医師、弁護士、芸術家など)	パート・アルバイト	専業主婦・専業主夫	学生	無職	その他	無回答	合計
全体	139 35.5%	26 6.6%	47 12.0%	6 1.5%	57 14.6%	45 11.5%	16 4.1%	46 11.8%	7 1.8%	2 0.5%	391 100.0%
男	103 52.8%	22 11.3%	33 16.9%	2 1.0%	5 2.6%	0 0.0%	5 2.6%	25 12.8%	0 0.0%	0 0.0%	195 100.0%
女	36 18.4%	4 2.0%	14 7.1%	4 2.0%	52 26.5%	45 23.0%	11 5.6%	21 10.7%	7 3.6%	2 1.0%	196 100.0%
20代	22 43.1%	3 5.9%	1 2.0%	0 0.0%	2 3.9%	4 7.8%	16 31.4%	1 2.0%	2 3.9%	0 0.0%	51 100.0%
30代	31 45.6%	4 5.9%	7 10.3%	1 1.5%	13 19.1%	8 11.8%	0 0.0%	2 2.9%	2 2.9%	0 0.0%	68 100.0%
40代	36 49.3%	9 12.3%	6 8.2%	2 2.7%	15 20.5%	5 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	73 100.0%
50代	32 46.4%	8 11.6%	5 7.2%	1 1.4%	14 20.3%	6 8.7%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.9%	0 0.0%	69 100.0%
60代	16 18.2%	2 2.3%	18 20.5%	2 2.3%	13 14.8%	18 20.5%	0 0.0%	19 21.6%	0 0.0%	0 0.0%	88 100.0%
70歳~	2 4.8%	0 0.0%	10 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 9.5%	0 0.0%	23 54.8%	1 2.4%	2 4.8%	42 100.0%

Q4 あなたは現在結婚されていますか。(1つに〇)

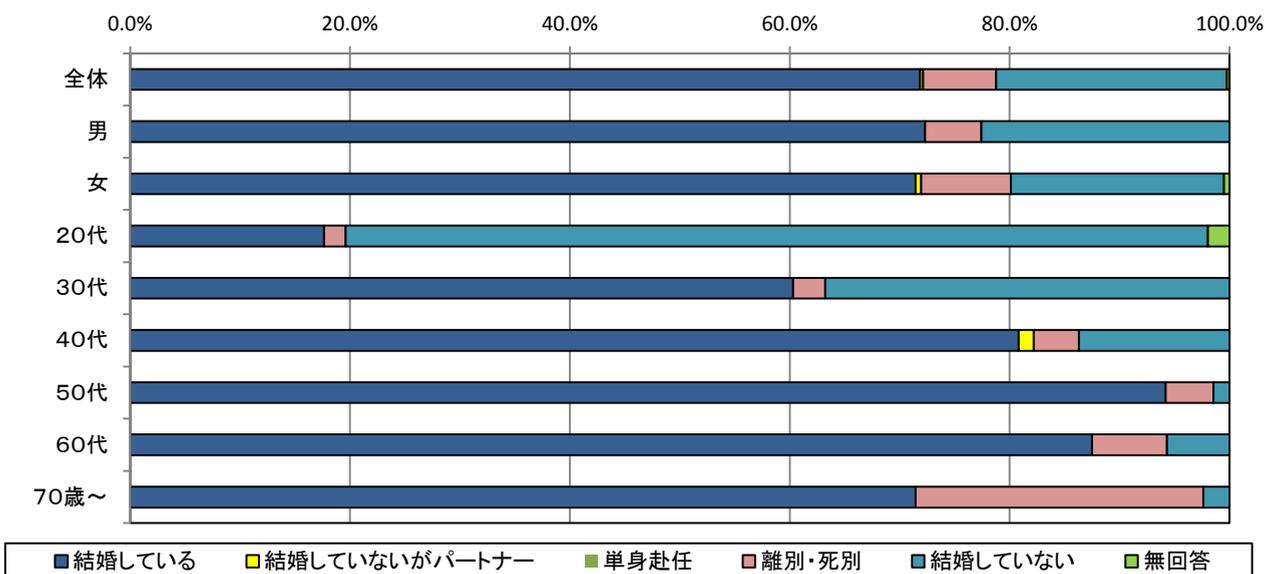
**既婚率は「20代」17.6%、「30代」60.3%
「40代」80.8%**

全体では、「結婚している」が71.9%です。「結婚していない」が21.0%、「離別・死別した」が6.6%となっています。

男女別では、「離別・死別した」が男性は5.1%、女性が8.2%となっています。

年齢別では、20代の既婚率は17.6%、30代で60.3%、40代で80%を超えています。

「離別・死別した」の割合は60代以降、年齢が増えるごとに高くなっています。また、「結婚していない」については、20代で78.4%、30代で36.8%、40代で13.7%となっています。



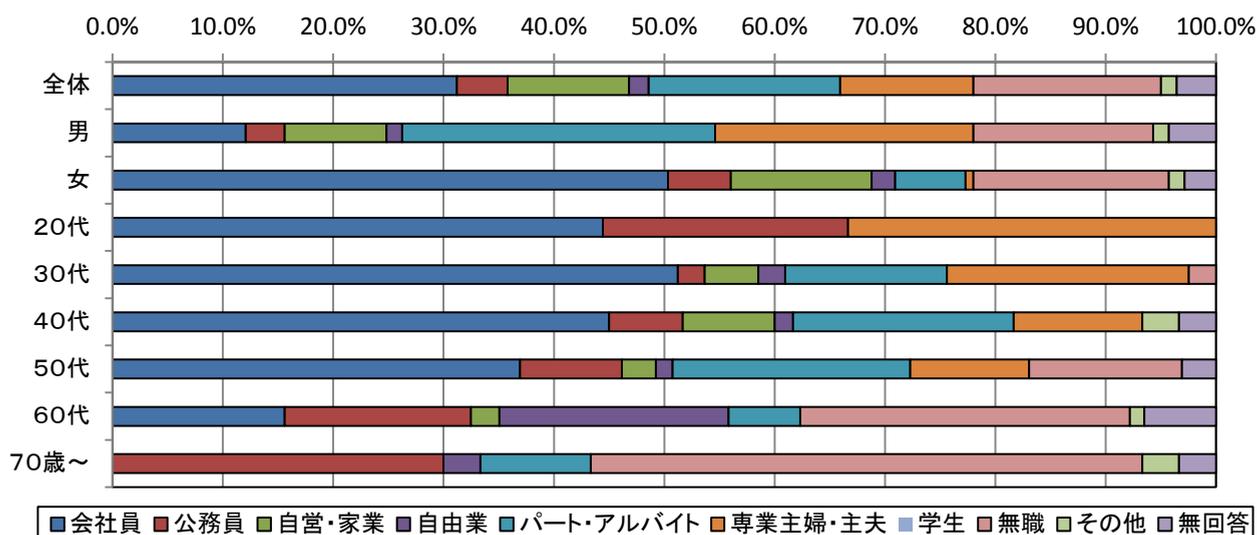
	結婚している	暮ら結婚 がパ ら結 して いて ない とい	単 身 赴 任	離 別 ・ 死 別	結 婚 し て い な い	無 回 答	合 計
全体	281 71.9%	1 0.3%	0 0.0%	26 6.6%	82 21.0%	1 0.3%	391 100.0%
男	141 72.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 5.1%	44 22.6%	0 0.0%	195 100.0%
女	140 71.4%	1 0.5%	0 0.0%	16 8.2%	38 19.4%	1 0.5%	196 100.0%
20代	9 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	40 78.4%	1 2.0%	51 100.0%
30代	41 60.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	25 36.8%	0 0.0%	68 100.0%
40代	59 80.8%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.1%	10 13.7%	0 0.0%	73 100.0%
50代	65 94.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.3%	1 1.4%	0 0.0%	69 100.0%
60代	77 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.8%	5 5.7%	0 0.0%	88 100.0%
70歳~	30 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 26.2%	1 2.4%	0 0.0%	42 100.0%

Q5 Q4で1. 結婚している、2. 結婚していないがパートナーと暮らしている、3. 結婚しているが単身赴任と答えられた方にお聞きします。あなたの配偶者またはパートナーのお仕事についてお答えください。（1つに〇）

妻は「パート・アルバイト」28.4%、「専業主婦」23.4%
夫は「会社員」50.4%、「無職」17.7%

全体では、「会社員」が31.2%、「自営業・家業」が11.0%、「無職」が17.0%、「パート・アルバイト」が17.4%となっています。

男女別では、男性の配偶者等では、「パート・アルバイト」が28.4%と最も高く、「専業主婦」「無職」「会社員」「自営業・家業」と続きます。女性の配偶者では、「会社員」が最も高く、次いで「無職」「自営業・家業」「パート・アルバイト」となっています。

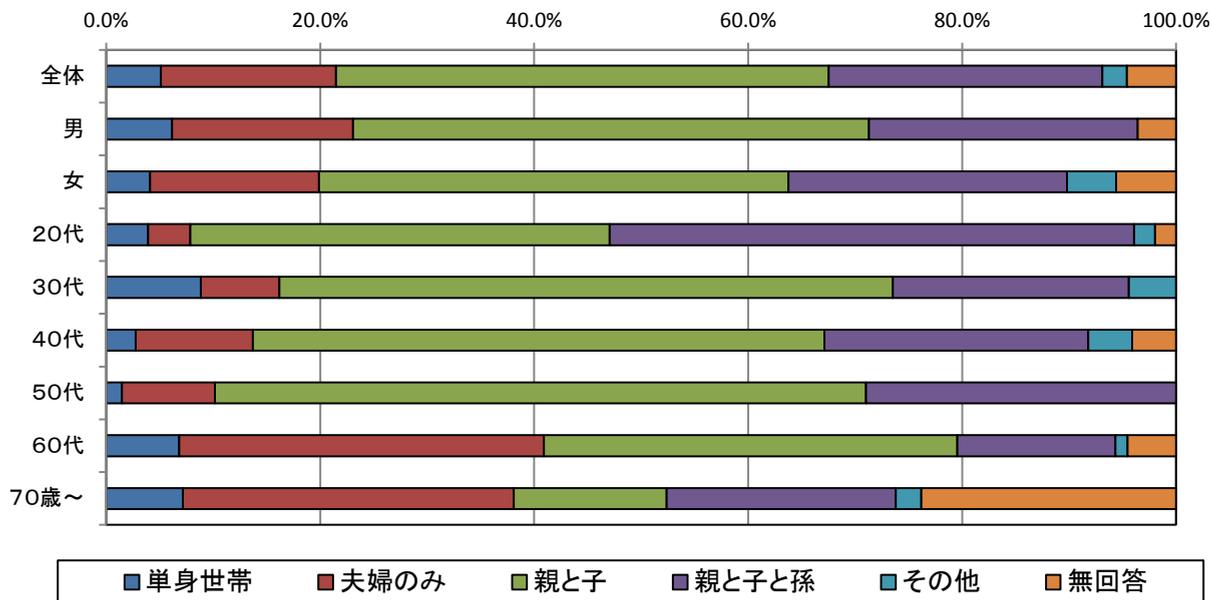


	会社員	公務員	農 業 （ 自 営 業 ・ 家 業 ・ 工 業 ・ 農 業 な ど ）	自 由 業 ・ 家 業 ・ 農 業 な ど ）	弁 護 士 ・ 自 由 業 （ 芸 術 家 ・ 医 師 な ど ）	イ バ ー ト ・ ア ル バ イ ト	主 夫 専 業 主 婦 ・ 専 業	学 生	無 職	そ の 他	無 回 答	合 計
全体	88 31.2%	13 4.6%	31 11.0%	5 1.8%	49 17.4%	34 12.1%	0 0.0%	48 17.0%	4 1.4%	10 3.5%	282 100.0%	
男	17 12.1%	5 3.5%	13 9.2%	2 1.4%	40 28.4%	33 23.4%	0 0.0%	23 16.3%	2 1.4%	6 4.3%	141 100.0%	
女	71 50.4%	8 5.7%	18 12.8%	3 2.1%	9 6.4%	1 0.7%	0 0.0%	25 17.7%	2 1.4%	4 2.8%	141 100.0%	
20代	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	
30代	21 51.2%	1 2.4%	2 4.9%	1 2.4%	6 14.6%	9 22.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	41 100.0%	
40代	27 45.0%	4 6.7%	5 8.3%	1 1.7%	12 20.0%	7 11.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.3%	2 3.3%	60 100.0%	
50代	24 36.9%	6 9.2%	2 3.1%	1 1.5%	14 21.5%	7 10.8%	0 0.0%	9 13.8%	0 0.0%	2 3.1%	65 100.0%	
60代	12 15.6%	13 16.9%	2 2.6%	16 20.8%	5 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	23 29.9%	1 1.3%	5 6.5%	77 100.0%	
70歳~	0 0.0%	9 30.0%	0 0.0%	1 3.3%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 50.0%	1 3.3%	1 3.3%	30 100.0%	

Q6 あなたの家族構成についてお聞きします。 (〇は1つだけ)

2世代世帯（親と子）が46.0%

家族構成は、「親と子の2世代世帯」が46.0%、「親と子と孫の3世代世帯」25.6%、「夫婦のみ」世帯が16.4%、「単身世帯」が5.1%となっています。

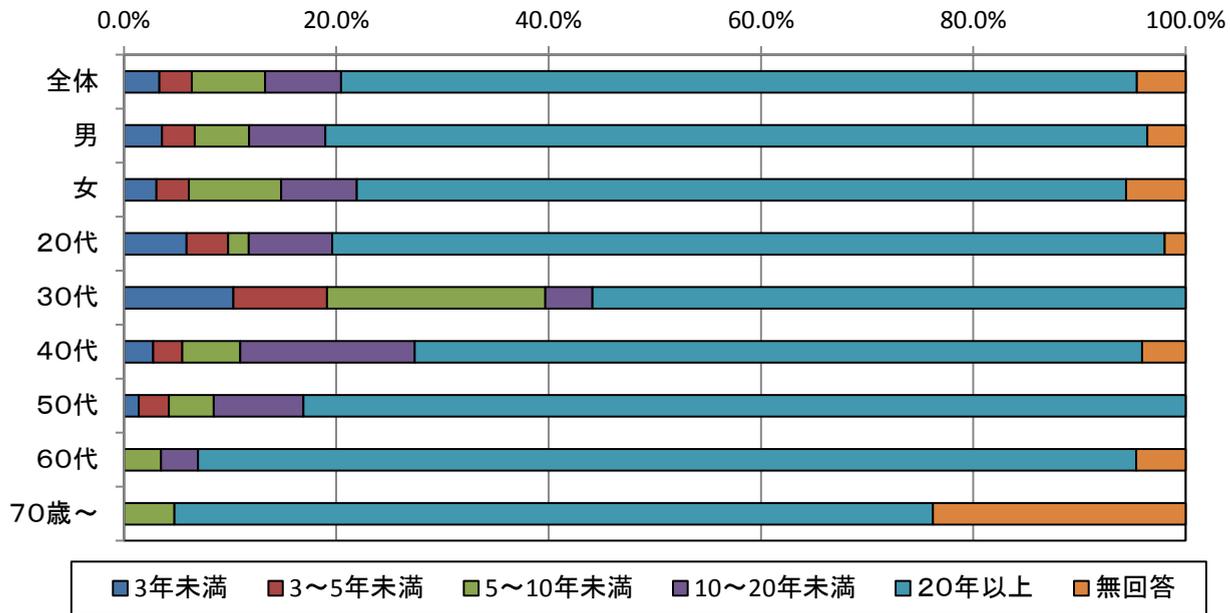


	単身世帯	夫婦のみ	親と子	親と子と孫	その他	無回答	合計
全体	20 5.1%	64 16.4%	180 46.0%	100 25.6%	9 2.3%	18 4.6%	391 100.0%
男	12 6.2%	33 16.9%	94 48.2%	49 25.1%	0 0.0%	7 3.6%	195 100.0%
女	8 4.1%	31 15.8%	86 43.9%	51 26.0%	9 4.6%	11 5.6%	196 100.0%

Q7 あなたは、本市に住んで何年になりますか。（合併前にお住まいの方はその居住期間も加えてください）（1つに○）

新城市に住んで20年以上が74.9%

「20年以上」が74.9%、「10～20年未満」が7.2%、「5～10年未満」が6.9%、「3年未満」が3.3%、「3～5年未満」が3.1%となっています。



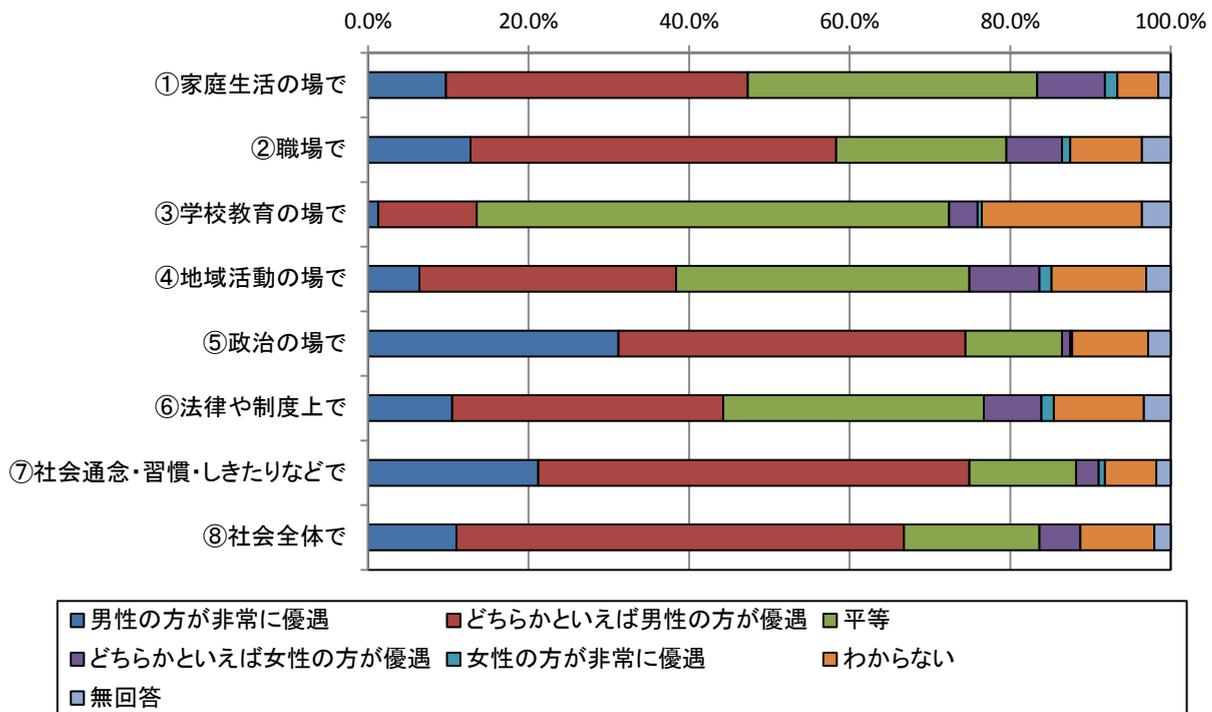
	3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答	合計
全体	13 3.3%	12 3.1%	27 6.9%	28 7.2%	293 74.9%	18 4.6%	391 100.0%
男	7 3.6%	6 3.1%	10 5.1%	14 7.2%	151 77.4%	7 3.6%	195 100.0%
女	6 3.1%	6 3.1%	17 8.7%	14 7.1%	142 72.4%	11 5.6%	196 100.0%

2. 男女平等について

Q8 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。（〇は1つ、合計8つ）

学校教育の場では「平等」は58.8% その他は「男性優遇」

「平等」と回答した人の割合は、高い順に「学校教育の場」58.8%、「地域活動の場」36.6%、「家庭生活の場」36.1%、「法律や制度上」32.5%、「職場」21.2%、「社会全体」16.9%、「社会通念・習慣・しきたりなど」13.3%、「政治の場」12.0%となっています。



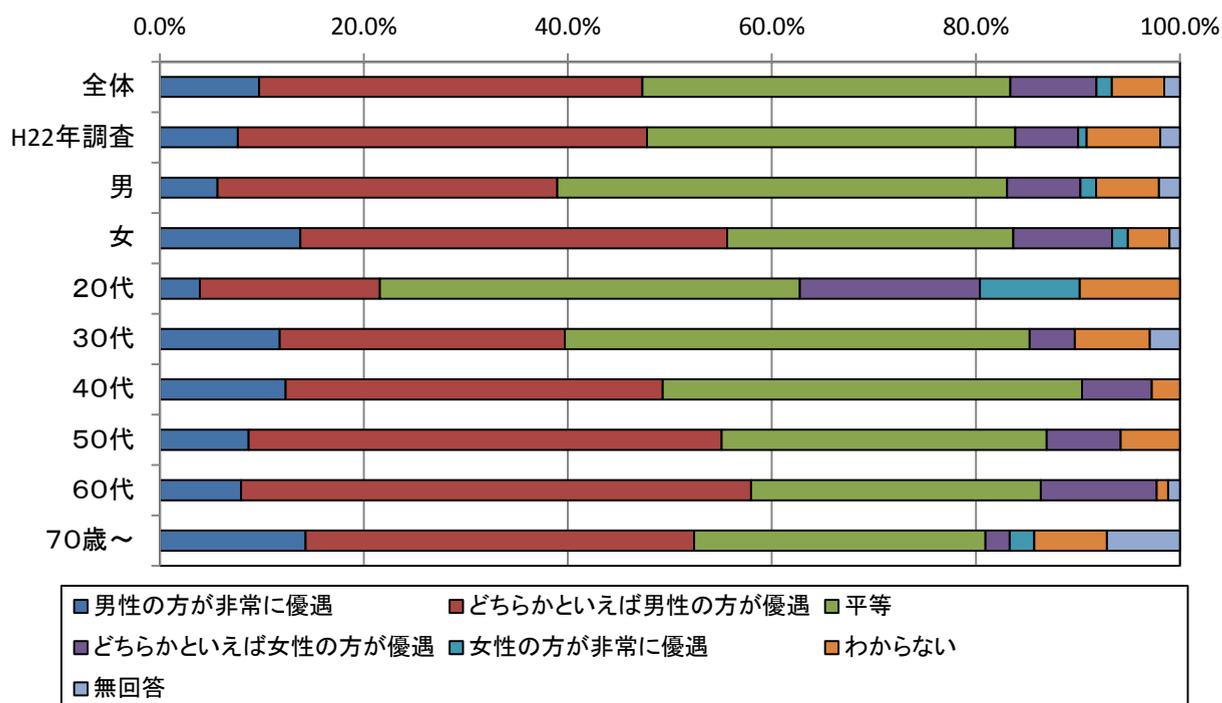
分野	全体	男性の方が非常に優遇	男性のどちらの方が優遇	平等	女性のどちらの方が優遇	優女性の方が非常に	わからない	無回答	件数
①家庭生活の場で	全体	9.7%	37.6%	36.1%	8.4%	1.5%	5.1%	1.5%	391
②職場で	全体	12.8%	45.5%	21.2%	6.9%	1.0%	9.0%	3.6%	391
③学校教育の場で	全体	1.3%	12.3%	58.8%	3.6%	0.5%	19.9%	3.6%	391
④地域活動の場で	全体	6.4%	32.0%	36.6%	8.7%	1.5%	11.8%	3.1%	391
⑤政治の場で	全体	31.2%	43.2%	12.0%	1.0%	0.3%	9.5%	2.8%	391
⑥法律や制度上で	全体	10.5%	33.8%	32.5%	7.2%	1.5%	11.3%	3.3%	391
⑦社会通念・習慣・しきたりなどで	全体	21.2%	53.7%	13.3%	2.8%	0.8%	6.4%	1.8%	391
⑧社会全体で	全体	11.0%	55.8%	16.9%	5.1%	0.0%	9.2%	2.0%	391

Q8 ①家庭生活の場で

家庭生活の場では、「平等」36.1%、「男性優遇」47.3%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている37.6%+男性の方が非常に優遇されている9.7%）が47.3%、「平等」が36.1%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている8.4%+女性の方が非常に優遇されている1.5%）が9.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は同じになりました。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている+男性の方が非常に優遇されている）が38.9%、「平等」が44.1%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている+男性の方が非常に優遇されている）が55.6%、「平等」が28.1%となっています。



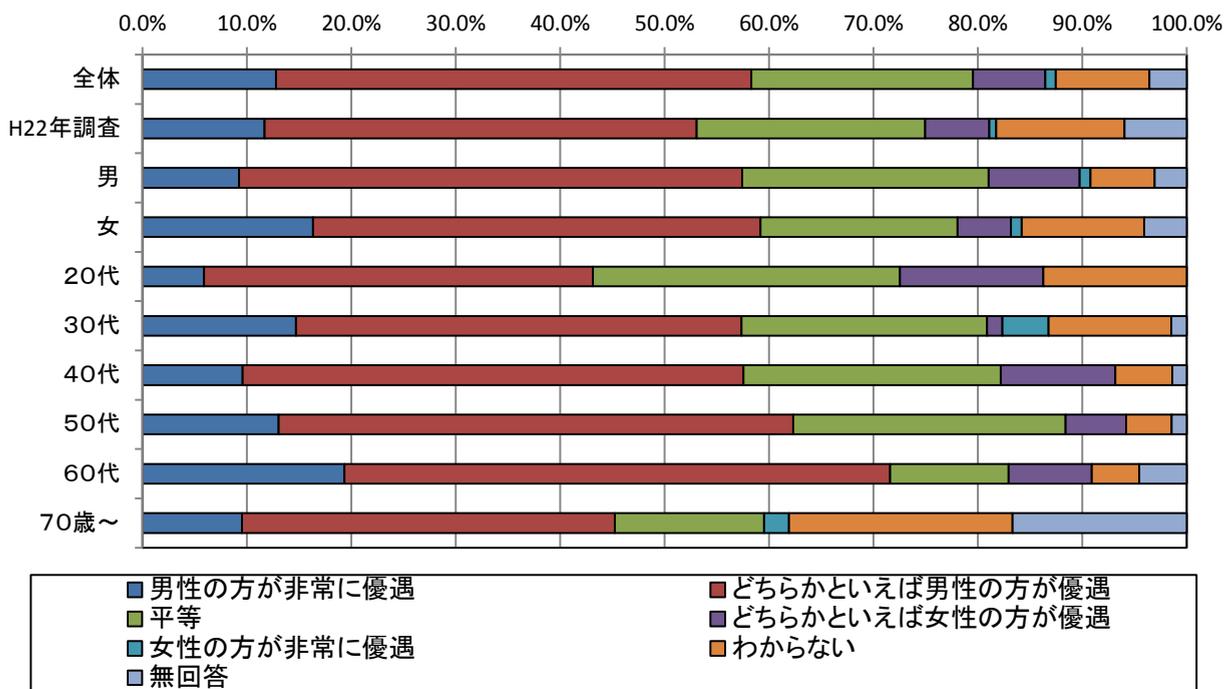
	優男性の方が非常に	男どちらの方がか優い遇えば	平等	女どちらの方がか優い遇えば	優女性の方が非常に	わからない	無回答	件数
全体	9.7%	37.6%	36.1%	8.4%	1.5%	5.1%	1.5%	391
H22年調査	7.6%	40.1%	36.1%	6.2%	0.8%	7.2%	1.9%	471
男	5.6%	33.3%	44.1%	7.2%	1.5%	6.2%	2.1%	195
女	13.8%	41.8%	28.1%	9.7%	1.5%	4.1%	1.0%	196
20代	3.9%	17.6%	41.2%	17.6%	9.8%	9.8%	0.0%	51
30代	11.8%	27.9%	45.6%	4.4%	0.0%	7.4%	2.9%	68
40代	12.3%	37.0%	41.1%	6.8%	0.0%	2.7%	0.0%	73
50代	8.7%	46.4%	31.9%	7.2%	0.0%	5.8%	0.0%	69
60代	8.0%	50.0%	28.4%	11.4%	0.0%	1.1%	1.1%	88
70歳～	14.3%	38.1%	28.6%	2.4%	2.4%	7.1%	7.1%	42

Q8 ②職場で

職場では「平等」21.2%、「男性優遇」58.3%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が58.3%、「平等」が21.2%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されている＋女性の方が非常に優遇されている）が7.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は0.7ポイント減少しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性のほうに非常に優遇されている）が57.4%、「平等」が23.6%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が59.2%、「平等」が18.9%となっています。



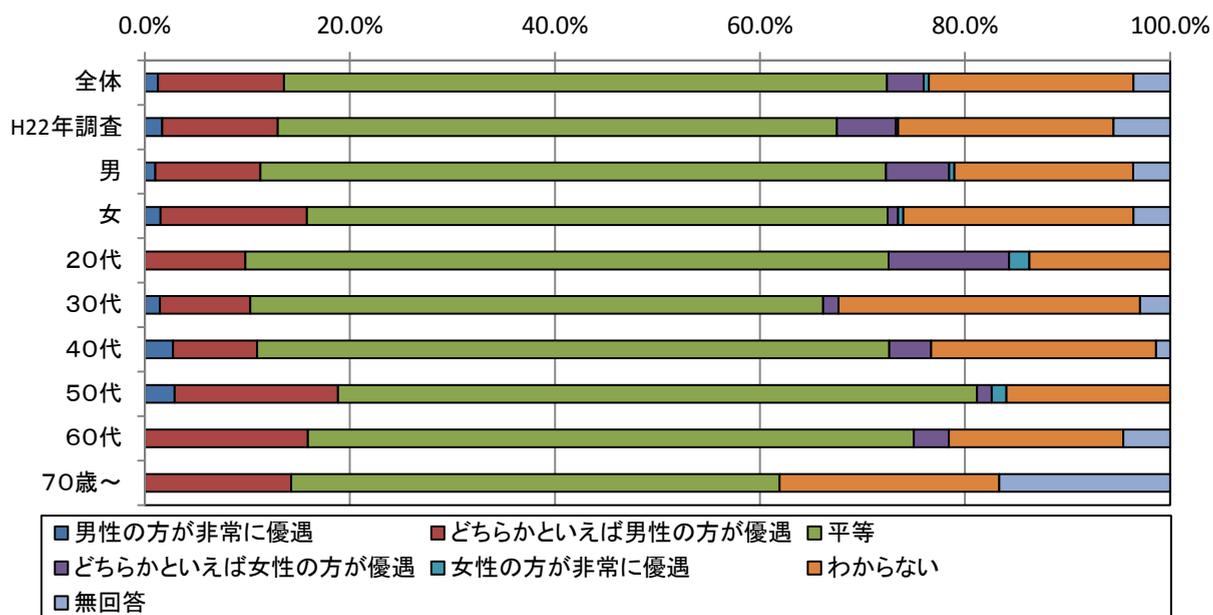
	優男性 遇性の 方が 非常に	男ど 性の ちの らか がと 優い 遇え ば	平 等	女ど 性の ちの らか がと 優い 遇え ば	優女 性の ちの らか がと 優い 遇え ば	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	12.8%	45.5%	21.2%	6.9%	1.0%	9.0%	3.6%	391
H22年調査	11.7%	41.4%	21.9%	6.2%	0.6%	12.3%	5.9%	471
男	9.2%	48.2%	23.6%	8.7%	1.0%	6.2%	3.1%	195
女	16.3%	42.9%	18.9%	5.1%	1.0%	11.7%	4.1%	196
20代	5.9%	37.3%	29.4%	13.7%	0.0%	13.7%	0.0%	51
30代	14.7%	42.6%	23.5%	1.5%	4.4%	11.8%	1.5%	68
40代	9.6%	47.9%	24.7%	11.0%	0.0%	5.5%	1.4%	73
50代	13.0%	49.3%	26.1%	5.8%	0.0%	4.3%	1.4%	69
60代	19.3%	52.3%	11.4%	8.0%	0.0%	4.5%	4.5%	88
70歳~	9.5%	35.7%	14.3%	0.0%	2.4%	21.4%	16.7%	42

Q8 ③学校教育の場で

学校教育の場では「平等」58.8%、「男性優遇」13.6%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が13.6%、「平等」が58.8%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が4.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は4.2ポイント増加しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が11.3%、「平等」が61.0%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が15.8%、「平等」が56.6%となっています。



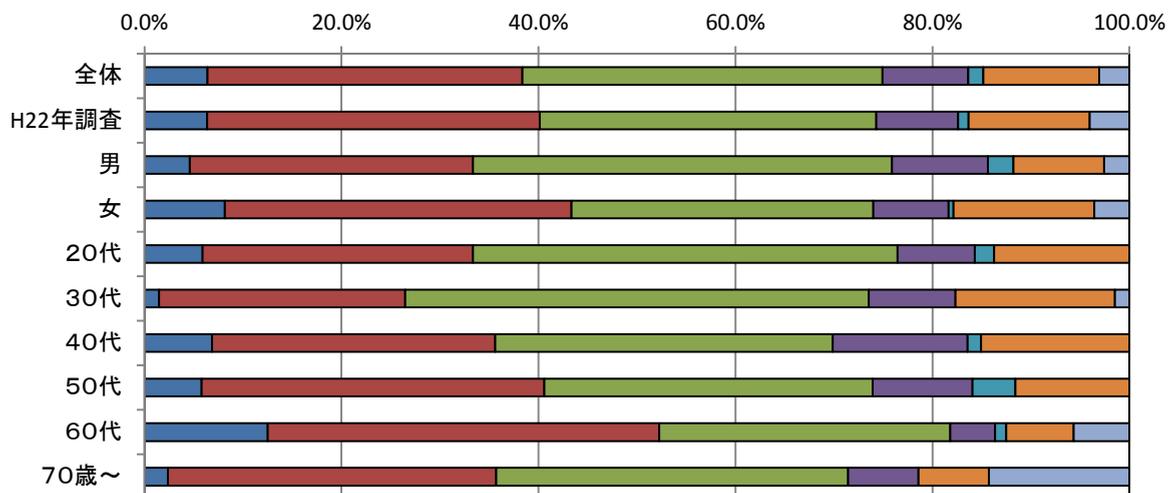
	優男性の方が非常に	男ど 性ち 性の のら の方 か と 優 い 遇 え ば	平 等	女ど 性ち 性の のら の方 か と 優 い 遇 え ば	優女性 の 方 が 非 常 に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	1.3%	12.3%	58.8%	3.6%	0.5%	19.9%	3.6%	391
H22年調査	1.7%	11.3%	54.6%	5.7%	0.2%	21.0%	5.5%	471
男	1.0%	10.3%	61.0%	6.2%	0.5%	17.4%	3.6%	195
女	1.5%	14.3%	56.6%	1.0%	0.5%	22.4%	3.6%	196
20代	0.0%	9.8%	62.7%	11.8%	2.0%	13.7%	0.0%	51
30代	1.5%	8.8%	55.9%	1.5%	0.0%	29.4%	2.9%	68
40代	2.7%	8.2%	61.6%	4.1%	0.0%	21.9%	1.4%	73
50代	2.9%	15.9%	62.3%	1.4%	1.4%	15.9%	0.0%	69
60代	0.0%	15.9%	59.1%	3.4%	0.0%	17.0%	4.5%	88
70歳～	0.0%	14.3%	47.6%	0.0%	0.0%	21.4%	16.7%	42

Q8 ④地域活動の場で

地域活動の場では「平等」36.6%、「男性優遇」38.4%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が38.4%、「平等」が36.6%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が10.2%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は2.4ポイント増加しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性のほうに非常に優遇されている）が33.3%、「平等」が42.6%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が43.4%、「平等」が30.6%となっています。



■ 男性の方が非常に優遇 ■ どちらかといえば男性の方が優遇 ■ 平等
 ■ どちらかといえば女性の方が優遇 ■ 女性の方が非常に優遇 ■ わからない
 ■ 無回答

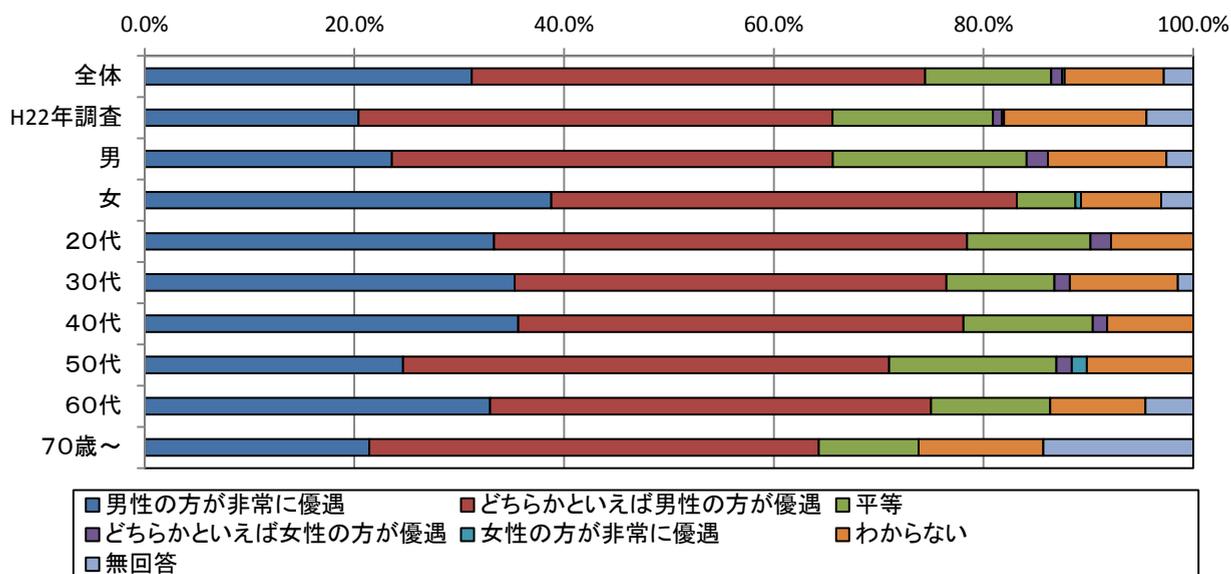
	優男性 遇性の 方が非 常に	男ど 性ち のら 方が と優 い遇 えば	平 等	女ど 性ち のら 方が と優 い遇 えば	優女 遇性 の方 が非 常に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	6.4%	32.0%	36.6%	8.7%	1.5%	11.8%	3.1%	391
H22年調査	6.4%	33.8%	34.2%	8.3%	1.1%	12.3%	4.0%	471
男	4.6%	28.7%	42.6%	9.7%	2.6%	9.2%	2.6%	195
女	8.2%	35.2%	30.6%	7.7%	0.5%	14.3%	3.6%	196
20代	5.9%	27.5%	43.1%	7.8%	2.0%	13.7%	0.0%	51
30代	1.5%	25.0%	47.1%	8.8%	0.0%	16.2%	1.5%	68
40代	6.8%	28.8%	34.2%	13.7%	1.4%	15.1%	0.0%	73
50代	5.8%	34.8%	33.3%	10.1%	4.3%	11.6%	0.0%	69
60代	12.5%	39.8%	29.5%	4.5%	1.1%	6.8%	5.7%	88
70歳～	2.4%	33.3%	35.7%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	42

Q8 ⑤政治の場で

政治の場では「平等」12.0%、「男性優遇」74.4%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が74.4%、「平等」が12.0%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が1.3%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は3.3ポイント減少しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が65.7%、「平等」が18.5%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が83.2%、「平等」が5.6%となっています。



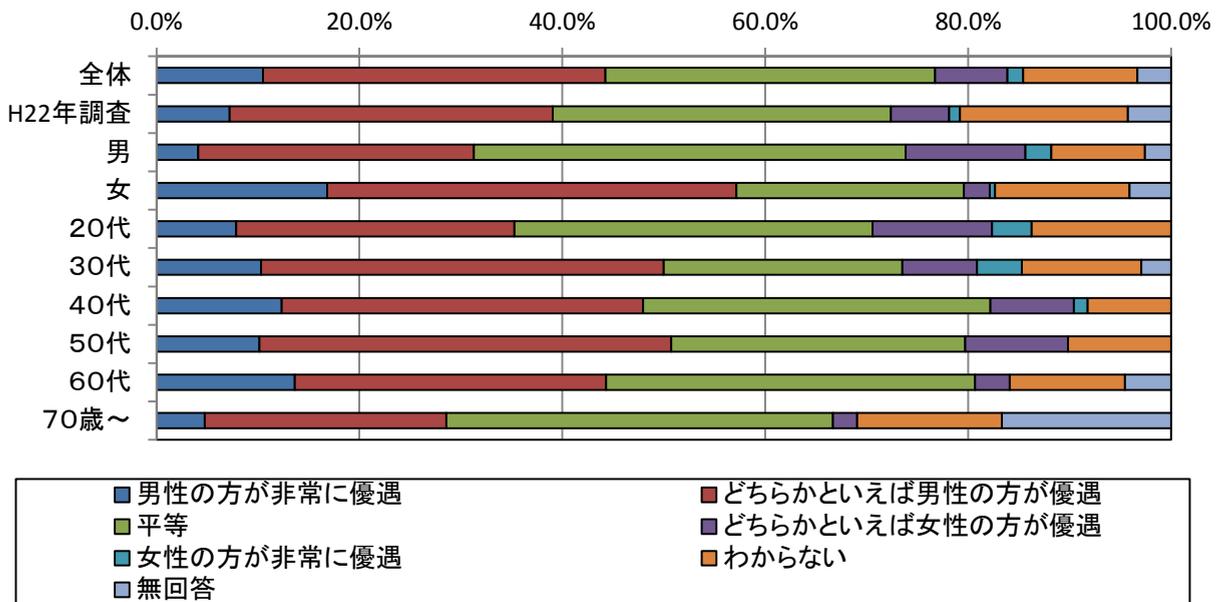
	優男性の方が非常に	男ど 性ち のら 方が と 優 い 遇 え ば	平 等	女ど 性ち のら 方が と 優 い 遇 え ば	優女性 の方が 非常に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	31.2%	43.2%	12.0%	1.0%	0.3%	9.5%	2.8%	391
H22年調査	20.4%	45.2%	15.3%	0.8%	0.2%	13.6%	4.5%	471
男	23.6%	42.1%	18.5%	2.1%	0.0%	11.3%	2.6%	195
女	38.8%	44.4%	5.6%	0.0%	0.5%	7.7%	3.1%	196
20代	33.3%	45.1%	11.8%	2.0%	0.0%	7.8%	0.0%	51
30代	35.3%	41.2%	10.3%	1.5%	0.0%	10.3%	1.5%	68
40代	35.6%	42.5%	12.3%	1.4%	0.0%	8.2%	0.0%	73
50代	24.6%	46.4%	15.9%	1.4%	1.4%	10.1%	0.0%	69
60代	33.0%	42.0%	11.4%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%	88
70歳～	21.4%	42.9%	9.5%	0.0%	0.0%	11.9%	14.3%	42

Q8 ⑥法律や制度上で

法律や制度上では「平等」32.5%、「男性優遇」44.3%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が44.3%、「平等」が32.5%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が8.7%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は0.8ポイント減少しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が31.3%、「平等」が42.6%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が57.1%、「平等」が22.4%となっています。



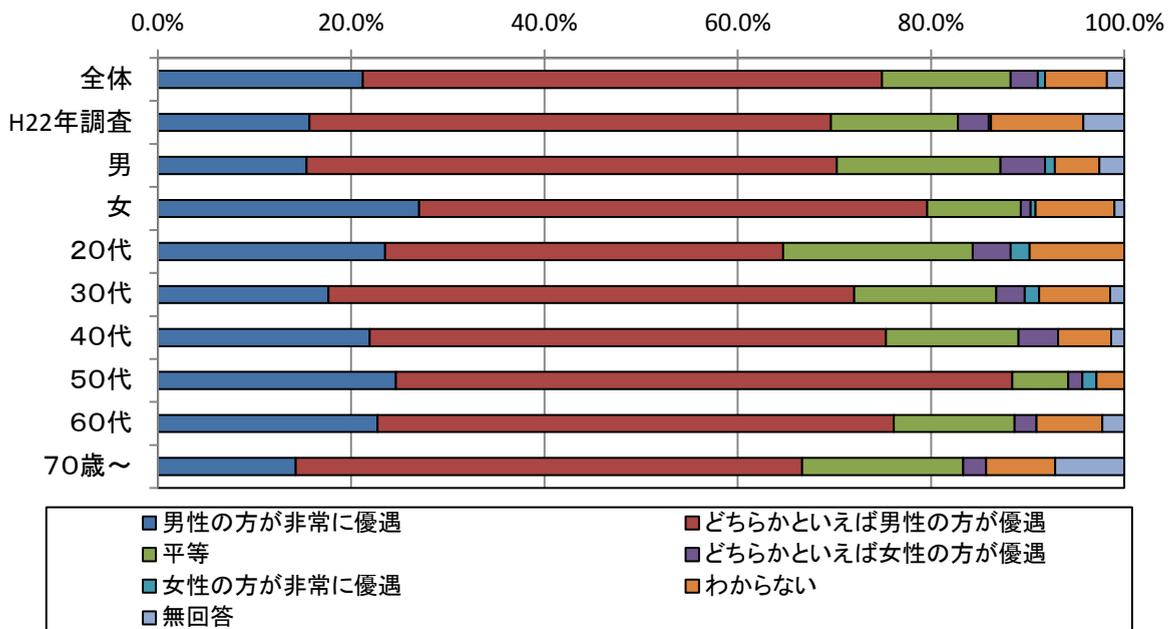
	優男性 遇性の 方が 非常に	男ど 性ち のら の方 かと 優い 遇え ば	平 等	女ど 性ち のら の方 かと 優い 遇え ば	優女 遇性 の方 が非 常に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	10.5%	33.8%	32.5%	7.2%	1.5%	11.3%	3.3%	391
H22年調査	7.2%	31.8%	33.3%	5.7%	1.1%	16.6%	4.2%	471
男	4.1%	27.2%	42.6%	11.8%	2.6%	9.2%	2.6%	195
女	16.8%	40.3%	22.4%	2.6%	0.5%	13.3%	4.1%	196
20代	7.8%	27.5%	35.3%	11.8%	3.9%	13.7%	0.0%	51
30代	10.3%	39.7%	23.5%	7.4%	4.4%	11.8%	2.9%	68
40代	12.3%	35.6%	34.2%	8.2%	1.4%	8.2%	0.0%	73
50代	10.1%	40.6%	29.0%	10.1%	0.0%	10.1%	0.0%	69
60代	13.6%	30.7%	36.4%	3.4%	0.0%	11.4%	4.5%	88
70歳～	4.8%	23.8%	38.1%	2.4%	0.0%	14.3%	16.7%	42

Q8 ⑦社会通念・習慣・しきたりなどで

**社会通念・習慣・しきたりなどでは
「平等」13.3%、「男性優遇」74.9%**

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が74.9%、「平等」が13.3%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が3.6%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は0.1ポイント増加しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が70.3%、「平等」が16.9%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が79.6%、「平等」が9.7%となっています。



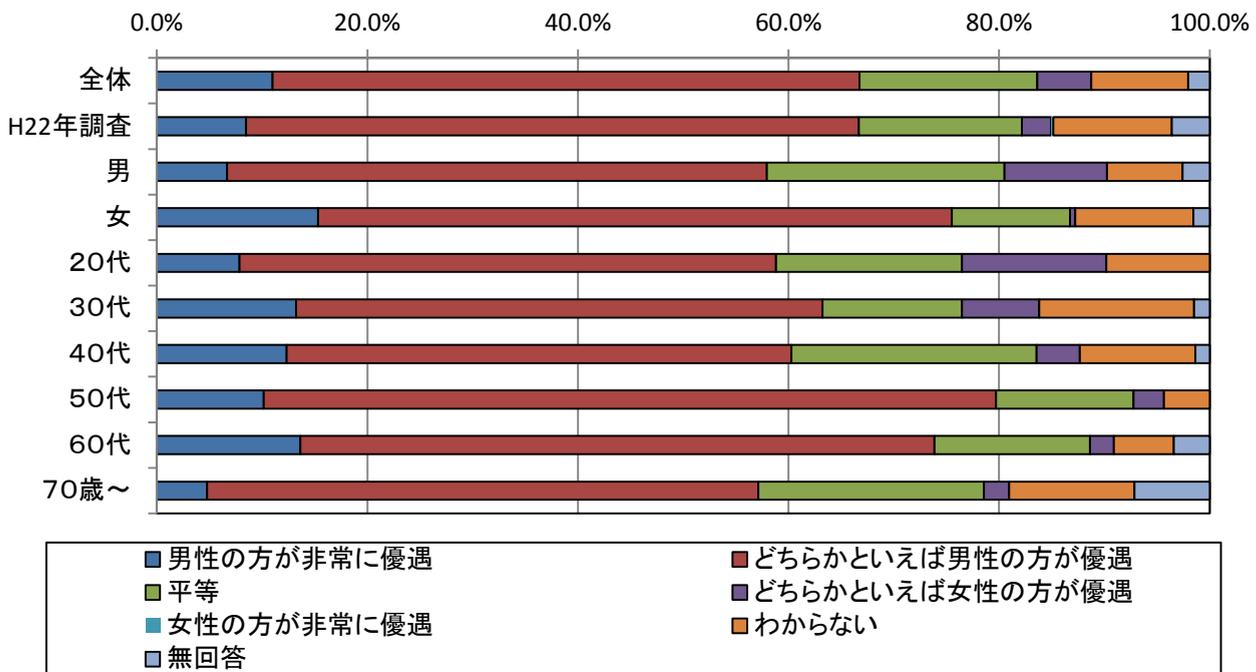
	優男 遇性 の方 が非 常に	男ど 性ち の方 がと 優い 遇え ば	平 等	女ど 性ち の方 がと 優い 遇え ば	優女 遇性 の方 が非 常に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	21.2%	53.7%	13.3%	2.8%	0.8%	6.4%	1.8%	391
H22年調査	15.7%	53.9%	13.2%	3.2%	0.2%	9.6%	4.2%	471
男	15.4%	54.9%	16.9%	4.6%	1.0%	4.6%	2.6%	195
女	27.0%	52.6%	9.7%	1.0%	0.5%	8.2%	1.0%	196
20代	23.5%	41.2%	19.6%	3.9%	2.0%	9.8%	0.0%	51
30代	17.6%	54.4%	14.7%	2.9%	1.5%	7.4%	1.5%	68
40代	21.9%	53.4%	13.7%	4.1%	0.0%	5.5%	1.4%	73
50代	24.6%	63.8%	5.8%	1.4%	1.4%	2.9%	0.0%	69
60代	22.7%	53.4%	12.5%	2.3%	0.0%	6.8%	2.3%	88
70歳～	14.3%	52.4%	16.7%	2.4%	0.0%	7.1%	7.1%	42

Q8 ⑧社会全体で

社会全体では「平等」16.9%、「男性優遇」66.8%

全体では、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が66.8%、「平等」が16.9%、「女性の方が優遇されている」（どちらかといえば女性の方が優遇されていると感じている＋女性の方が非常に優遇されている）が5.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「平等」の割合は1.4ポイント増加しています。

男女別では、男性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が58.0%、「平等」が22.6%、女性は、「男性の方が優遇されている」（どちらかといえば男性の方が優遇されていると感じている＋男性の方が非常に優遇されている）が75.5%、「平等」が11.2%となっています。



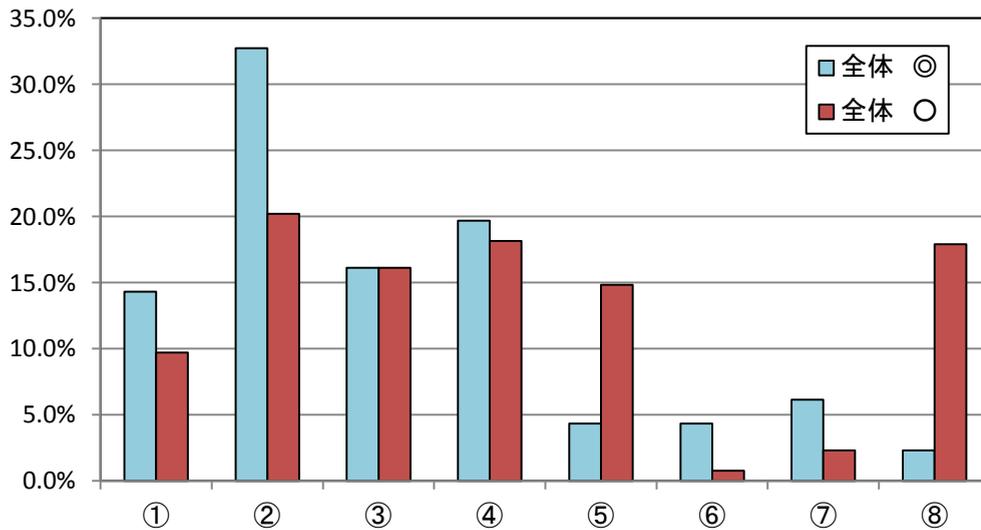
	優男性 遇性の 方が 非常に	男ど 性ち のら の方 かと 優い 遇え ば	平 等	女ど 性ち のら の方 かと 優い 遇え ば	優女 遇性 の方 が 非常 に	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	11.0%	55.8%	16.9%	5.1%	0.0%	9.2%	2.0%	391
H22年調査	8.5%	58.2%	15.5%	2.8%	0.2%	11.3%	3.6%	471
男	6.7%	51.3%	22.6%	9.7%	0.0%	7.2%	2.6%	195
女	15.3%	60.2%	11.2%	0.5%	0.0%	11.2%	1.5%	196
20代	7.8%	51.0%	17.6%	13.7%	0.0%	9.8%	0.0%	51
30代	13.2%	50.0%	13.2%	7.4%	0.0%	14.7%	1.5%	68
40代	12.3%	47.9%	23.3%	4.1%	0.0%	11.0%	1.4%	73
50代	10.1%	69.6%	13.0%	2.9%	0.0%	4.3%	0.0%	69
60代	13.6%	60.2%	14.8%	2.3%	0.0%	5.7%	3.4%	88
70歳~	4.8%	52.4%	21.4%	2.4%	0.0%	11.9%	7.1%	42

Q9 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何でしょうか。（1番目に重要◎、2番目に重要○）

**平等になるために重要なことは、
「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、
習慣・しきたりを改めること」52.9%**

全体では、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣・しきたりを改めること」が52.9%、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が37.9%、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が32.2%となっています。

男女別でも、全体の結果と同じく「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣・しきたりを改めること」が、男性は55.3%、女性は50.5%と最も重要と考えられている結果になりました。

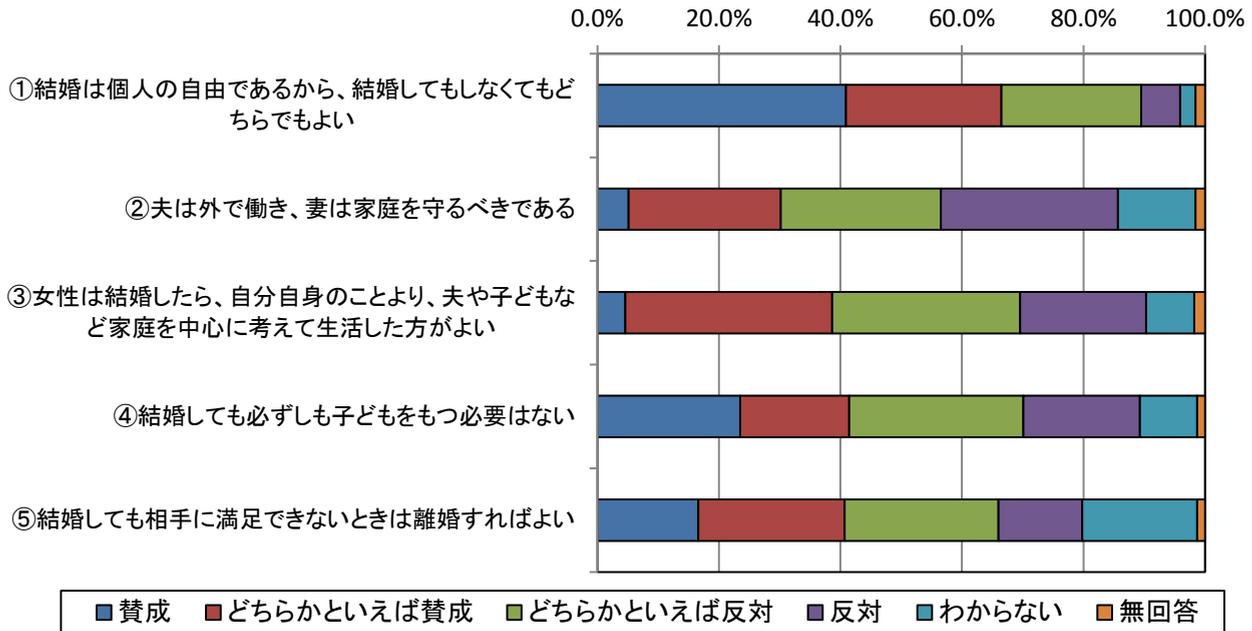


	① 女性 差別 や 制度 の上 で見 直し を行 い、	② め る 的 な 女 性 を 取 り 巻 く 様 々 な 偏 見 、 固 定 的 な 社 会 通 念 、 習 慣 ・ し き た り を 改 め る	③ 力 識 の ・ 女 性 自 身 が 経 済 力 を つ け 、 積 極 的 に 知	④ 施 設 や サ ー ビ ス の 充 実 を 図 る	⑤ 用 定 の 行 政 や 企 業 な ど の 重 要 な 制 度 を 採 一	⑥ そ の 他	⑦ わ か ら な い	⑧ 無 回 答	件 数
全体 ◎	14.3%	32.7%	16.1%	19.7%	4.3%	4.3%	6.1%	2.3%	391
全体 ○	9.7%	20.2%	16.1%	18.2%	14.8%	0.8%	2.3%	17.9%	
男 ◎	17.4%	33.8%	16.9%	13.8%	5.1%	4.1%	7.2%	1.5%	195
男 ○	10.3%	21.5%	12.8%	18.5%	16.4%	1.0%	2.1%	17.4%	
女 ◎	11.2%	31.6%	15.3%	25.5%	3.6%	4.6%	5.1%	3.1%	196
女 ○	0.0%	18.9%	19.4%	17.9%	13.3%	0.5%	2.6%	18.4%	

3. 結婚生活、家庭生活について

Q10 結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をお聞きします。(全体)

「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい」
賛成66.5%、 **その他は反対**



		賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	件数
①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	全体	40.9%	25.6%	23.0%	6.4%	2.6%	1.5%	391
②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	全体	5.1%	25.1%	26.3%	29.2%	12.8%	1.5%	391
③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい	全体	4.6%	34.0%	30.9%	20.7%	7.9%	1.8%	391
④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	全体	23.5%	17.9%	28.6%	19.2%	9.5%	1.3%	391
⑤結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	全体	16.6%	24.0%	25.3%	13.8%	18.9%	1.3%	391

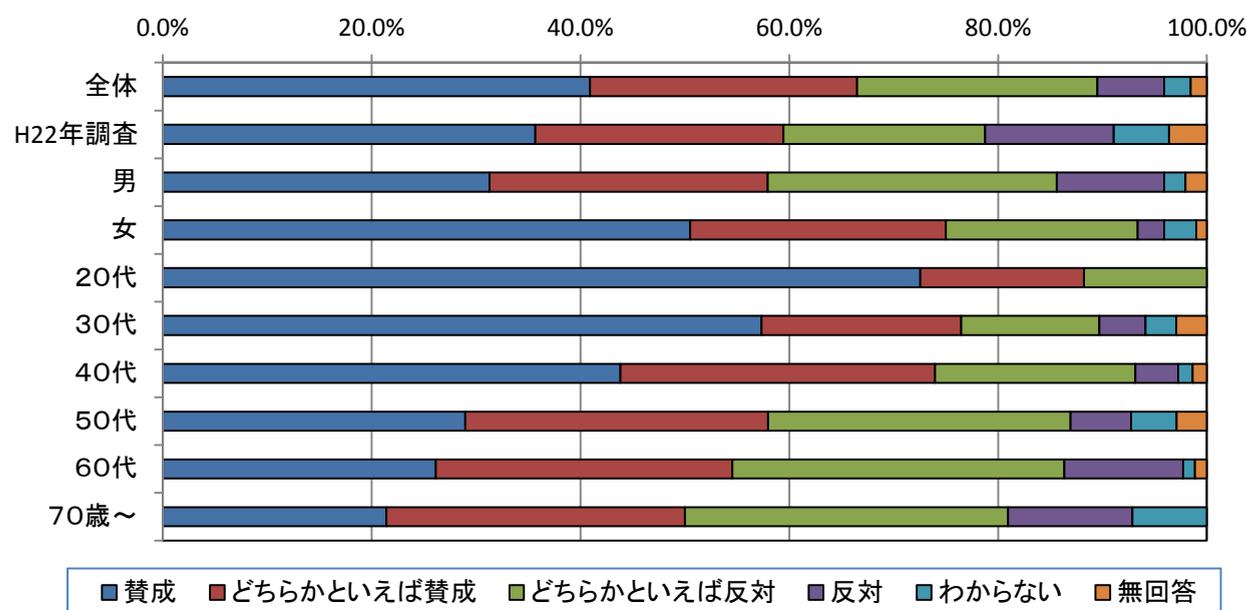
Q10 ①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもよい
「賛成」66.5%、「反対」29.4%

全体では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が66.5%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が29.4%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賛成」の割合は7.0ポイント増加し、「反対」の割合は2.2ポイント減少しています。

男女別では、男性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が58.0%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が38.0%、女性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が75.0%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が21.0%となっています。

年代別では、20、30代は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）の割合が75%以上と高く、50代までは「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）の割合の方がとても高くなっていますが、60代以降は「反対」（反対+どちらかといえば反対）の割合も高くなっています。



	賛成	い ど え ち ら ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ら ば ら 反 か 対 と	反 対	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	40.9%	25.6%	23.0%	6.4%	2.6%	1.5%	391
H22年調査	35.7%	23.8%	19.3%	12.3%	5.3%	3.6%	471
男	31.3%	26.7%	27.7%	10.3%	2.1%	2.1%	195
女	50.5%	24.5%	18.4%	2.6%	3.1%	1.0%	196
20代	72.5%	15.7%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	51
30代	57.4%	19.1%	13.2%	4.4%	2.9%	2.9%	68
40代	43.8%	30.1%	19.2%	4.1%	1.4%	1.4%	73
50代	29.0%	29.0%	29.0%	5.8%	4.3%	2.9%	69
60代	26.1%	28.4%	31.8%	11.4%	1.1%	1.1%	88
70歳～	21.4%	28.6%	31.0%	11.9%	7.1%	0.0%	42

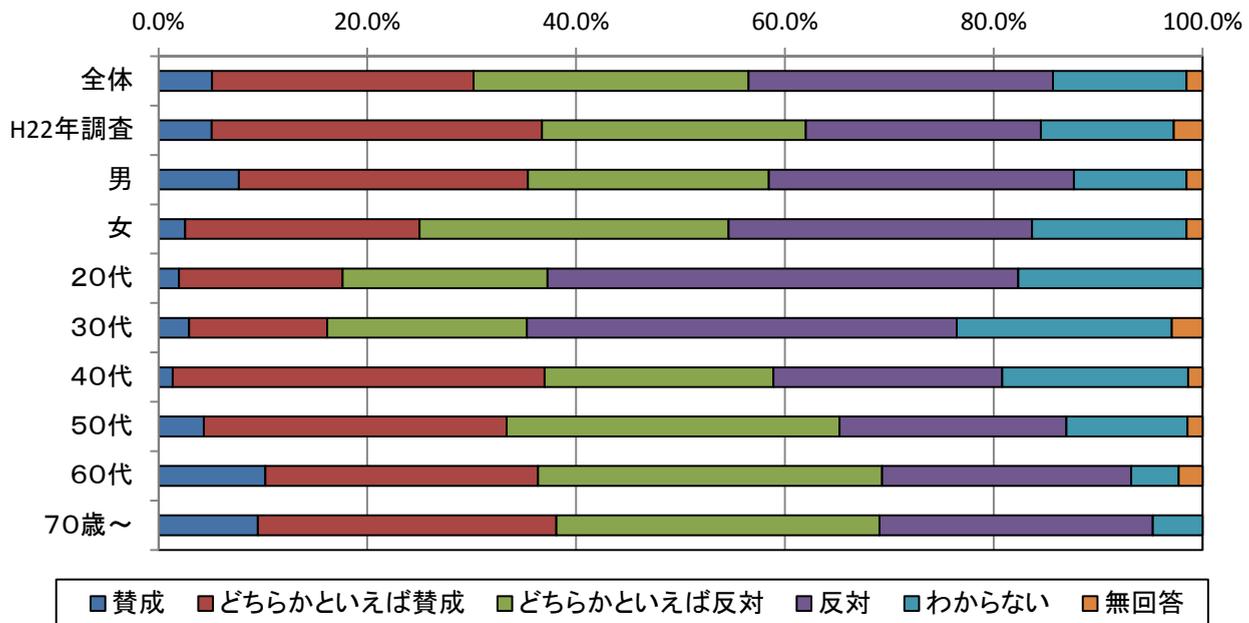
Q10 ②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき
「賛成」30.2%、「反対」55.5%

全体では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が30.2%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が55.5%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賛成」の割合は6.5ポイント減少し、「反対」の割合は7.7ポイント増加しています。

男女別では、男性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が35.4%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が52.3%、女性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が25.0%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が58.7%となっています。

年代別では、20代から70代以上すべての年代が「反対」（反対+どちらかといえば反対）の割合が高くなっています。



	賛成	い ど え ち ら ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ら ば ら 反 か 対 と	反 対	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	5.1%	25.1%	26.3%	29.2%	12.8%	1.5%	391
H22年調査	5.1%	31.6%	25.3%	22.5%	12.7%	2.8%	471
男	7.7%	27.7%	23.1%	29.2%	10.8%	1.5%	195
女	2.6%	22.4%	29.6%	29.1%	14.8%	1.5%	196
20代	2.0%	15.7%	19.6%	45.1%	17.6%	0.0%	51
30代	2.9%	13.2%	19.1%	41.2%	20.6%	2.9%	68
40代	1.4%	35.6%	21.9%	21.9%	17.8%	1.4%	73
50代	4.3%	29.0%	31.9%	21.7%	11.6%	1.4%	69
60代	10.2%	26.1%	33.0%	23.9%	4.5%	2.3%	88
70歳～	9.5%	28.6%	31.0%	26.2%	4.8%	0.0%	42

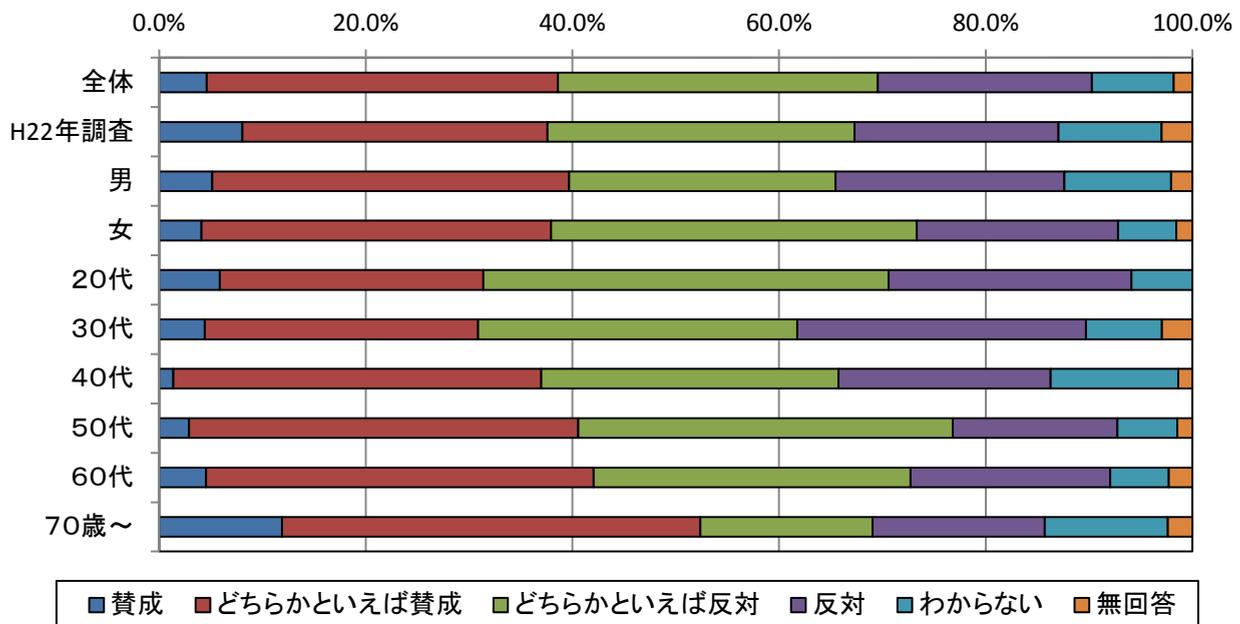
Q10 ③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい

**女性は結婚したら、家庭を中心に生活したほうがよい
「賛成」は38.6%、「反対」は51.6%**

全体では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が38.6%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が51.6%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賛成」の割合は1ポイント増加し、「反対」の割合は2.2ポイント増加しています。

男女別では、男性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が39.7%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が48.0%、女性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が37.9%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が54.9%となっています。

年代別では、20代から60代までは「反対」（反対+どちらかといえば反対）の割合が高く、70歳以上では「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）の割合が高くなっています。



	賛成	ばど 賛 成 ら か と い え	ばど 反 ち ら か と い え	反 対	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	4.6%	34.0%	30.9%	20.7%	7.9%	1.8%	391
H22年調査	8.1%	29.5%	29.7%	19.7%	10.0%	3.0%	471
男	5.2%	34.5%	25.8%	22.2%	10.3%	2.1%	195
女	4.1%	33.8%	35.4%	19.5%	5.6%	1.5%	196
20代	5.9%	25.5%	39.2%	23.5%	5.9%	0.0%	51
30代	4.4%	26.5%	30.9%	27.9%	7.4%	2.9%	68
40代	1.4%	35.6%	28.8%	20.5%	12.3%	1.4%	73
50代	2.9%	37.7%	36.2%	15.9%	5.8%	1.4%	69
60代	4.5%	37.5%	30.7%	19.3%	5.7%	2.3%	88
70歳～	11.9%	40.5%	16.7%	16.7%	11.9%	2.4%	42

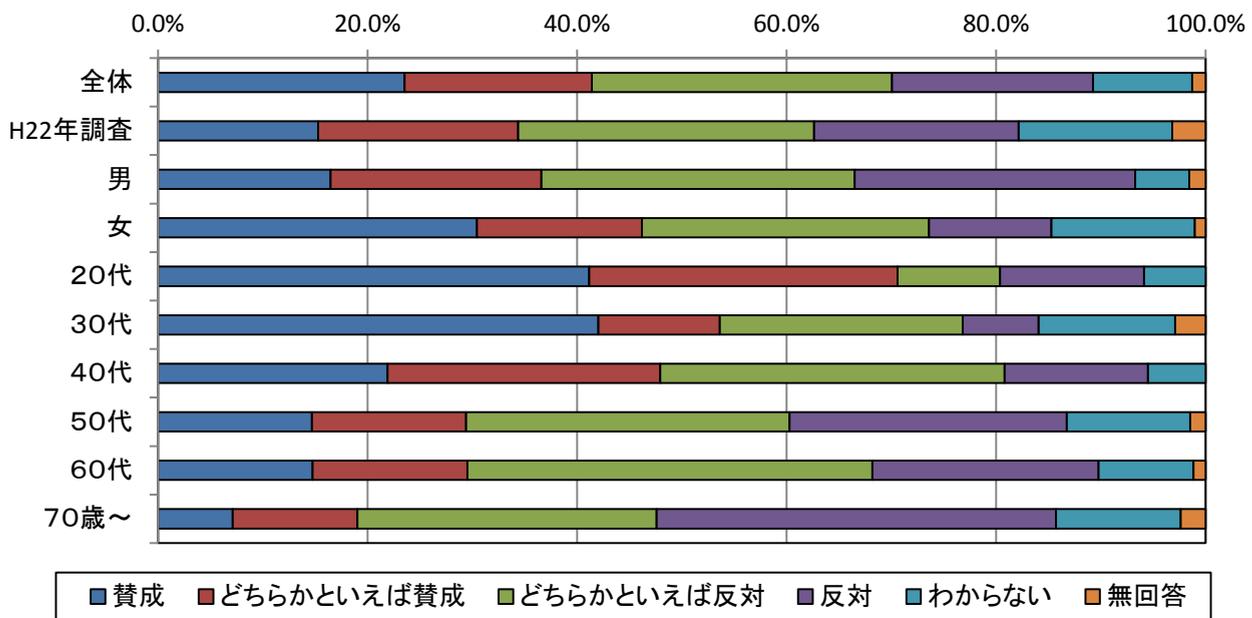
Q10 ④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない

結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない
「賛成」41.4%、「反対」47.8%

全体では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が41.4%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が47.8%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賛成」の割合は7.0ポイント増加し、「反対」の割合も0.1ポイント増加しています。

男女別では、男性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が36.6%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が56.7%となっています。

年代別では、20代、30代、40代で「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）の割合が高くなっています。特に20代では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が70%を超えています。50代以降は「反対」（反対+どちらかといえば反対）の割合が高く、年代を増すごとに差が大きくなっています。



	賛成	ばど ばど 賛 反 成 ら か と い え	ばど ばど 反 ら か と い え	反 対	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	23.5%	17.9%	28.6%	19.2%	9.5%	1.3%	391
H22年調査	15.3%	19.1%	28.2%	19.5%	14.6%	3.2%	471
男	16.5%	20.1%	29.9%	26.8%	5.2%	1.5%	195
女	30.5%	15.7%	27.4%	11.7%	13.7%	1.0%	196
20代	41.2%	29.4%	9.8%	13.7%	5.9%	0.0%	51
30代	42.0%	11.6%	23.2%	7.2%	13.0%	2.9%	68
40代	21.9%	26.0%	32.9%	13.7%	5.5%	0.0%	73
50代	14.7%	14.7%	30.9%	26.5%	11.8%	1.5%	69
60代	14.8%	14.8%	38.6%	21.6%	9.1%	1.1%	88
70歳~	7.1%	11.9%	28.6%	38.1%	11.9%	2.4%	42

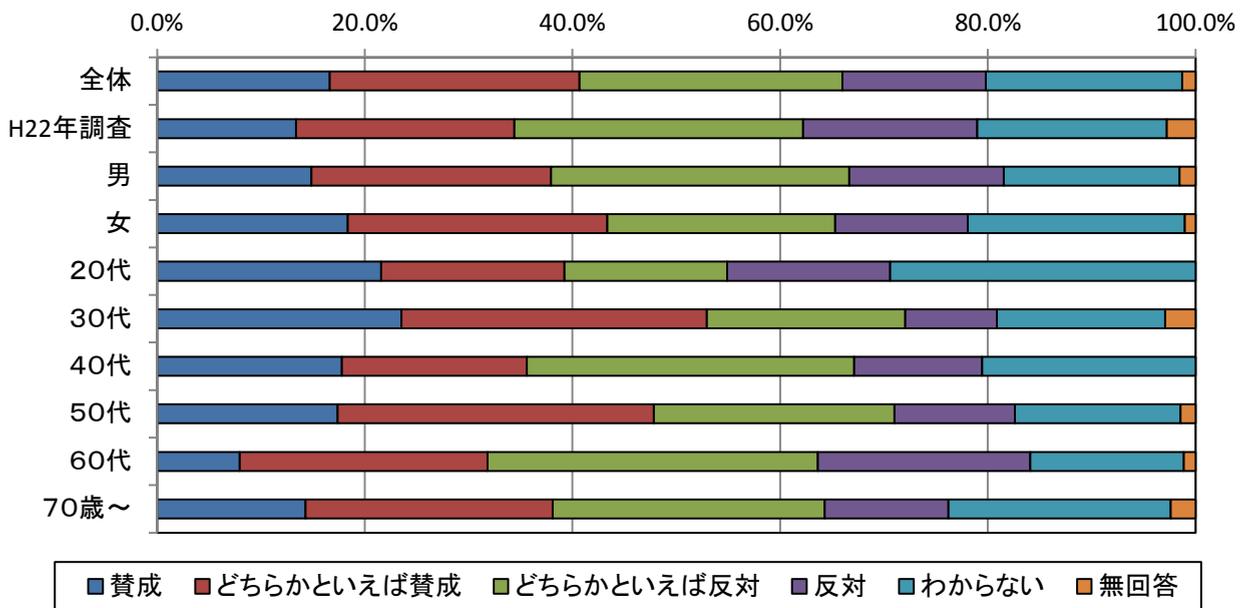
Q10 ⑤結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい
「賛成」40.6%、「反対」39.1%

全体では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が40.6%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が39.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賛成」の割合は6.2ポイント増加し、「反対」の割合は5.5ポイント減少しています。

男女別では、男性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が38.0%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が43.6%、女性は「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が43.4%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が34.7%となっています。

年代別では、20代、30代、50代で「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）の割合が高くなっています。40代では、「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）が35.6%、「反対」（反対+どちらかといえば反対）が43.8%となっています。

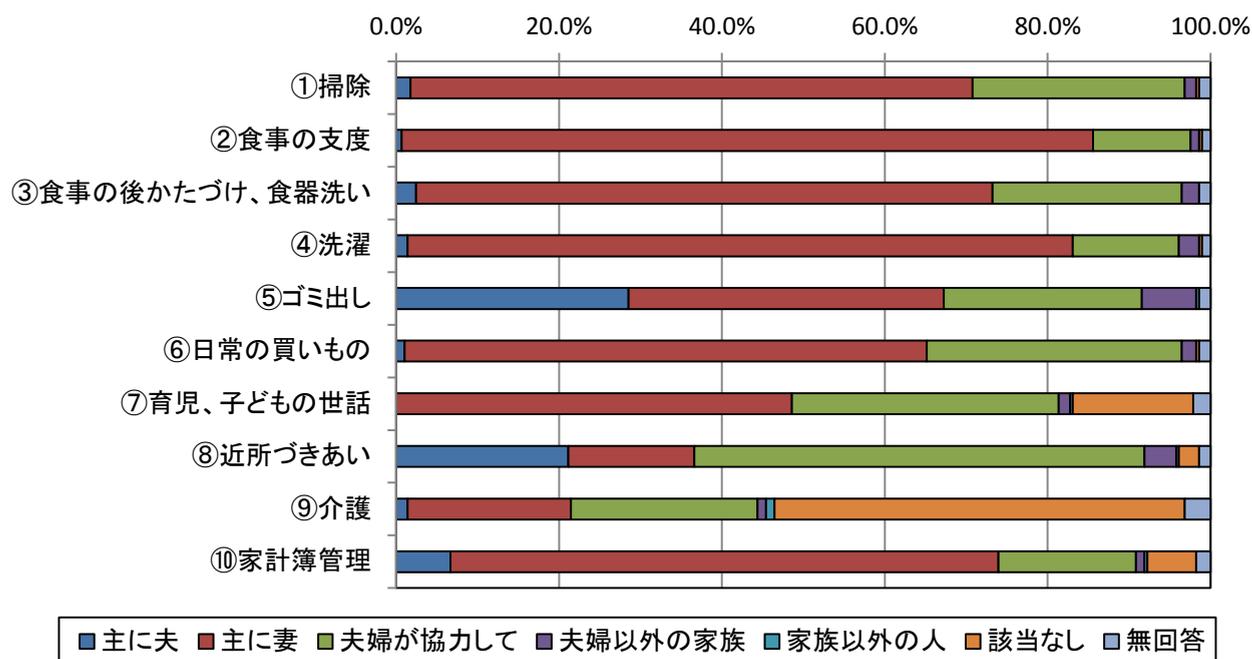


	賛成	ばど 賛 成 ら か と い え	ばど 反 対 ら か と い え	反 対	わ か ら な い	無 回 答	件 数
全体	16.6%	24.0%	25.3%	13.8%	18.9%	1.3%	391
H22年調査	13.4%	21.0%	27.8%	16.8%	18.3%	2.8%	471
男	14.9%	23.1%	28.7%	14.9%	16.9%	1.5%	195
女	18.4%	25.0%	21.9%	12.8%	20.9%	1.0%	196
20代	21.6%	17.6%	15.7%	15.7%	29.4%	0.0%	51
30代	23.5%	29.4%	19.1%	8.8%	16.2%	2.9%	68
40代	17.8%	17.8%	31.5%	12.3%	20.5%	0.0%	73
50代	17.4%	30.4%	23.2%	11.6%	15.9%	1.4%	69
60代	8.0%	23.9%	31.8%	20.5%	14.8%	1.1%	88
70歳～	14.3%	23.8%	26.2%	11.9%	21.4%	2.4%	42

Q11 Q4で1. 結している 2. 結婚していないがパートナーと暮らしていると答えた方のみお聞きします。あなたの家庭では、次にあげる家事は、現実として主に誰の役割ですか。
(それぞれの項目に○を1つ)

近所づきあいは「夫婦が協力して」55.3%、 他の家事は「主に妻」

10項目中、8項目について「主に妻」と回答した割合が最も高くなっています。残りの2項目については、「近所づきあい」で「夫婦が協力して」が55.3%で、「介護」では「該当なし」が50.4%になっています。



		主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
①掃除	全体	1.8%	69.0%	26.1%	1.4%	0.0%	0.4%	1.4%	284
②食事の支度	全体	0.7%	84.9%	12.0%	1.1%	0.0%	0.4%	1.1%	284
③食事の後かたづけ、食器洗い	全体	2.5%	70.8%	23.2%	2.1%	0.0%	0.0%	1.4%	284
④洗濯	全体	1.4%	81.7%	13.0%	2.5%	0.0%	0.4%	1.1%	284
⑤ゴミ出し	全体	28.5%	38.7%	24.3%	6.7%	0.4%	0.0%	1.4%	284
⑥日常の買いもの	全体	1.1%	64.1%	31.3%	1.8%	0.0%	0.4%	1.4%	284
⑦育児、子どもの世話	全体	0.0%	48.6%	32.7%	1.4%	0.4%	14.8%	2.1%	284
⑧近所づきあい	全体	21.1%	15.5%	55.3%	3.9%	0.4%	2.5%	1.4%	284
⑨介護	全体	1.4%	20.1%	22.9%	1.1%	1.1%	50.4%	3.2%	284
⑩家計簿管理	全体	6.7%	67.3%	16.9%	1.1%	0.4%	6.0%	1.8%	284

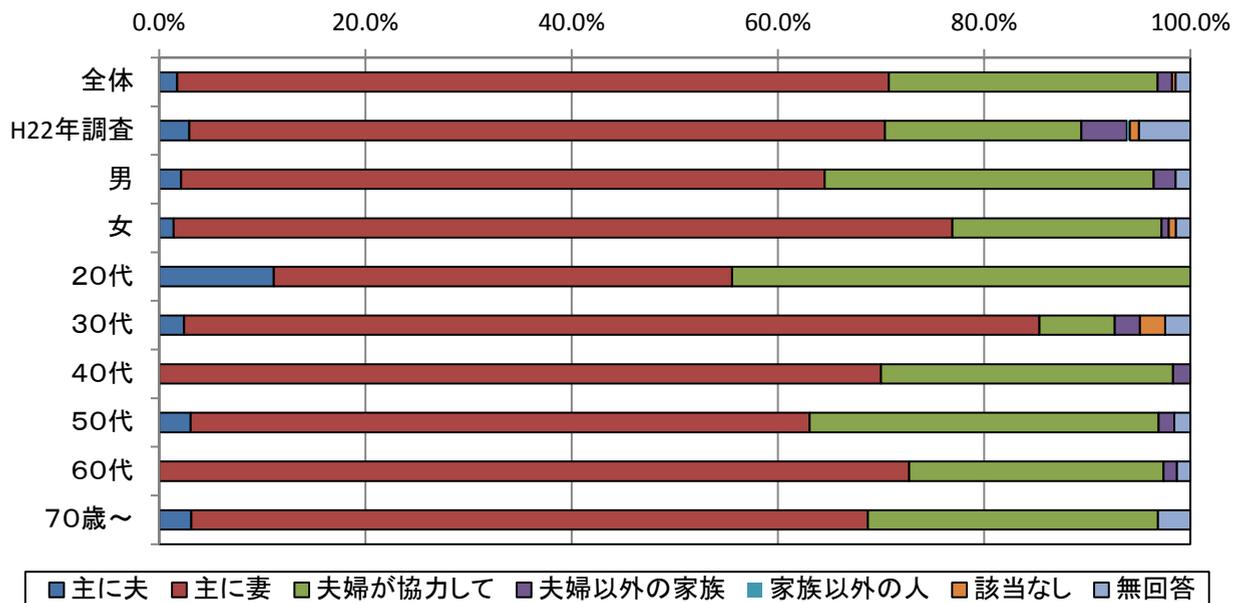
Q11 ①掃除

掃除は「主に妻」69.0%、「夫婦が協力して」26.1%

全体では、「主に夫」が1.8%、「主に妻」が69.0%、「夫婦が協力して」が26.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合が1.1ポイント減少し、「主に妻」の割合は1.6ポイント増加し、「夫婦が協力して」は7.0ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」と回答した割合が男性に比べて女性の比率が高くなっています。

年代別では、30代、40代、60代の「主に妻」の割合が7割を超える結果となっています。20代では「主に夫」の割合が、他の年代に比べて高くなっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.8%	69.0%	26.1%	1.4%	0.0%	0.4%	1.4%	284
H22年調査	2.9%	67.4%	19.1%	4.4%	0.3%	0.9%	5.0%	341
男	2.1%	62.4%	31.9%	2.1%	0.0%	0.0%	1.4%	141
女	1.4%	75.5%	20.3%	0.7%	0.0%	0.7%	1.4%	143
20代	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9
30代	2.4%	82.9%	7.3%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	41
40代	0.0%	70.0%	28.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	60
50代	3.1%	60.0%	33.8%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	0.0%	72.7%	24.7%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	77
70歳~	3.1%	65.6%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	32

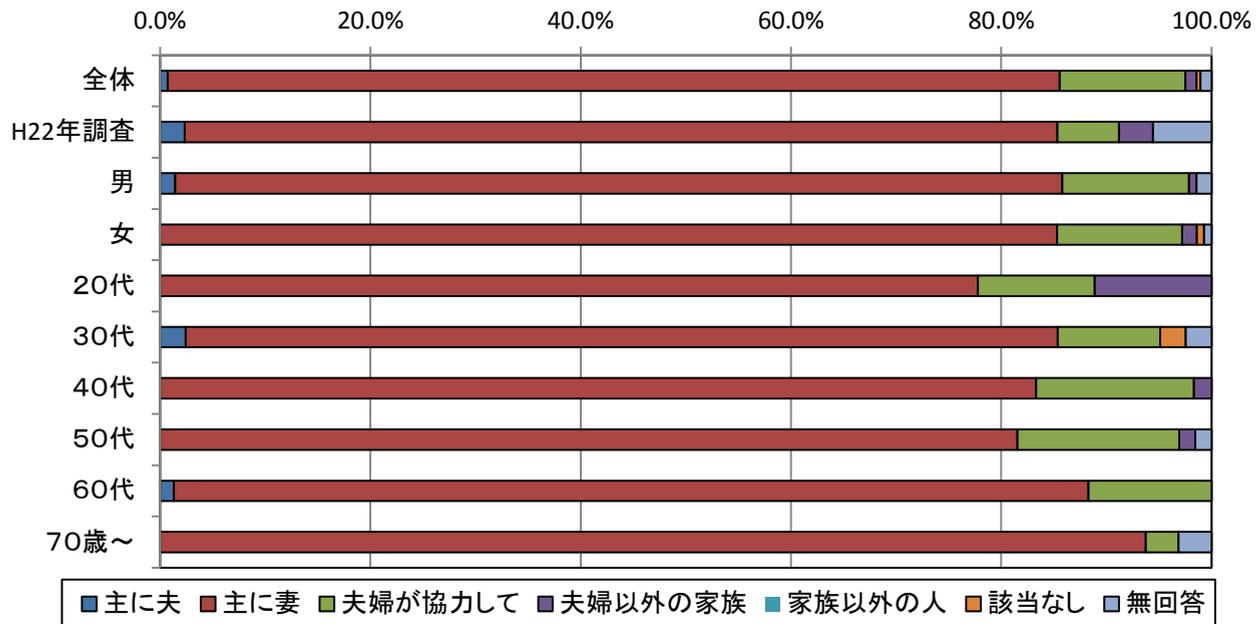
Q11 ②食事の支度

**食事の支度は、「主に妻」84.9%、
「夫婦が協力して」12.0%**

全体では、「主に夫」が0.7%、「主に妻」が84.9%、「夫婦が協力して」が12.0%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は1.6ポイント減少し、「主に妻」の割合は1.9ポイント増加し、「夫婦が協力して」の割合は6.1ポイント増加しています。

男女別でも、「主に妻」の割合が最も高くなっていますが、「夫婦が協力して」の割合は、男性の方が、若干多い結果となっています。

年代別の結果では、20代で「夫婦以外の家族」が11.1%と、どの年代よりも高い割合になっています。70歳以上では、「主に夫」が0%で、「主に妻」の割合は、他の年代に比べると最も高く9割を超えています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.7%	84.9%	12.0%	1.1%	0.0%	0.4%	1.1%	284
H22年調査	2.3%	83.0%	5.9%	3.2%	0.0%	0.0%	5.6%	341
男	1.4%	84.4%	12.1%	0.7%	0.0%	0.0%	1.4%	141
女	0.0%	85.3%	11.9%	1.4%	0.0%	0.7%	0.7%	143
20代	0.0%	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9
30代	2.4%	82.9%	9.8%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	41
40代	0.0%	83.3%	15.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	60
50代	0.0%	81.5%	15.4%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	1.3%	87.0%	11.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77
70歳~	0.0%	93.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	32

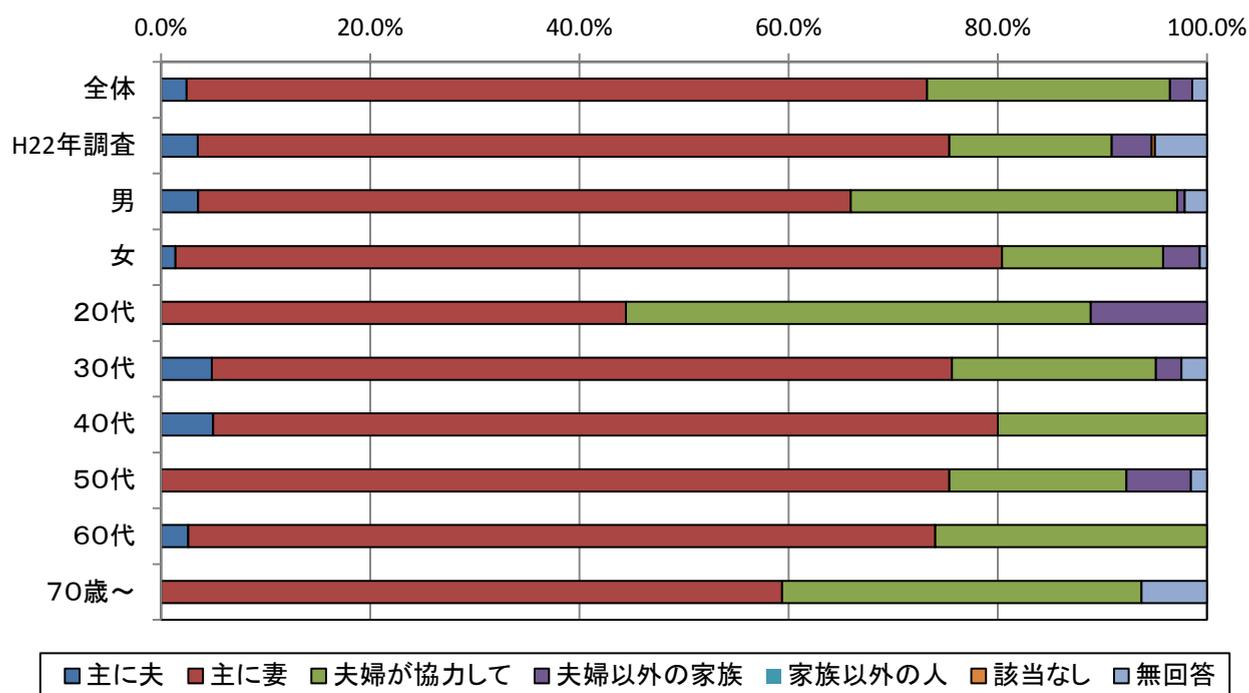
Q11 ③食事の後かたづけ、食器洗い

食事の後片付け、食器洗いは 「主に妻」70.8%、「夫婦が協力して」が23.2%

全体では、「主に夫」が2.5%、「主に妻」が70.8%、「夫婦が協力して」が23.2%になっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は1ポイント減少し、「主に妻」の割合は1ポイント減少し、「夫婦が協力して」の割合は7.7ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」と回答した割合は女性の方が高く、「夫婦協力して」の割合は男性が高くなっています。

年代別では、20代、70歳以上の「夫婦が協力して」の割合が、他の年代に比べて高くなっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	2.5%	70.8%	23.2%	2.1%	0.0%	0.0%	1.4%	284
H22年調査	3.5%	71.8%	15.5%	3.8%	0.0%	0.3%	5.0%	341
男	3.5%	62.4%	31.2%	0.7%	0.0%	0.0%	2.1%	141
女	1.4%	79.0%	15.4%	3.5%	0.0%	0.0%	0.7%	143
20代	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9
30代	4.9%	70.7%	19.5%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	41
40代	5.0%	75.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60
50代	0.0%	75.4%	16.9%	6.2%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	2.6%	71.4%	26.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77
70歳~	0.0%	59.4%	34.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	32

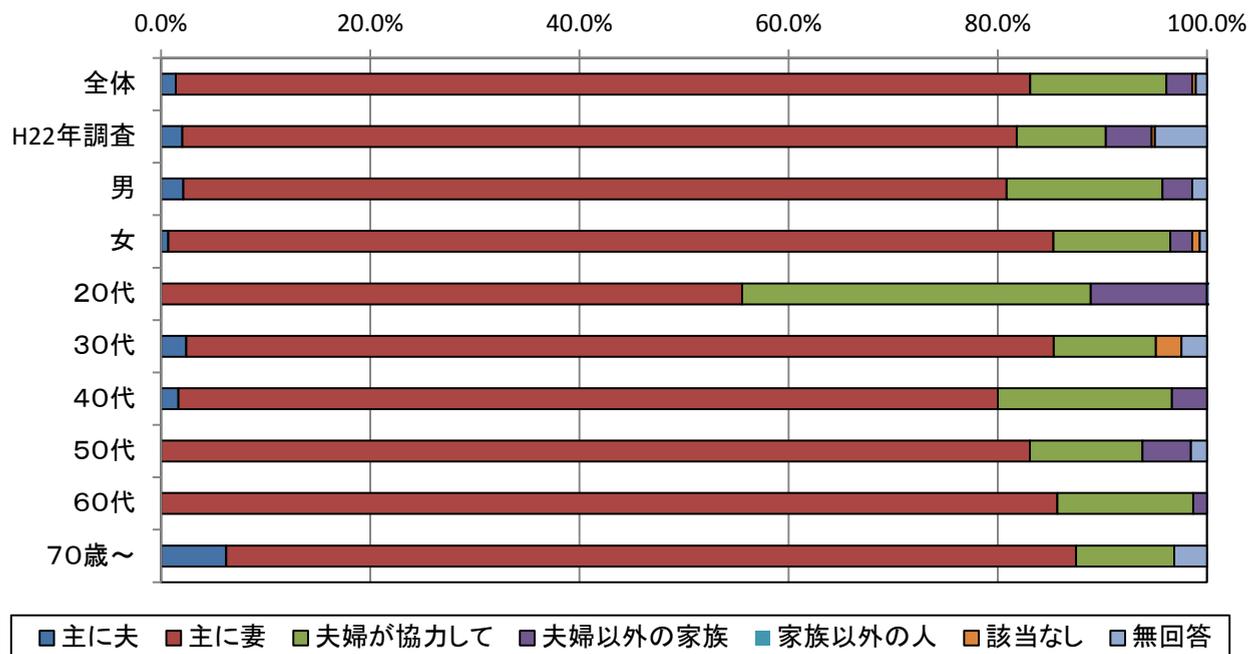
Q11 ④洗濯

洗濯は、「主に妻」81.7%、「夫婦が協力して」13.0%

全体では、「主に夫」が1.4%、「主に妻」が81.7%、「夫婦が協力して」が13.0%になっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.7ポイント減少し、「主に妻」の割合は1.9ポイント増加し、「夫婦が協力して」は4.5ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」と答えた割合が男性よりも女性の方が若干高くなっています。

年代別では、30代、50代、60代、70歳以上で「主に妻」と答えた割合が高く、80%を超えています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.4%	81.7%	13.0%	2.5%	0.0%	0.4%	1.1%	284
H22年調査	2.1%	79.8%	8.5%	4.4%	0.0%	0.3%	5.0%	341
男	2.1%	78.7%	14.9%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%	141
女	0.7%	84.6%	11.2%	2.1%	0.0%	0.7%	0.7%	143
20代	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	1.0%	9
30代	2.4%	82.9%	9.8%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	41
40代	1.7%	78.3%	16.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	60
50代	0.0%	83.1%	10.8%	4.6%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	0.0%	85.7%	13.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	77
70歳~	6.3%	81.3%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	32

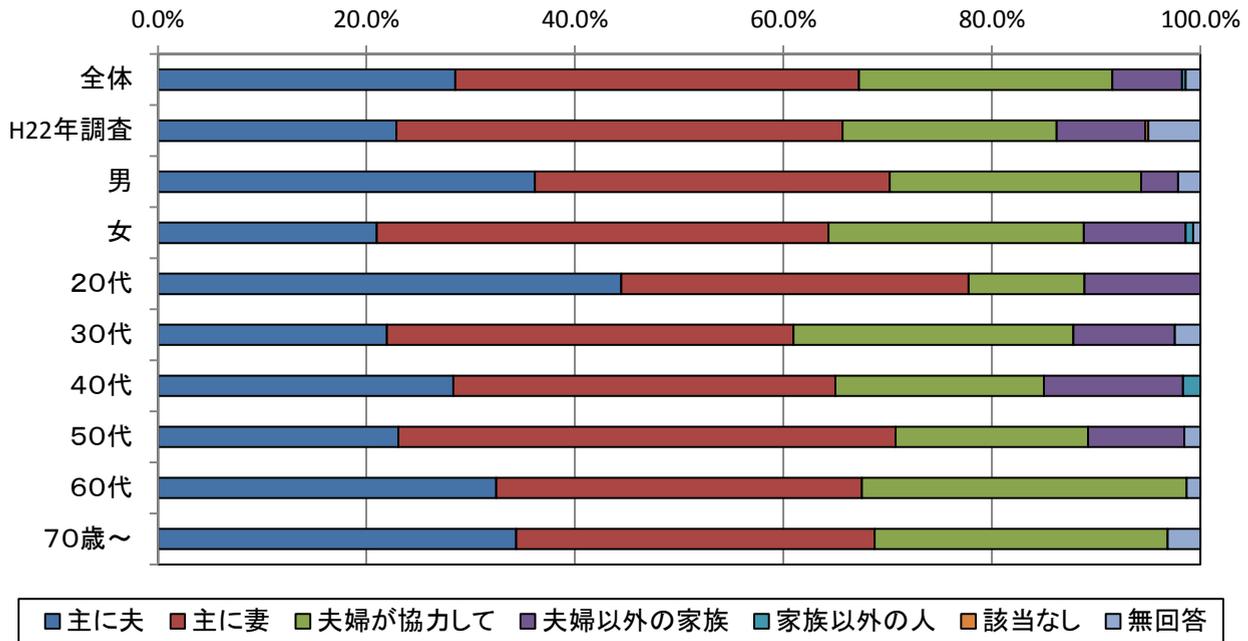
Q11 ⑤ゴミ出し

ゴミ出しは、「主に妻」38.7%、「主に夫」28.5%

全体では、「主に夫」が28.5%、「主に妻」が38.7%、「夫婦が協力して」が24.3%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は5.6ポイント増加し、「主に妻」の割合は4.1ポイント減少し、「夫婦が協力して」の割合は3.8ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」と回答した割合は男性と比べると、女性の方が高くなっています。

年代別では、20代は「主に夫」の割合が最も高く、50代では「主に妻」の割合が最も高くなっています。



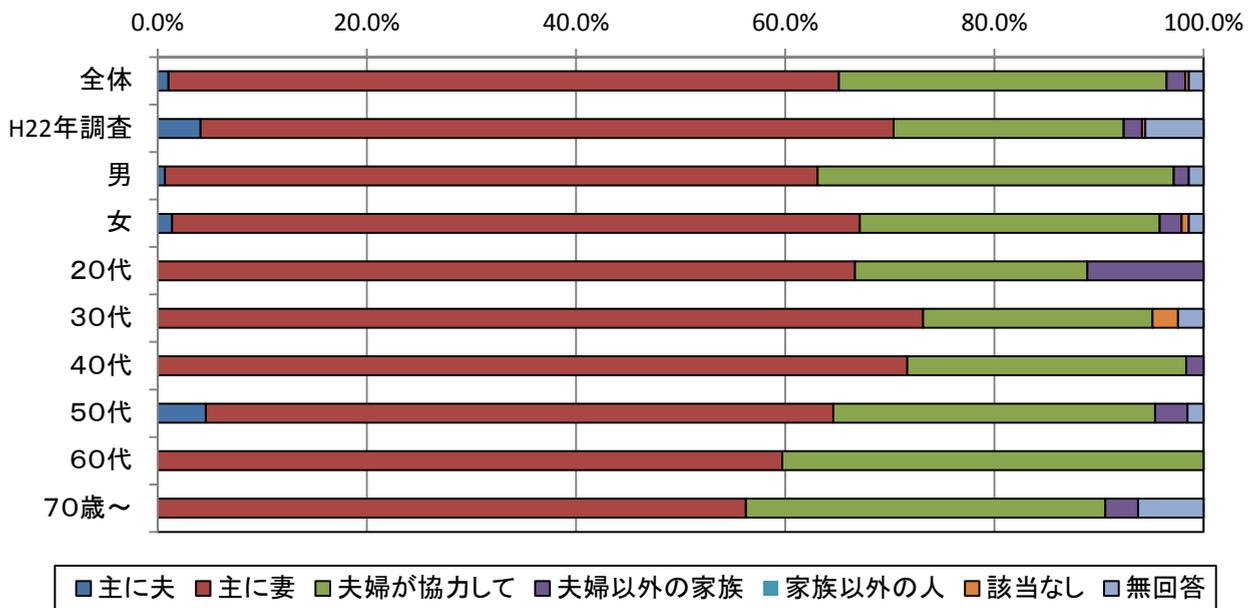
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	28.5%	38.7%	24.3%	6.7%	0.4%	0.0%	1.4%	284
H22年調査	22.9%	42.8%	20.5%	8.5%	0.0%	0.3%	5.0%	341
男	36.2%	34.0%	24.1%	3.5%	0.0%	0.0%	2.1%	141
女	21.0%	43.4%	24.5%	9.8%	0.7%	0.0%	0.7%	143
20代	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9
30代	22.0%	39.0%	26.8%	9.8%	0.0%	0.0%	2.4%	41
40代	28.3%	36.7%	20.0%	13.3%	1.7%	0.0%	0.0%	60
50代	23.1%	47.7%	18.5%	9.2%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	32.5%	35.1%	31.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	77
70歳~	34.4%	34.4%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	32

日常の買い物は、「主に妻」64.1% 「夫婦が協力して」31.3%

全体では、「主に夫」が1.1%、「主に妻」が64.1%、次いで「夫婦が協力して」が31.3%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は3ポイント減少し、「主に妻」の割合は2.2ポイント減少し、「夫婦が協力して」の割合は9.3ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」と回答した割合は、男性よりも女性の方が高くなっています。

年代別では、「主に夫」の割合が20代、30代、40代、60代、70代で0%となっております。また、30代、40代で「主に妻」と答えた割合が高く、70%を超えています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.1%	64.1%	31.3%	1.8%	0.0%	0.4%	1.4%	284
H22年調査	4.1%	66.3%	22.0%	1.8%	0.0%	0.3%	5.6%	341
男	0.7%	62.4%	34.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	141
女	1.4%	65.7%	28.7%	2.1%	0.0%	0.7%	1.4%	143
20代	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9
30代	0.0%	73.2%	22.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	41
40代	0.0%	71.7%	26.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	60
50代	4.6%	60.0%	30.8%	3.1%	0.0%	0.0%	1.5%	65
60代	0.0%	59.7%	40.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77
70歳~	0.0%	56.3%	34.4%	3.1%	0.0%	0.0%	6.3%	32

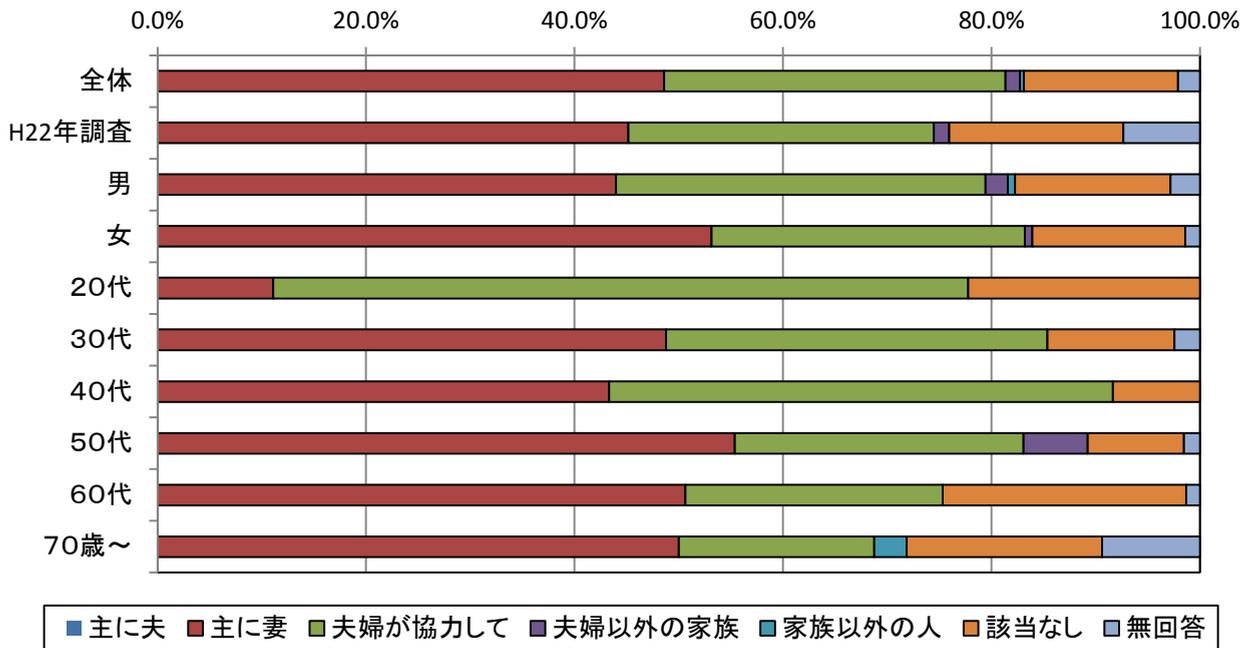
Q11 ⑦育児、子どもの世話

**育児、子どもの世話は、「主に妻」48.6%
「夫婦が協力して」32.7%**

全体では、「主に夫」が0%、「主に妻」が48.6%、「夫婦が協力して」が32.7%になっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は増減なし、「主に妻」の割合は3.4ポイント増加し、「夫婦が協力して」の割合は3.4ポイント増加しています。

男女別では、多少のばらつきはありますが、同じような結果となっています。

年代別では、20代で「夫婦が協力して」と回答した割合が60%を超え、高くなっています。



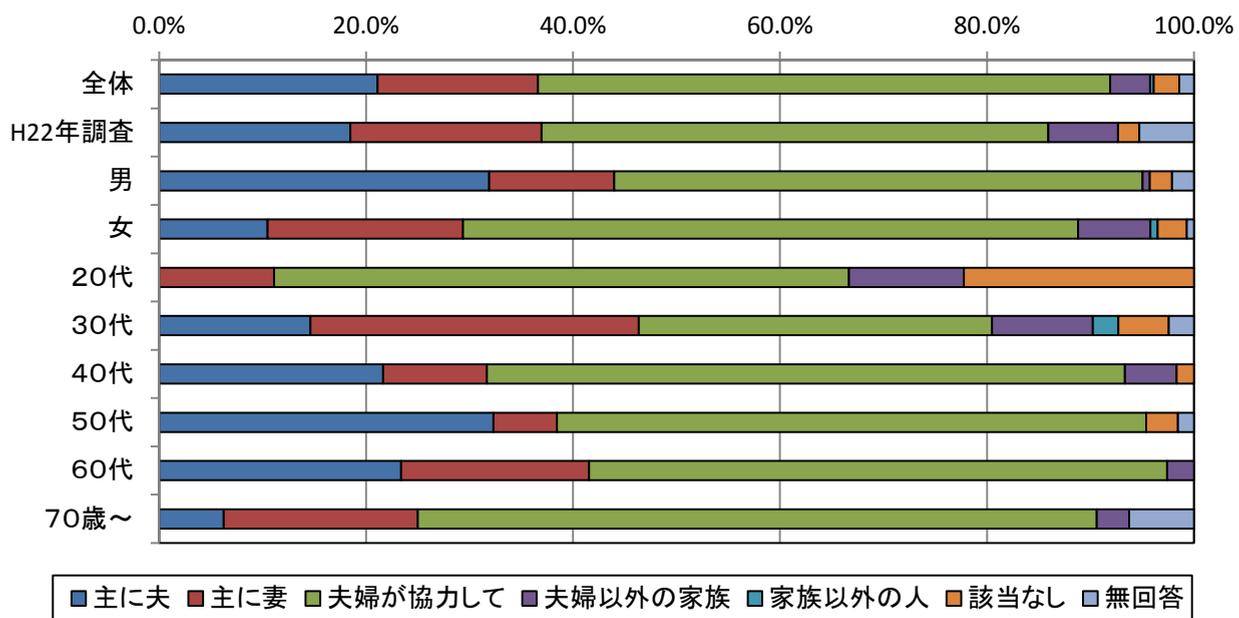
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.0%	48.6%	32.7%	1.4%	0.4%	14.8%	2.1%	284
H22年調査	0.0%	45.2%	29.3%	1.5%	0.0%	16.7%	7.3%	341
男	0.0%	44.0%	35.5%	2.1%	0.7%	14.9%	2.8%	141
女	0.0%	53.1%	30.1%	0.7%	0.0%	14.7%	1.4%	143
20代	0.0%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	9
30代	0.0%	48.8%	36.6%	0.0%	0.0%	12.2%	2.4%	41
40代	0.0%	43.3%	48.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	60
50代	0.0%	55.4%	27.7%	6.2%	0.0%	9.2%	1.5%	65
60代	0.0%	50.6%	24.7%	0.0%	0.0%	23.4%	1.3%	77
70歳~	0.0%	50.0%	18.8%	0.0%	3.1%	18.8%	9.4%	32

近所づきあいは「主に夫」21.1%、「主に妻」15.5% 「夫婦が協力して」55.3%

全体では、「夫婦が協力して」が55.3%、「主に夫」が21.1%、「主に妻」が15.5%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は2.6ポイント増加し、「主に妻」の割合は3ポイント減少し、「夫婦が協力して」の割合は6.3ポイント増加しています。

男女別では、男性が「主に夫」が31.9%と、全体の結果より高い割合になっているのに対し、女性では、「夫婦が協力して」の割合が59.4%と全体の結果より高い割合になっています。

年代別では、70歳以上で「夫婦が協力して」の割合は65.6%で最も高くなっています。



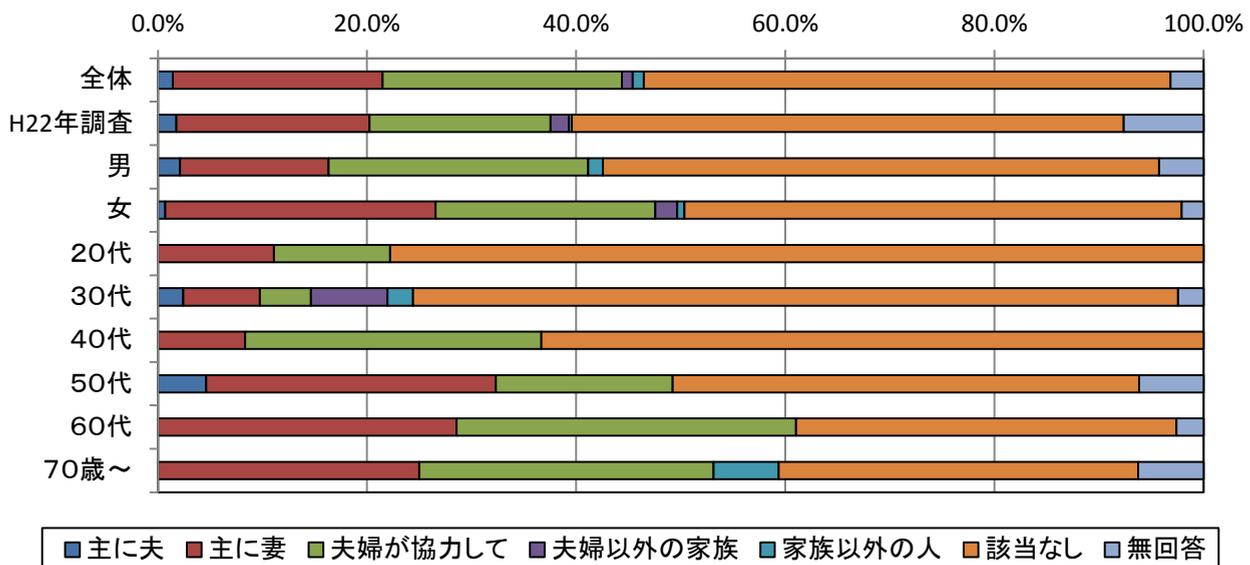
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	21.1%	15.5%	55.3%	3.9%	0.4%	2.5%	1.4%	284
H22年調査	18.5%	18.5%	49.0%	6.7%	0.0%	2.1%	5.3%	341
男	31.9%	12.1%	51.1%	0.7%	0.0%	2.1%	2.1%	141
女	10.5%	18.9%	59.4%	7.0%	0.7%	2.8%	0.7%	143
20代	0.0%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	9
30代	14.6%	31.7%	34.1%	9.8%	2.4%	4.9%	2.4%	41
40代	21.7%	10.0%	61.7%	5.0%	0.0%	1.7%	0.0%	60
50代	32.3%	6.2%	56.9%	0.0%	0.0%	3.1%	1.5%	65
60代	23.4%	18.2%	55.8%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	77
70歳～	6.3%	18.8%	65.6%	3.1%	0.0%	0.0%	6.3%	32

介護は「該当なし」50.4%、 「主に妻」20.1%、「夫婦が協力して」22.9%

全体では、「該当なし」が50.4%で最も高いため、他の回答数が低くなっています。その中で、「主に妻」が20.1%、「夫婦が協力して」が22.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は1.1ポイント増加し、「主に妻」の割合は2.7ポイント増加し、「夫婦が協力して」は8.5ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」の割合が男女で異なっています。

年代別では、30代、40代で「主に妻」と回答した割合が、他の年代に比べて、低くなっています。



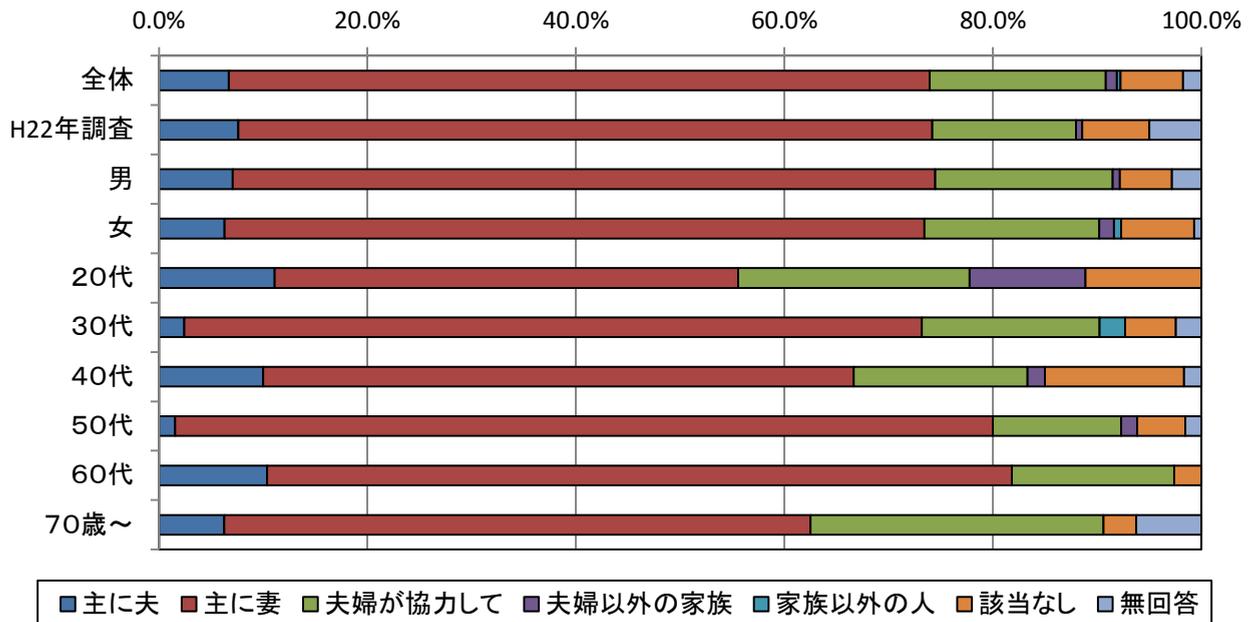
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.4%	20.1%	22.9%	1.1%	1.1%	50.4%	3.2%	284
H22年調査	1.8%	18.5%	17.3%	1.8%	0.3%	52.8%	7.6%	341
男	2.1%	14.2%	24.8%	0.0%	1.4%	53.2%	4.3%	141
女	0.7%	25.9%	21.0%	2.1%	0.7%	47.6%	2.1%	143
20代	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	9
30代	2.4%	7.3%	4.9%	7.3%	2.4%	73.2%	2.4%	41
40代	0.0%	8.3%	28.3%	0.0%	0.0%	63.3%	0.0%	60
50代	4.6%	27.7%	16.9%	0.0%	0.0%	44.6%	6.2%	65
60代	0.0%	28.6%	32.5%	0.0%	0.0%	36.4%	2.6%	77
70歳~	0.0%	25.0%	28.1%	0.0%	6.3%	34.4%	6.3%	32

家計簿管理は「主に妻」67.3%、「夫婦が協力して」16.9%

全体では、「主に妻」が67.3%、「夫婦が協力して」が16.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.9ポイント減少し、「主に妻」の割合は0.7ポイント増加し、「夫婦が協力して」の割合は3.1ポイント増加しています。

男女別でも、同じような結果となっています。

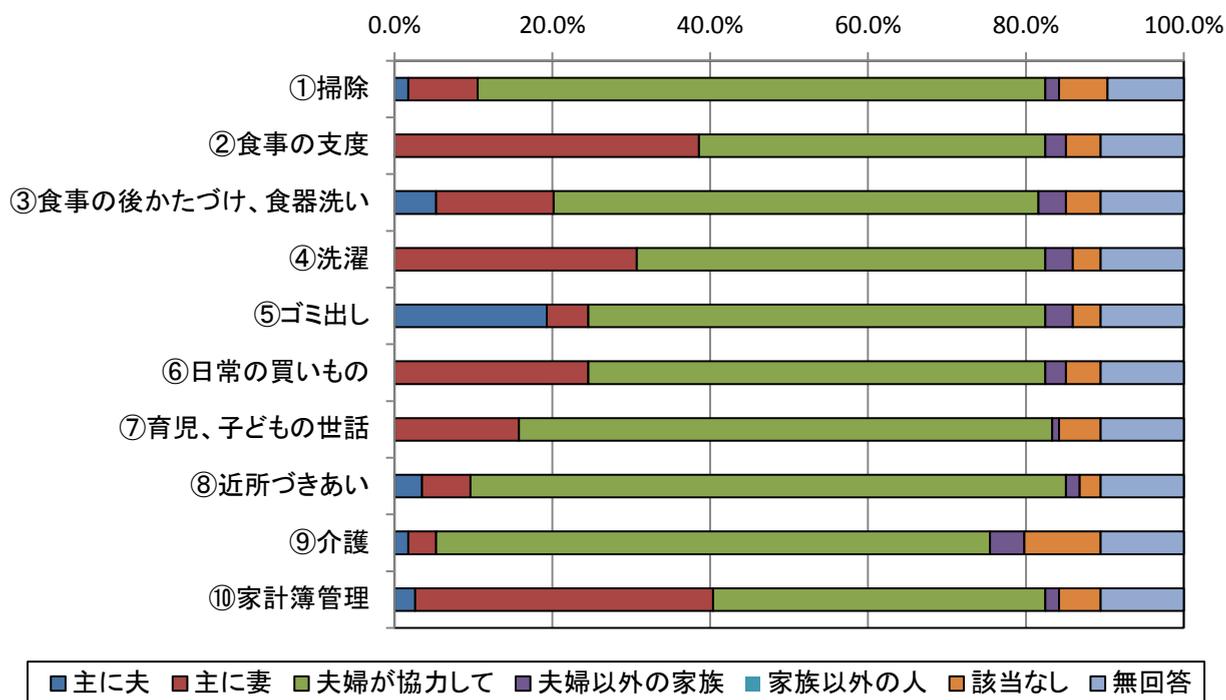
年代別では、20代、40代、60代で「主に夫」が10%を超えており、全体との差がみられる結果となっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	6.7%	67.3%	16.9%	1.1%	0.4%	6.0%	1.8%	284
H22年調査	7.6%	66.6%	13.8%	0.6%	0.0%	6.5%	5.0%	341
男	7.1%	67.4%	17.0%	0.7%	0.0%	5.0%	2.8%	141
女	6.3%	67.1%	16.8%	1.4%	0.7%	7.0%	0.7%	143
20代	11.1%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	9
30代	2.4%	70.7%	17.1%	0.0%	2.4%	4.9%	2.4%	41
40代	10.0%	56.7%	16.7%	1.7%	0.0%	13.3%	1.7%	60
50代	1.5%	78.5%	12.3%	1.5%	0.0%	4.6%	1.5%	65
60代	10.4%	71.4%	15.6%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	77
70歳~	6.3%	56.3%	28.1%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	32

Q12 Q4で3. 結婚しているが単身赴任、4. 結婚したが、離別、死別した、5. 結婚していない方にお聞きします。次にあげる家事を、だれがするのが望ましいと思いますか。
（それぞれの項目で○を1つ）

全ての項目が「夫婦が協力して」



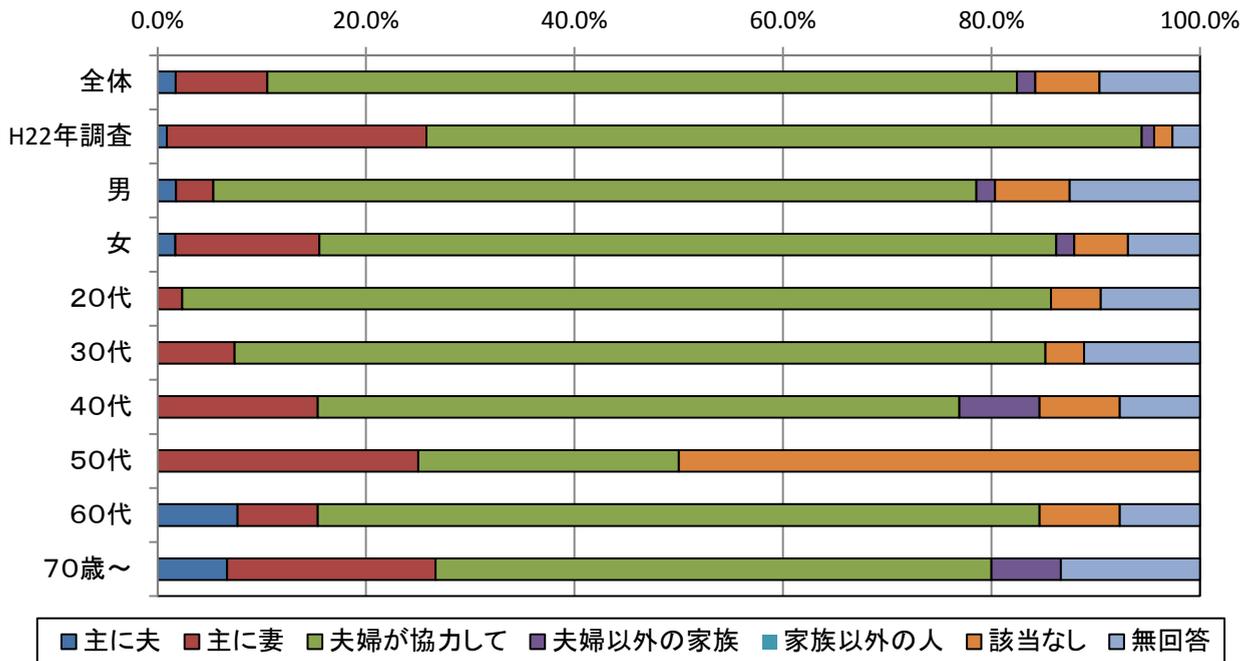
		主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
①掃除	全体	1.8%	8.8%	71.9%	1.8%	0.0%	6.1%	9.6%	114
②食事の支度	全体	0.0%	38.6%	43.9%	2.6%	0.0%	4.4%	10.5%	114
③食事の後かたづけ、食器洗い	全体	5.3%	14.9%	61.4%	3.5%	0.0%	4.4%	10.5%	114
④洗濯	全体	0.0%	30.7%	51.8%	3.5%	0.0%	3.5%	10.5%	114
⑤ゴミ出し	全体	19.3%	5.3%	57.9%	3.5%	0.0%	3.5%	10.5%	114
⑥日常の買いもの	全体	0.0%	24.6%	57.9%	2.6%	0.0%	4.4%	10.5%	114
⑦育児、子どもの世話	全体	0.0%	15.8%	67.5%	0.9%	0.0%	5.3%	10.5%	114
⑧近所づきあい	全体	3.5%	6.1%	75.4%	1.8%	0.0%	2.6%	10.5%	114
⑨介護	全体	1.8%	3.5%	70.2%	4.4%	0.0%	9.6%	10.5%	114
⑩家計簿管理	全体	2.6%	37.7%	42.1%	1.8%	0.0%	5.3%	10.5%	114

掃除は「主に妻」8.8%、「夫婦が協力して」71.9%

全体では、「夫婦が協力して」が71.9%、「主に妻」が8.8%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.9ポイント増加し、「主に妻」の割合は16.1ポイント減少し、「夫婦が協力して」は3.3ポイント増加しています。

男女別では、「主に妻」の割合が大きく違います。

年代別では、20代で「主に妻」が2.4%と、全体より低い割合となっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.8%	8.8%	71.9%	1.8%	0.0%	6.1%	9.6%	114
H22年調査	0.9%	24.9%	68.6%	1.2%	0.0%	1.8%	2.6%	341
男	1.8%	3.6%	73.2%	1.8%	0.0%	7.1%	12.5%	56
女	1.7%	13.8%	70.7%	1.7%	0.0%	5.2%	6.9%	58
20代	0.0%	2.4%	83.3%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	42
30代	0.0%	7.4%	77.8%	0.0%	0.0%	3.7%	11.1%	27
40代	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	7.7%	7.7%	69.2%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	13
70歳~	6.7%	20.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	15

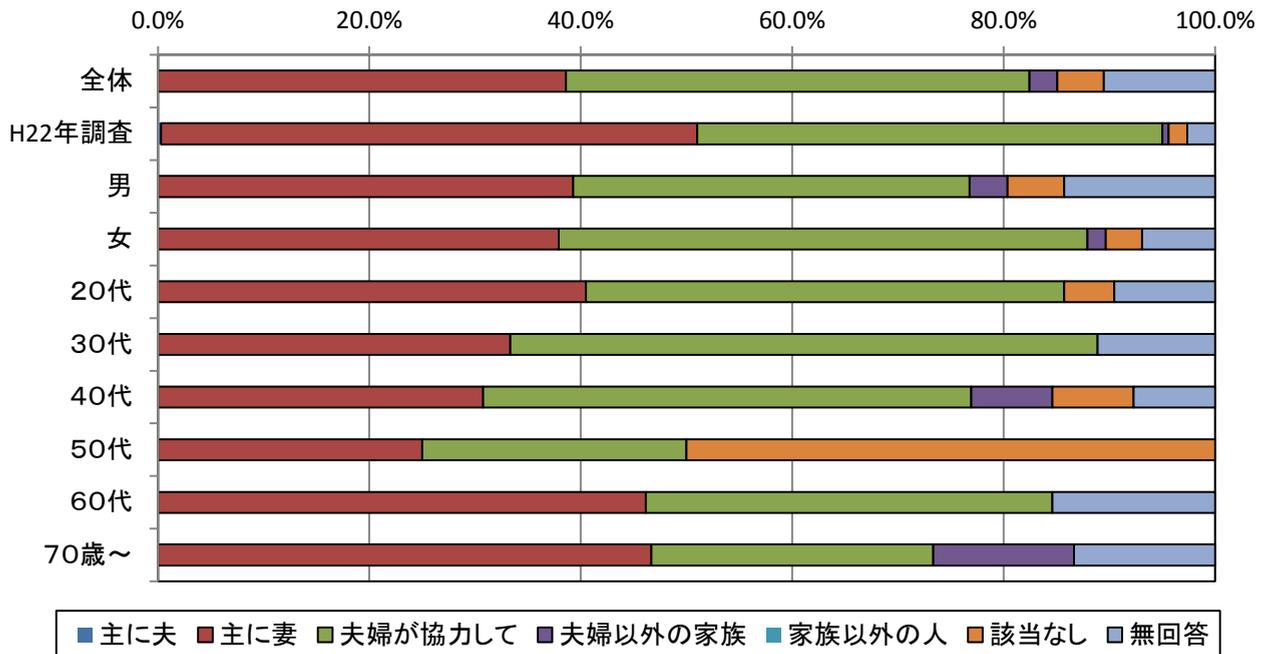
Q12

②食事の支度

**食事の支度は「主に妻」38.6%、
「夫婦が協力して」43.9%**

全体では、「主に妻」が38.6%、「夫婦が協力して」が43.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.3ポイント減少し、「主に妻」の割合は12.1ポイント減少し、「夫婦で協力して」は0.1ポイント減少しています。

男女別では、「夫婦が協力して」と回答した割合は、男性と比べると女性の方が高くなっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.0%	38.6%	43.9%	2.6%	0.0%	4.4%	10.5%	114
H22年調査	0.3%	50.7%	44.0%	0.6%	0.0%	1.8%	2.6%	341
男	0.0%	39.3%	37.5%	3.6%	0.0%	5.4%	14.3%	56
女	0.0%	37.9%	50.0%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	0.0%	40.5%	45.2%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	42
30代	0.0%	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	30.8%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	0.0%	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳~	0.0%	46.7%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	15

Q12 ③食事の後かたづけ、食器洗い

**食事の後片付け、食器洗いは「主に妻」14.9%
「夫婦が協力して」61.4%**

全体では、「夫婦が協力して」が61.4%、「主に妻」が14.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は4.4ポイント増加し、「主に妻」の割合は14.7ポイント減少し、「夫婦が協力して」は0.5ポイント減少しています。

男女別でも、男女とも、「夫婦が協力して」の割合が最も高く、次いで「主に妻」という結果となっています。

年代別の結果では、30代で「夫婦が協力して」が70.4%、「主に妻」が11.1%と割合に大きな差がみられました。



■主に夫 ■主に妻 ■夫婦が協力して ■夫婦以外の家族 ■家族以外の人 ■該当なし ■無回答

	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	5.3%	14.9%	61.4%	3.5%	0.0%	4.4%	10.5%	114
H22年調査	0.9%	29.6%	61.9%	2.6%	0.0%	2.1%	2.9%	341
男	3.6%	14.3%	58.9%	5.4%	0.0%	3.6%	14.3%	56
女	6.9%	15.5%	63.8%	1.7%	0.0%	5.2%	6.9%	58
20代	7.1%	9.5%	69.0%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	42
30代	7.4%	11.1%	70.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	7.7%	7.7%	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳~	0.0%	40.0%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	15

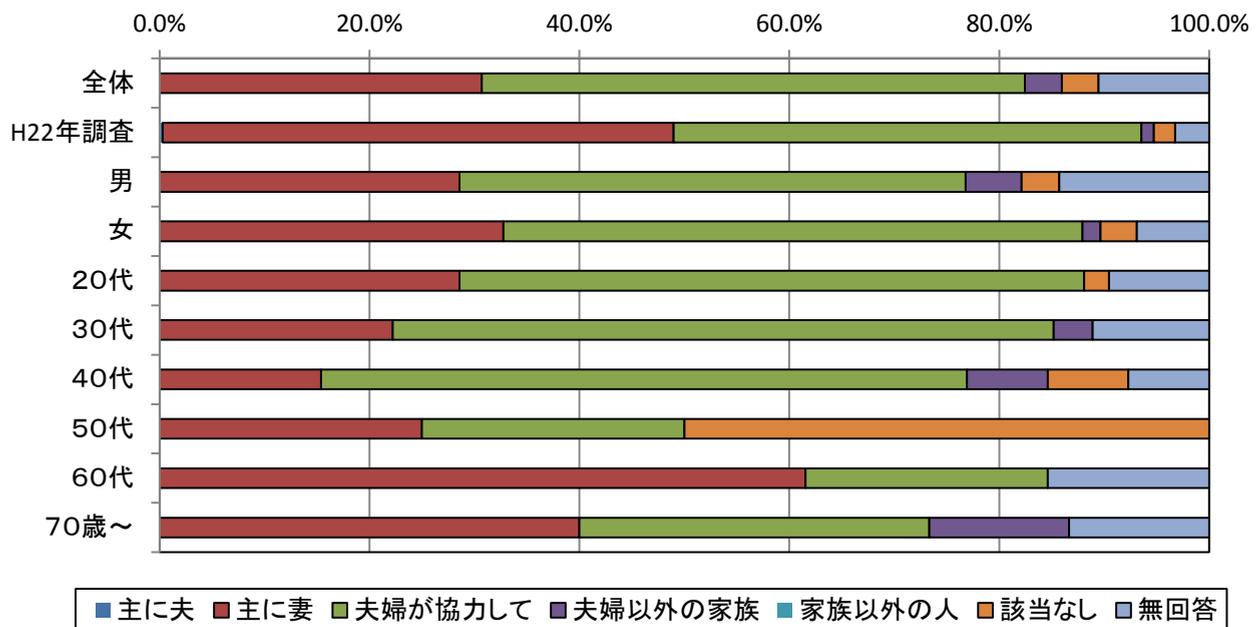
洗濯は「主に妻」30.7%、「夫婦が協力して」51.8%

全体では、「主に妻」が30.7%、「夫婦が協力して」が51.8%になっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.3ポイント減少し、「主に妻」の割合は18ポイント減少し、「夫婦が協力して」は7.2ポイント増加しています。

男女別では、多少のばらつきは見られますが、同じような結果となっています。

年代別では、60代の「主に妻」と回答した方は61.5%と最も高い割合となりました。

20代から40代では「夫婦が協力して」が最も高くなっています。50代は、「該当なし」が50%と高い割合になっています。



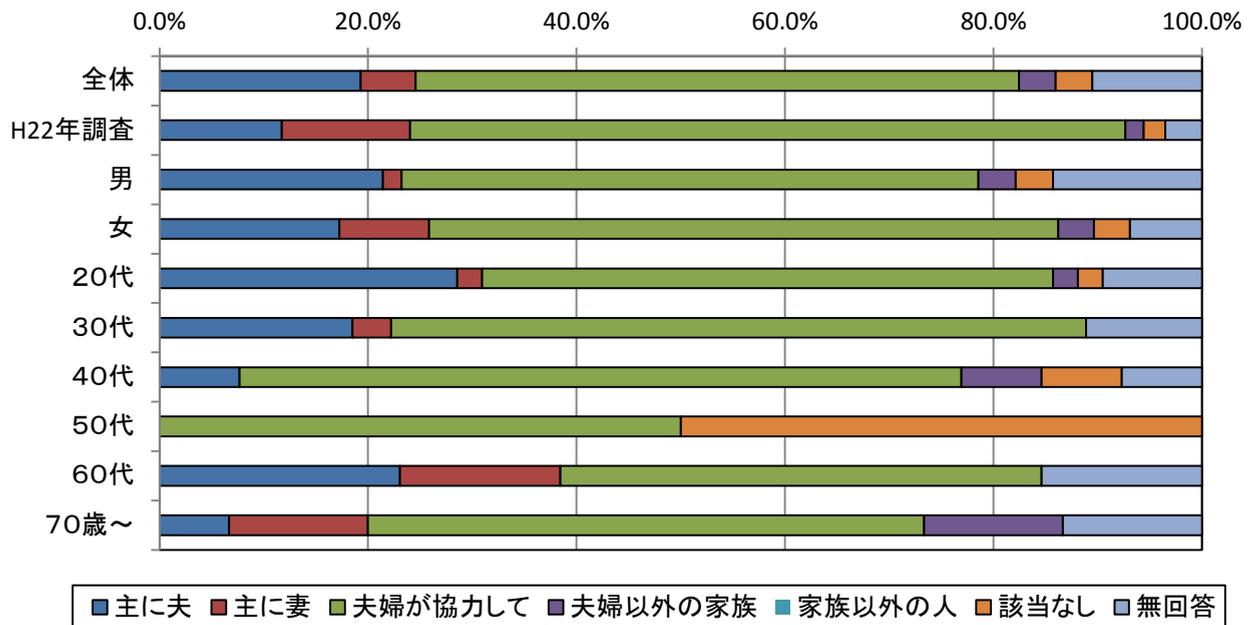
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.0%	30.7%	51.8%	3.5%	0.0%	3.5%	10.5%	114
H22年調査	0.3%	48.7%	44.6%	1.2%	0.0%	2.1%	3.2%	341
男	0.0%	28.6%	48.2%	5.4%	0.0%	3.6%	14.3%	56
女	0.0%	32.8%	55.2%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	0.0%	28.6%	59.5%	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	42
30代	0.0%	22.2%	63.0%	3.7%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	0.0%	61.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳～	0.0%	40.0%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	15

ゴミ出しは「夫婦が協力して」57.9%

全体では、「夫婦が協力して」が57.9%、「主に妻」が5.3%、「主に夫」が19.3%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は7.6ポイント増加し、「主に妻」の割合は7ポイント減少し、「夫婦が協力して」は10.7ポイント減少しています。

男女別でも、男女とも「夫婦が協力して」の割合が最も高く、「主に夫」の割合は男性の方が高くなっています。

年代別では、20代は「主に夫」の回答が28.6%と全体よりも高い割合になっており、40代、50代の「主に妻」の割合は0%となっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	19.3%	5.3%	57.9%	3.5%	0.0%	3.5%	10.5%	114
H22年調査	11.7%	12.3%	68.6%	1.8%	0.0%	2.1%	3.5%	341
男	21.4%	1.8%	55.4%	3.6%	0.0%	3.6%	14.3%	56
女	17.2%	8.6%	60.3%	3.4%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	28.6%	2.4%	54.8%	2.4%	0.0%	2.4%	9.5%	42
30代	18.5%	3.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	7.7%	0.0%	69.2%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	23.1%	15.4%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳～	6.7%	13.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	15

Q12

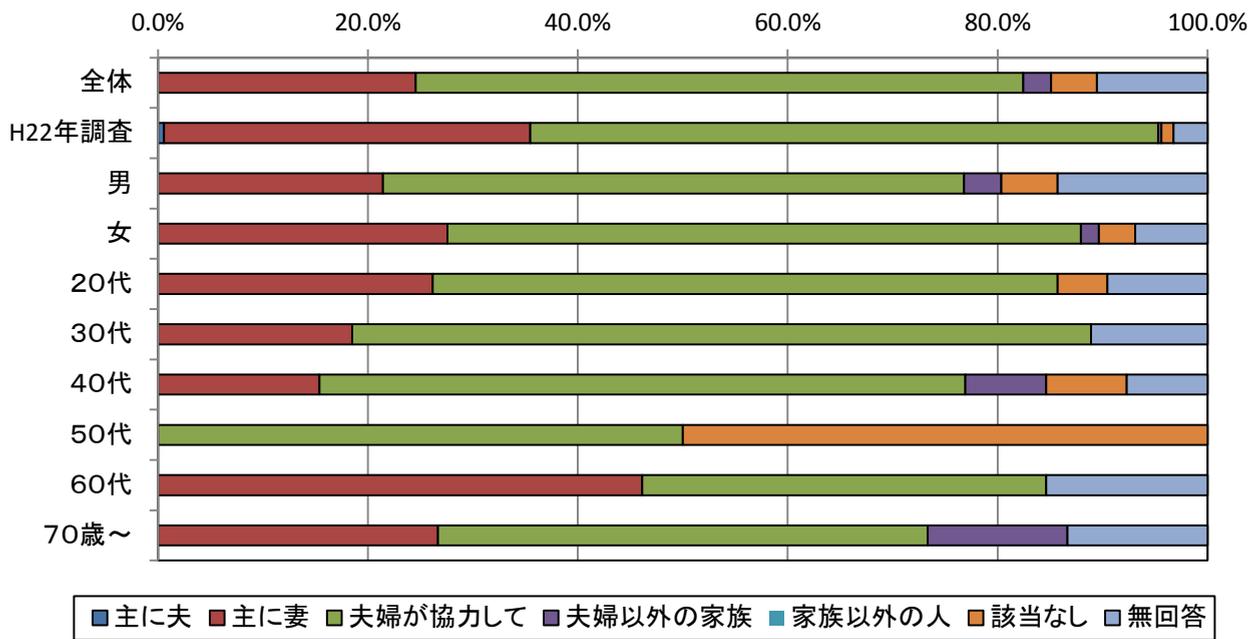
⑥日常の買いもの

**日常の買い物は「主に妻」24.6%
「夫婦が協力して」57.9%**

全体では、「夫婦が協力して」が57.9%、「主に妻」が24.6%になっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は0.6ポイント減少し、「主に妻」の割合は10.3ポイント減少し、「夫婦が協力して」は1.9ポイント減少しました。

男女別では、ほぼ同じ割合となっています。

年代別では、30代の「夫婦が協力して」が70.4%とどの年代よりも高い割合となっています。また、50代の「主に妻」が0%になっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.0%	24.6%	57.9%	2.6%	0.0%	4.4%	10.5%	114
H22年調査	0.6%	34.9%	59.8%	0.3%	0.0%	1.2%	3.2%	341
男	0.0%	21.4%	55.4%	3.6%	0.0%	5.4%	14.3%	56
女	0.0%	27.6%	60.3%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	0.0%	26.2%	59.5%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	42
30代	0.0%	18.5%	70.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	0.0%	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳~	0.0%	26.7%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	15

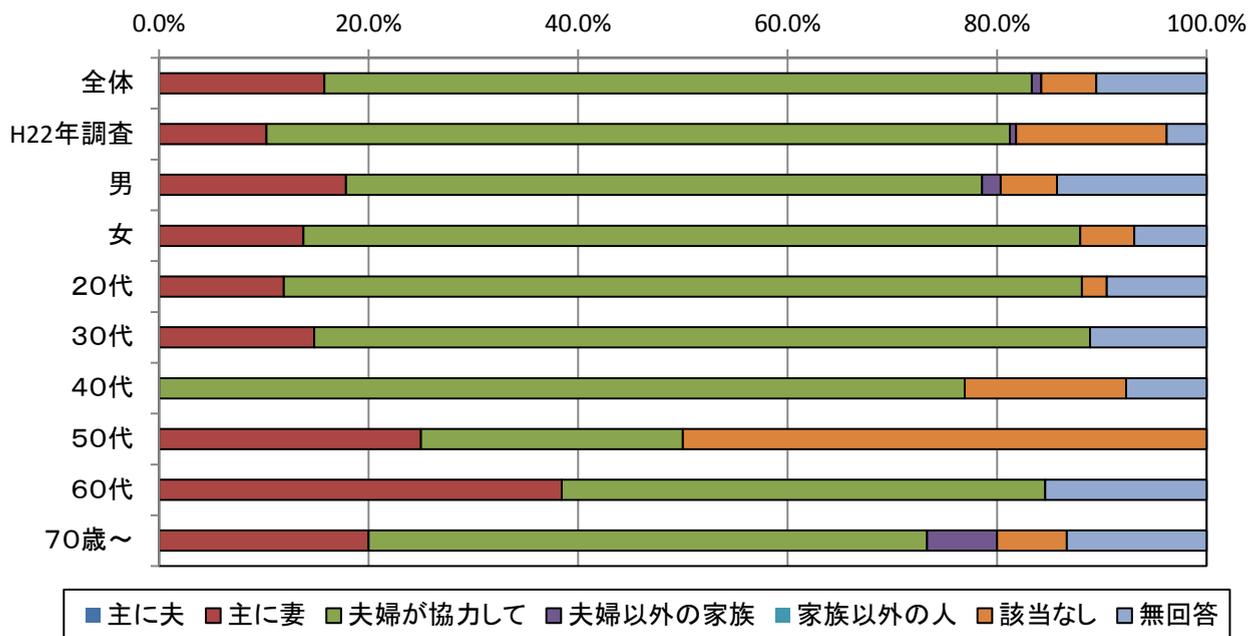
Q12 ⑦育児、子どもの世話

**育児、子どもの世話は「主に妻」15.8%
「夫婦が協力して」67.5%**

全体では、「夫婦が協力して」が67.5%、「主に妻」が15.8%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に妻」の割合は5.5%増加し、「夫婦が協力して」の割合は3.5ポイント減少しています。

男女別では、「主に妻」と「夫婦で協力」の割合に差がみられます。

年代別では、ほとんどの年代で「夫婦が協力して」の割合が最も高くなっています。また、40代では、「主に妻」の回答がありませんでした。「主に夫」は、どの年代でも0%となっています。



	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	0.0%	15.8%	67.5%	0.9%	0.0%	5.3%	10.5%	114
H22年調査	0.0%	10.3%	71.0%	0.6%	0.0%	14.4%	3.8%	341
男	0.0%	17.9%	60.7%	1.8%	0.0%	5.4%	14.3%	56
女	0.0%	13.8%	74.1%	0.0%	0.0%	5.2%	6.9%	58
20代	0.0%	11.9%	76.2%	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	42
30代	0.0%	14.8%	74.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	0.0%	76.9%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	0.0%	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳~	0.0%	20.0%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	15

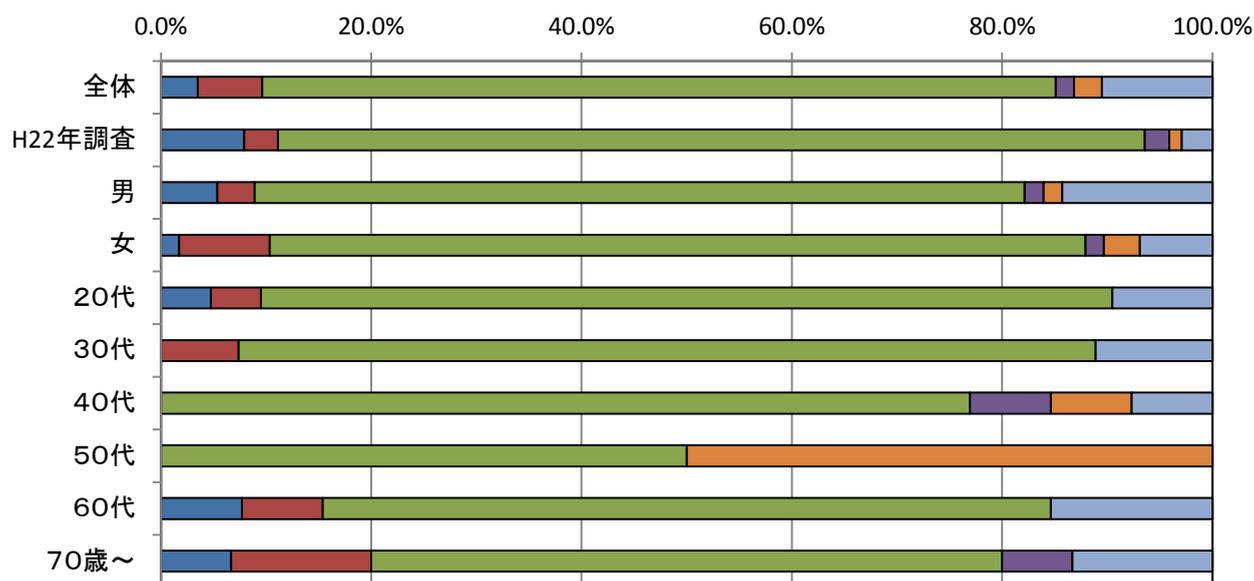
Q12 ⑧近所づきあい

**近所づきあいは「主に夫」3.5%
「夫婦が協力して」75.4%**

全体では、「夫婦が協力して」が75.4%、「主に夫」が3.5%、「主に妻」が6.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は4.4ポイント減少し、「主に妻」の割合は2.9ポイント増加し、「夫婦が協力して」は7ポイント減少しています。

男女別でも、「夫婦が協力して」が最も多くなっています。

年代別では、20代、30代の「夫婦が協力して」の割合が80%を超えています。また、40代、50代では「主に夫」と「主に妻」はどちらも0%となっています。



■主に夫 ■主に妻 ■夫婦が協力して ■夫婦以外の家族 ■家族以外の人 ■該当なし ■無回答

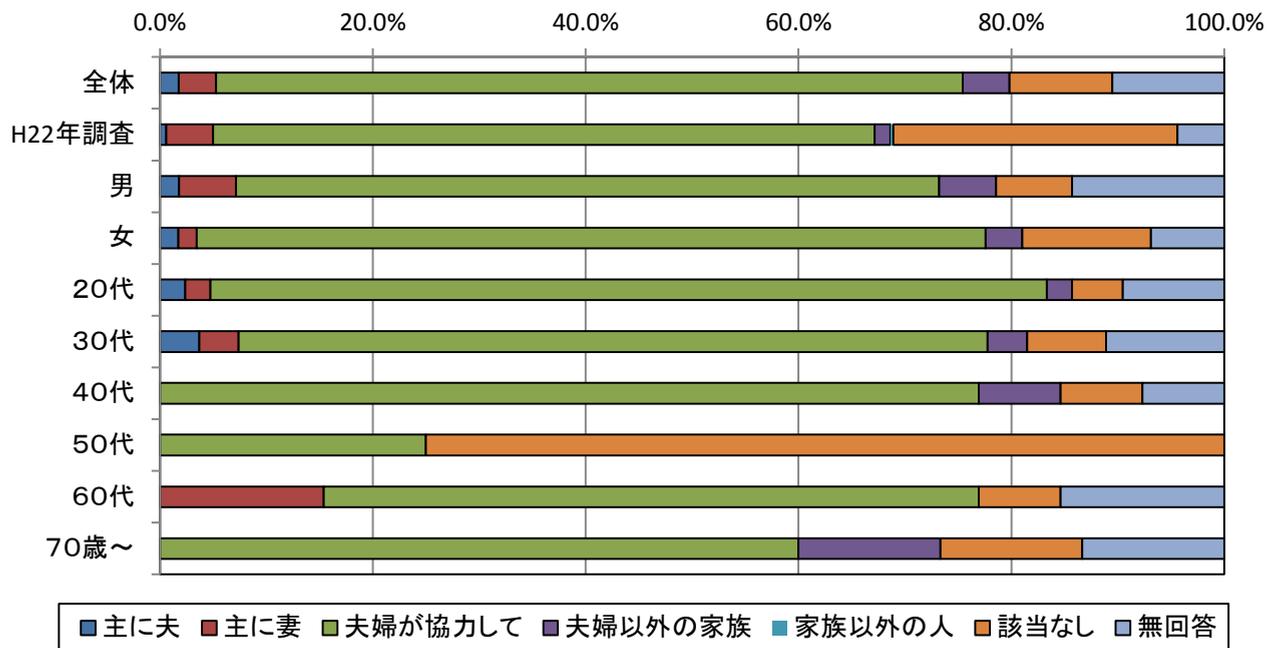
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	3.5%	6.1%	75.4%	1.8%	0.0%	2.6%	10.5%	114
H22年調査	7.9%	3.2%	82.4%	2.3%	0.0%	1.2%	2.9%	341
男	5.4%	3.6%	73.2%	1.8%	0.0%	1.8%	14.3%	56
女	1.7%	8.6%	77.6%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	4.8%	4.8%	81.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	42
30代	0.0%	7.4%	81.5%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	0.0%	76.9%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	7.7%	7.7%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳~	6.7%	13.3%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	15

介護は「夫婦が協力して」70.2% 「主に妻」3.5%

全体では、「夫婦が協力して」70.2%、他は少数意見となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に夫」の割合は1.2ポイント増加し、「主に妻」の割合は0.9ポイント減少し、「夫婦で協力して」は8ポイント増加しています。

男女別でも、「夫婦が協力して」の割合が最も高く、他は少数意見となっています。

年代別では、50代で「該当なし」が75%と高い割合になっています。



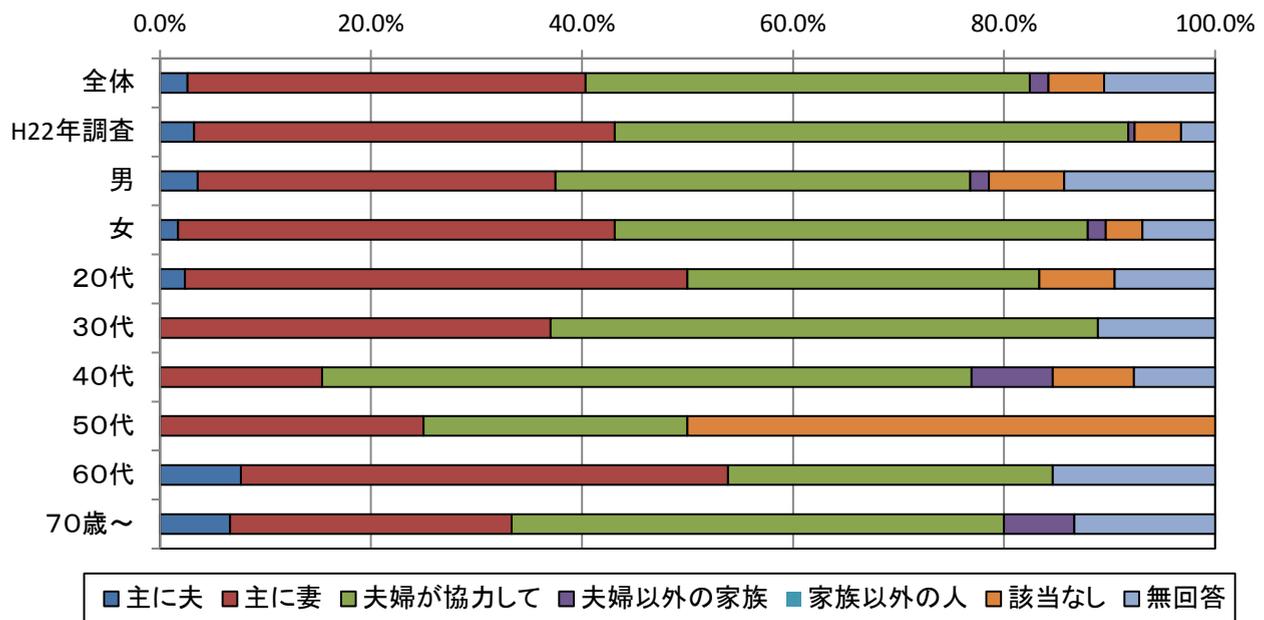
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	1.8%	3.5%	70.2%	4.4%	0.0%	9.6%	10.5%	114
H22年調査	0.6%	4.4%	62.2%	1.5%	0.3%	26.7%	4.4%	341
男	1.8%	5.4%	66.1%	5.4%	0.0%	7.1%	14.3%	56
女	1.7%	1.7%	74.1%	3.4%	0.0%	12.1%	6.9%	58
20代	2.4%	2.4%	78.6%	2.4%	0.0%	4.8%	9.5%	42
30代	3.7%	3.7%	70.4%	3.7%	0.0%	7.4%	11.1%	27
40代	0.0%	0.0%	76.9%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	4
60代	0.0%	15.4%	61.5%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	13
70歳~	0.0%	0.0%	60.0%	13.3%	0.0%	13.3%	13.3%	15

家計簿管理は「主に妻」37.7% 「夫婦が協力して」42.1%

全体では、「主に妻」が37.7%、「夫婦が協力して」が42.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「主に妻」の割合は2.2ポイント減少し、「夫婦が協力して」の割合は6.6ポイント減少しています。

男女別では、男性は、「主に妻」が33.9%となっており、「夫婦が協力して」が39.3%となっています。

年代別では、年代ごとに回答にばらつきがみられます。



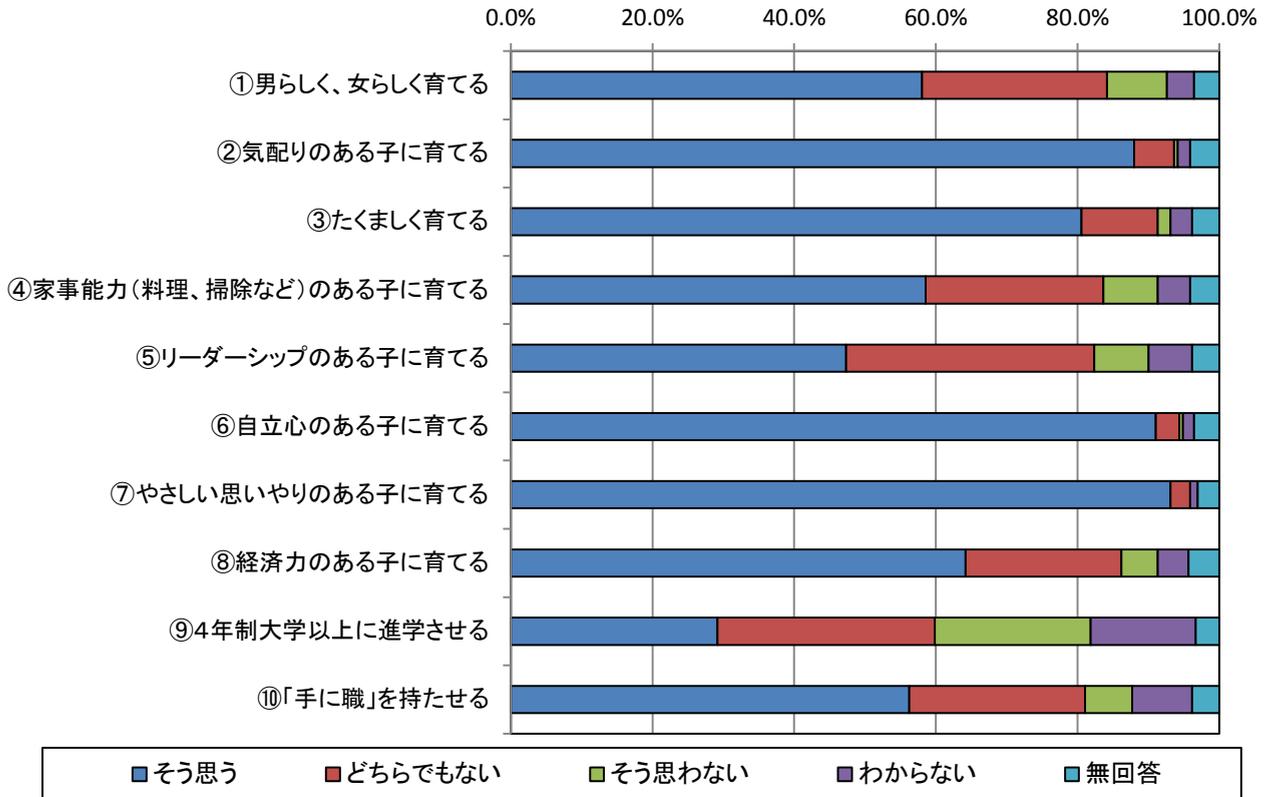
	主に夫	主に妻	夫婦が協力して	夫婦以外の家族	家族以外の人	該当なし	無回答	件数
全体	2.6%	37.7%	42.1%	1.8%	0.0%	5.3%	10.5%	114
H22年調査	3.2%	39.9%	48.7%	0.6%	0.0%	4.4%	3.2%	341
男	3.6%	33.9%	39.3%	1.8%	0.0%	7.1%	14.3%	56
女	1.7%	41.4%	44.8%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	58
20代	2.4%	47.6%	33.3%	0.0%	0.0%	7.1%	9.5%	42
30代	0.0%	37.0%	51.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	27
40代	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	13
50代	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
60代	7.7%	46.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	13
70歳～	6.7%	26.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	15

4. 子育て、子どもの教育について

Q13 あなたは、子どもをどのようにそだてたいと思いますか。子どもがいない方は、子どもがいるとしたらどのように思いますか。男の子の場合と女の子の場合について、①～⑩のあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれの項目で○を1つ）

男の子の場合は「やさしい思いやりのある子」 93.1%
「自立心のある子」 91.0%

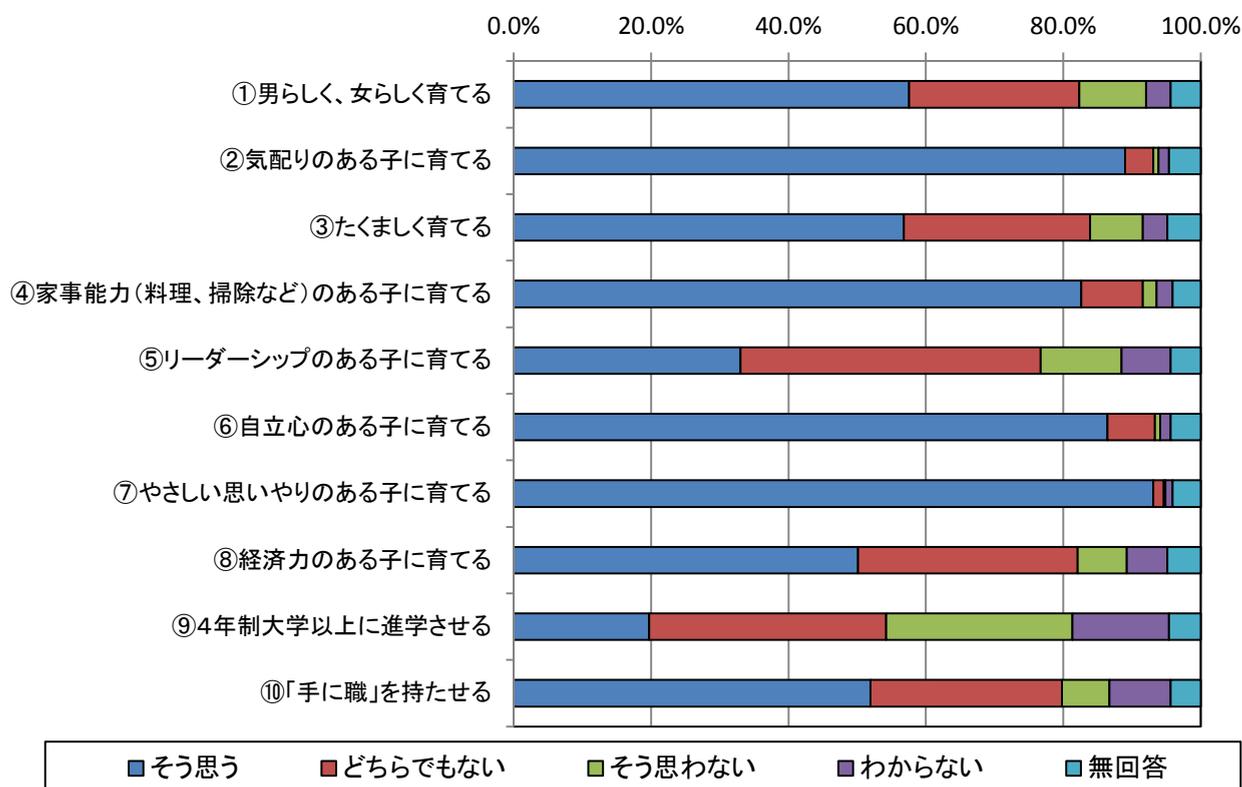
男の子の場合



		そう 思う	いど ちら でも な	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答	件 数
①男らしく、女らしく育てる	全体	58.1%	26.1%	8.4%	3.8%	3.6%	391
②心配りのある子に育てる	全体	88.0%	5.6%	0.5%	1.8%	4.1%	391
③たくましく育てる	全体	80.6%	10.7%	1.8%	3.1%	3.8%	391
④家事能力(料理、掃除など)のある子に育てる	全体	58.6%	25.1%	7.7%	4.6%	4.1%	391
⑤リーダーシップのある子に育てる	全体	47.3%	35.0%	7.7%	6.1%	3.8%	391
⑥自立心のある子に育てる	全体	91.0%	3.3%	0.5%	1.5%	3.6%	391
⑦やさしい思いやりのある子に育てる	全体	93.1%	2.8%	0.0%	1.0%	3.1%	391
⑧経済力のある子に育てる	全体	64.2%	22.0%	5.1%	4.3%	4.3%	391
⑨4年制大学以上に進学させる	全体	29.2%	30.7%	22.0%	14.8%	3.3%	391
⑩「手に職」を持たせる	全体	56.3%	24.8%	6.6%	8.4%	3.8%	391

女の子の場合

女の子の場合は「やさしい思いやりのある子」 **93.1%**
 「気配りのある子」 **89.0%**



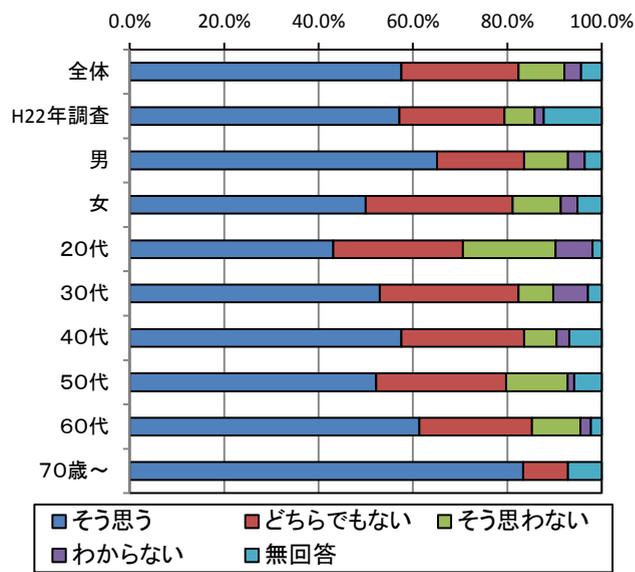
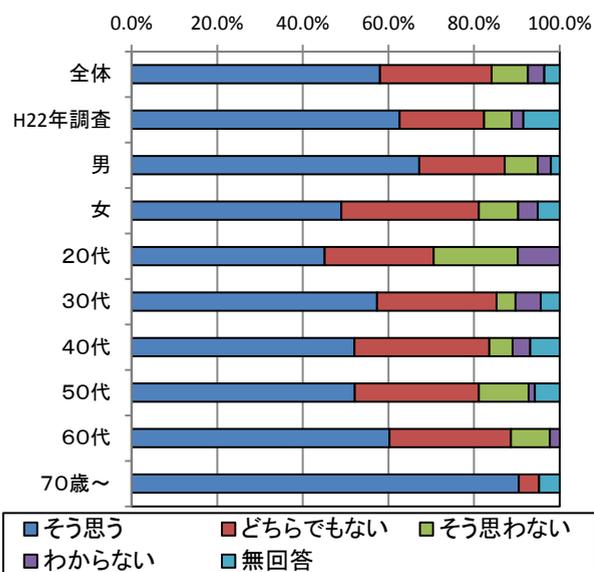
		思う	どちらでもない	思うわない	わからない	無回答	件数
①男らしく、女らしく育てる	全体	57.5%	24.8%	9.7%	3.6%	4.3%	391
②気配りのある子に育てる	全体	89.0%	4.1%	0.8%	1.5%	4.6%	391
③たくましく育てる	全体	56.8%	27.1%	7.7%	3.6%	4.9%	391
④家事能力(料理、掃除など)のある子に育てる	全体	82.6%	9.0%	2.0%	2.3%	4.1%	391
⑤リーダーシップのある子に育てる	全体	33.0%	43.7%	11.8%	7.2%	4.3%	391
⑥自立心のある子に育てる	全体	86.4%	6.9%	0.8%	1.5%	4.3%	391
⑦やさしい思いやりのある子に育てる	全体	93.1%	1.5%	0.3%	1.0%	4.1%	391
⑧経済力のある子に育てる	全体	50.1%	32.0%	7.2%	5.9%	4.9%	391
⑨4年制大学以上に進学させる	全体	19.7%	34.5%	27.1%	14.1%	4.6%	391
⑩「手に職」を持たせる	全体	51.9%	27.9%	6.9%	9.0%	4.3%	391

Q13 ①男らしく、女らしく育てる

全体では、「そう思う」が、「男の子の場合」は58.1%、「女の子の場合」は57.5%となっています。

男女別では、男性が「男の子の場合」「女の子の場合」とともに「そう思う」の割合が高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	58.1%	26.1%	8.4%	3.8%	3.6%	57.5%	24.8%	9.7%	3.6%	4.3%	391
H22年	62.6%	19.7%	6.4%	2.8%	8.5%	57.1%	22.3%	6.4%	1.9%	12.3%	471
男	67.2%	20.0%	7.7%	3.1%	2.1%	65.1%	18.5%	9.2%	3.6%	3.6%	195
女	49.0%	32.1%	9.2%	4.6%	5.1%	50.0%	31.1%	10.2%	3.6%	5.1%	196
20代	45.1%	25.5%	19.6%	9.8%	0.0%	43.1%	27.5%	19.6%	7.8%	2.0%	51
30代	57.4%	27.9%	4.4%	5.9%	4.4%	52.9%	29.4%	7.4%	7.4%	2.9%	68
40代	52.1%	31.5%	5.5%	4.1%	6.8%	57.5%	26.0%	6.8%	2.7%	6.8%	73
50代	52.2%	29.0%	11.6%	1.4%	5.8%	52.2%	27.5%	13.0%	1.4%	5.8%	69
60代	60.2%	28.4%	9.1%	2.3%	0.0%	61.4%	23.9%	10.2%	2.3%	2.3%	88
70歳～	90.5%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	83.3%	9.5%	0.0%	0.0%	7.1%	42

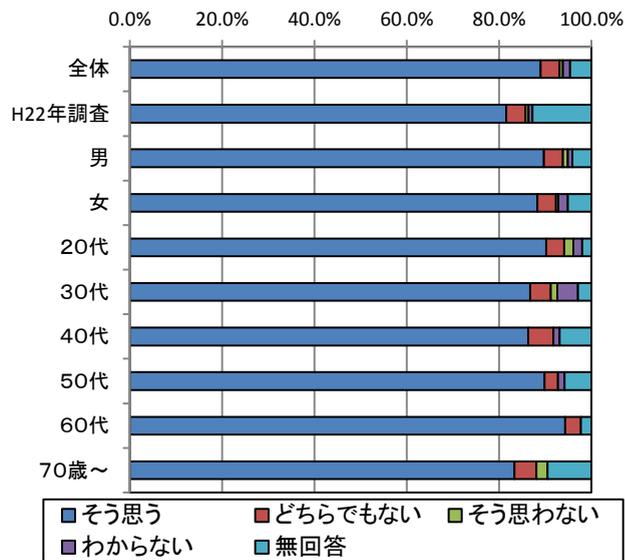
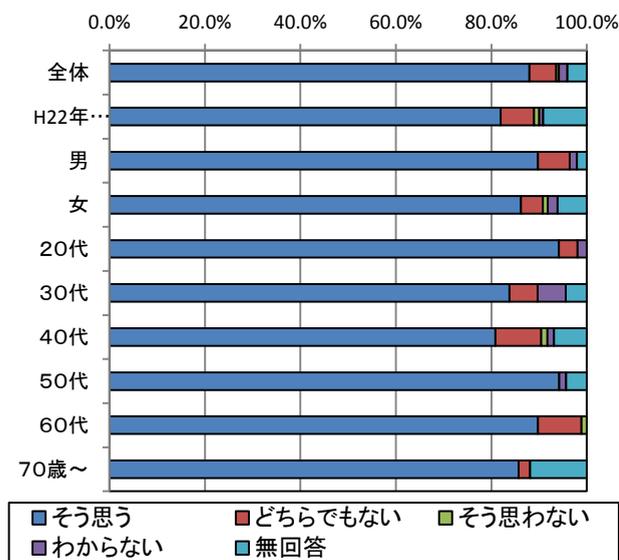


Q13 ②気配りのある子に育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は88.0%、「女の子の場合」は89.0%となっています。

男女別、年代別、「男の子の場合」「女の子の場合」でも、「そう思う」の割合が最も高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	88.0%	5.6%	0.5%	1.8%	4.1%	89.0%	4.1%	0.8%	1.5%	4.6%	391
H22年	82.0%	7.0%	1.1%	0.8%	9.1%	81.5%	4.2%	0.6%	0.8%	12.7%	471
男	89.7%	6.7%	0.0%	1.5%	2.1%	89.7%	4.1%	1.0%	1.0%	4.1%	195
女	86.2%	4.6%	1.0%	2.0%	6.1%	88.3%	4.1%	0.5%	2.0%	5.1%	196
20代	94.1%	3.9%	0.0%	2.0%	0.0%	90.2%	3.9%	2.0%	2.0%	2.0%	51
30代	83.8%	5.9%	0.0%	5.9%	4.4%	86.8%	4.4%	1.5%	4.4%	2.9%	68
40代	80.8%	9.6%	1.4%	1.4%	6.8%	86.3%	5.5%	0.0%	1.4%	6.8%	73
50代	94.2%	0.0%	0.0%	1.4%	4.3%	89.9%	2.9%	0.0%	1.4%	5.8%	69
60代	89.8%	9.1%	1.1%	0.0%	0.0%	94.3%	3.4%	0.0%	0.0%	2.3%	88
70歳～	85.7%	2.4%	0.0%	0.0%	11.9%	83.3%	4.8%	2.4%	0.0%	9.5%	42

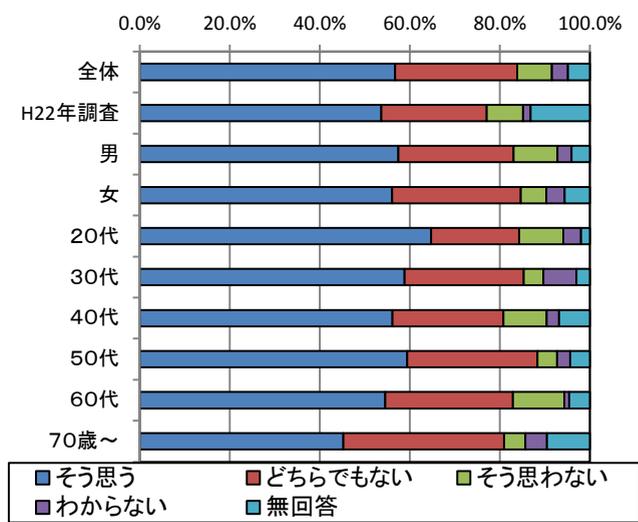
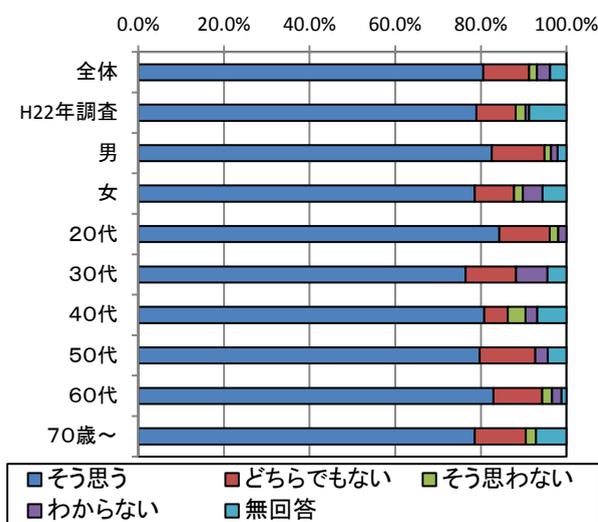


Q13 ③たくましく育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は80.6%、「女の子の場合」は56.8%となっています。

男女別では、男女とも「男の子の場合」に対する「そう思う」の割合の方が「女の子の場合」に対する割合より高くなっています。「女の子の場合」の「どちらでもない」の割合も次いで高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	80.6%	10.7%	1.8%	3.1%	3.8%	56.8%	27.1%	7.7%	3.6%	4.9%	391
H22年	79.0%	9.1%	2.3%	0.8%	8.7%	53.7%	23.4%	8.1%	1.7%	13.2%	471
男	82.6%	12.3%	1.5%	1.5%	2.1%	57.4%	25.6%	9.7%	3.1%	4.1%	195
女	78.6%	9.2%	2.0%	4.6%	5.6%	56.1%	28.6%	5.6%	4.1%	5.6%	196
20代	84.3%	11.8%	2.0%	2.0%	0.0%	64.7%	19.6%	9.8%	3.9%	2.0%	51
30代	76.5%	11.8%	0.0%	7.4%	4.4%	58.8%	26.5%	4.4%	7.4%	2.9%	68
40代	80.8%	5.5%	4.1%	2.7%	6.8%	56.2%	24.7%	9.6%	2.7%	6.8%	73
50代	79.7%	13.0%	0.0%	2.9%	4.3%	59.4%	29.0%	4.3%	2.9%	4.3%	69
60代	83.0%	11.4%	2.3%	2.3%	1.1%	54.5%	28.4%	11.4%	1.1%	4.5%	88
70歳～	78.6%	11.9%	2.4%	0.0%	7.1%	45.2%	35.7%	4.8%	4.8%	9.5%	42

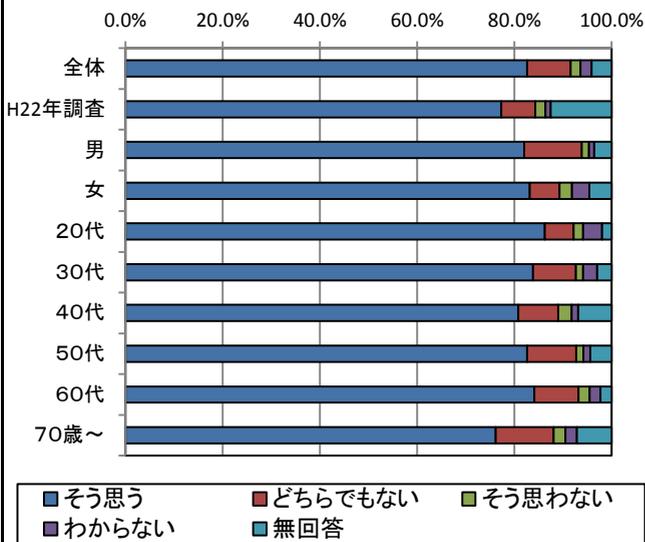
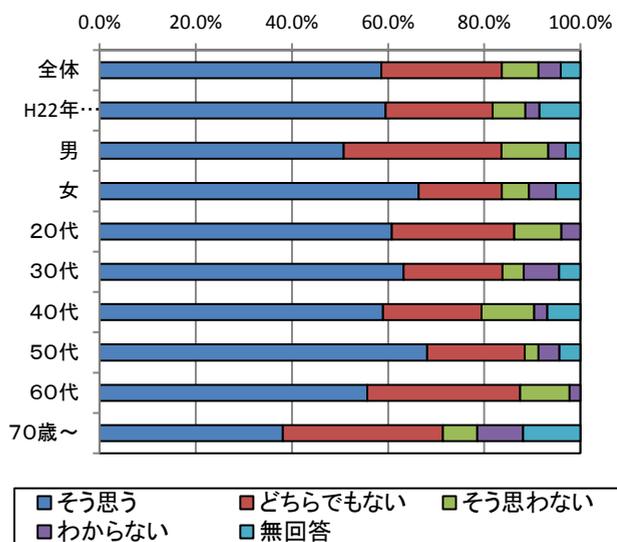


Q13 ④家事能力（料理、掃除など）のある子に育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は58.6%、「女の子の場合」は82.6%となっています。

男女別では、男女とも「女の子の場合」の「そう思う」が「男の子の場合」よりも高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	58.6%	25.1%	7.7%	4.6%	4.1%	82.6%	9.0%	2.0%	2.3%	4.1%	391
H22年	59.4%	22.3%	6.8%	3.0%	8.5%	77.3%	7.0%	2.1%	1.1%	12.5%	471
男	50.8%	32.8%	9.7%	3.6%	3.1%	82.1%	11.8%	1.5%	1.0%	3.6%	195
女	66.3%	17.3%	5.6%	5.6%	5.1%	83.2%	6.1%	2.6%	3.6%	4.6%	196
20代	60.8%	25.5%	9.8%	3.9%	0.0%	86.3%	5.9%	2.0%	3.9%	2.0%	51
30代	63.2%	20.6%	4.4%	7.4%	4.4%	83.8%	8.8%	1.5%	2.9%	2.9%	68
40代	58.9%	20.5%	11.0%	2.7%	6.8%	80.8%	8.2%	2.7%	1.4%	6.8%	73
50代	68.1%	20.3%	2.9%	4.3%	4.3%	82.6%	10.1%	1.4%	1.4%	4.3%	69
60代	55.7%	31.8%	10.2%	2.3%	0.0%	84.1%	9.1%	2.3%	2.3%	2.3%	88
70歳～	38.1%	33.3%	7.1%	9.5%	11.9%	76.2%	11.9%	2.4%	2.4%	7.1%	42

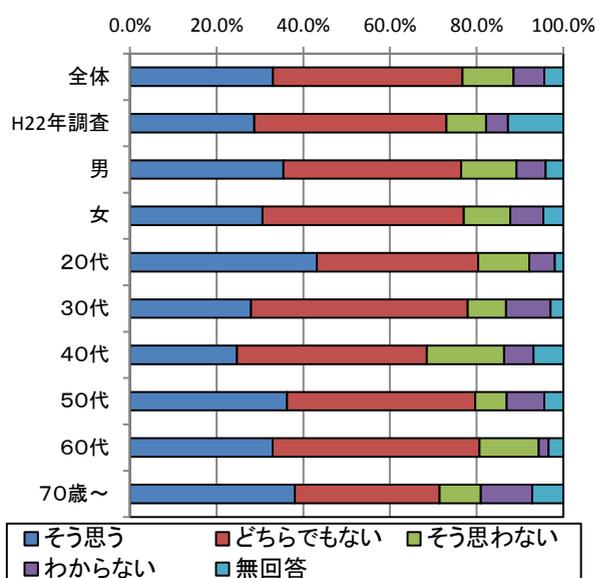
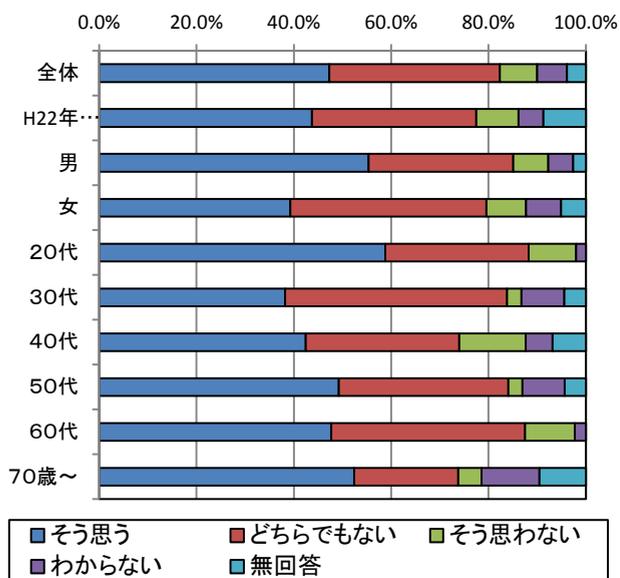


Q13 ⑤リーダーシップのある子に育てる

全体では、「男の子の場合」は「そう思う」が47.3%、「どちらでもない」が35.0%、「女の子の場合」は「そう思う」が33.0%、「どちらでもない」が43.7%となっています。

男女別では、「男の子の場合」に対して男性の「そう思う」の割合が最も高く、「女の子の場合」に対しては男女とも「どちらでもない」の割合も高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	47.3%	35.0%	7.7%	6.1%	3.8%	33.0%	43.7%	11.8%	7.2%	4.3%	391
H22年	43.7%	33.8%	8.7%	5.1%	8.7%	28.7%	44.4%	9.1%	5.1%	12.7%	471
男	55.4%	29.7%	7.2%	5.1%	2.6%	35.4%	41.0%	12.8%	6.7%	4.1%	195
女	39.3%	40.3%	8.2%	7.1%	5.1%	30.6%	46.4%	10.7%	7.7%	4.6%	196
20代	58.8%	29.4%	9.8%	2.0%	0.0%	43.1%	37.3%	11.8%	5.9%	2.0%	51
30代	38.2%	45.6%	2.9%	8.8%	4.4%	27.9%	50.0%	8.8%	10.3%	2.9%	68
40代	42.5%	31.5%	13.7%	5.5%	6.8%	24.7%	43.8%	17.8%	6.8%	6.8%	73
50代	49.3%	34.8%	2.9%	8.7%	4.3%	36.2%	43.5%	7.2%	8.7%	4.3%	69
60代	47.7%	39.8%	10.2%	2.3%	0.0%	33.0%	47.7%	13.6%	2.3%	3.4%	88
70歳～	52.4%	21.4%	4.8%	11.9%	9.5%	38.1%	33.3%	9.5%	11.9%	7.1%	42

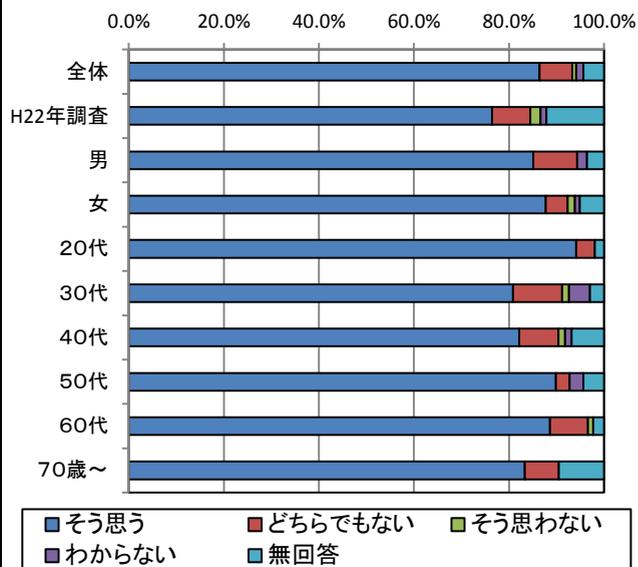
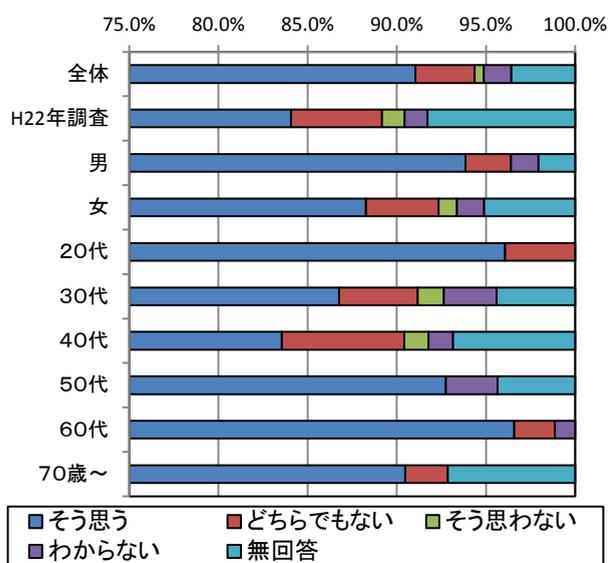


Q13 ◎自立心のある子に育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は91.0%、「女の子の場合」は86.4%となっています。

男女別・年代別・「男の子の場合」でも「女の子の場合」でも「そう思う」の割合が最も高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	91.0%	3.3%	0.5%	1.5%	3.6%	86.4%	6.9%	0.8%	1.5%	4.3%	391
H22年	84.1%	5.1%	1.3%	1.3%	8.3%	76.4%	8.1%	2.1%	1.3%	12.1%	471
男	93.8%	2.6%	0.0%	1.5%	2.1%	85.1%	9.2%	0.0%	2.1%	3.6%	195
女	88.3%	4.1%	1.0%	1.5%	5.1%	87.8%	4.6%	1.5%	1.0%	5.1%	196
20代	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	3.9%	0.0%	0.0%	2.0%	51
30代	86.8%	4.4%	1.5%	2.9%	4.4%	80.9%	10.3%	1.5%	4.4%	2.9%	68
40代	83.6%	6.8%	1.4%	1.4%	6.8%	82.2%	8.2%	1.4%	1.4%	6.8%	73
50代	92.8%	0.0%	0.0%	2.9%	4.3%	89.9%	2.9%	0.0%	2.9%	4.3%	69
60代	96.6%	2.3%	0.0%	1.1%	0.0%	88.6%	8.0%	1.1%	0.0%	2.3%	88
70歳～	90.5%	2.4%	0.0%	0.0%	7.1%	83.3%	7.1%	0.0%	0.0%	9.5%	42

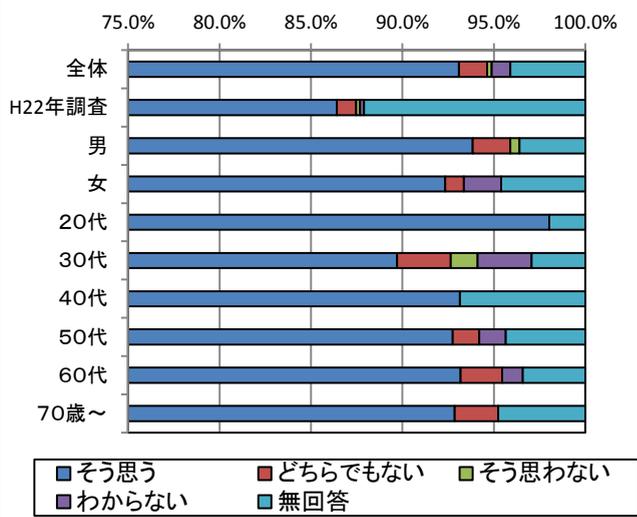
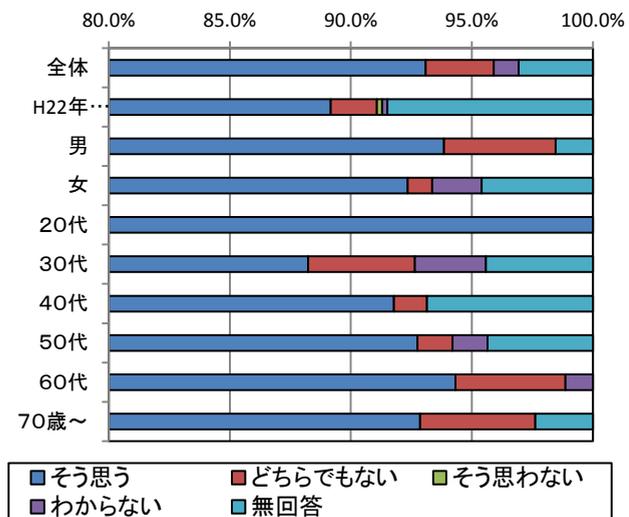


Q13 ⑦やさしい思いやりのある子に育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は93.1%、「女の子の場合」は93.1%となっています。

男女別・年代別・「男の子の場合」・「女の子の場合」でも「そう思う」が最も高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	93.1%	2.8%	0.0%	1.0%	3.1%	93.1%	1.5%	0.3%	1.0%	4.1%	391
H22年	89.2%	1.9%	0.2%	0.2%	8.5%	86.4%	1.1%	0.2%	0.2%	12.1%	471
男	93.8%	4.6%	0.0%	0.0%	1.5%	93.8%	2.1%	0.5%	0.0%	3.6%	195
女	92.3%	1.0%	0.0%	2.0%	4.6%	92.3%	1.0%	0.0%	2.0%	4.6%	196
20代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	51
30代	88.2%	4.4%	0.0%	2.9%	4.4%	89.7%	2.9%	1.5%	2.9%	2.9%	68
40代	91.8%	1.4%	0.0%	0.0%	6.8%	93.2%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	73
50代	92.8%	1.4%	0.0%	1.4%	4.3%	92.8%	1.4%	0.0%	1.4%	4.3%	69
60代	94.3%	4.5%	0.0%	1.1%	0.0%	93.2%	2.3%	0.0%	1.1%	3.4%	88
70歳～	92.9%	4.8%	0.0%	0.0%	2.4%	92.9%	2.4%	0.0%	0.0%	4.8%	42

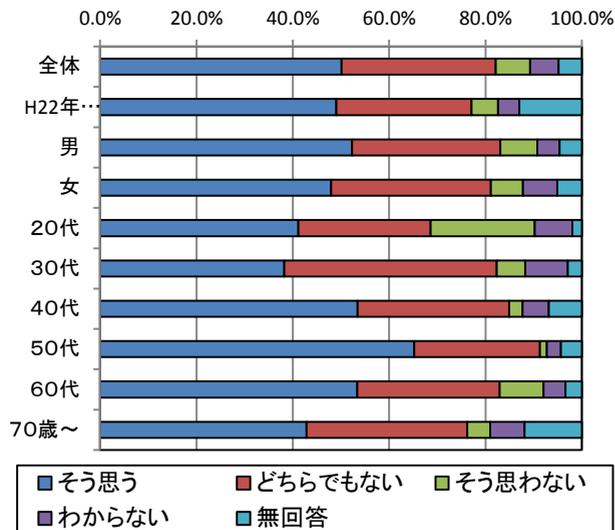
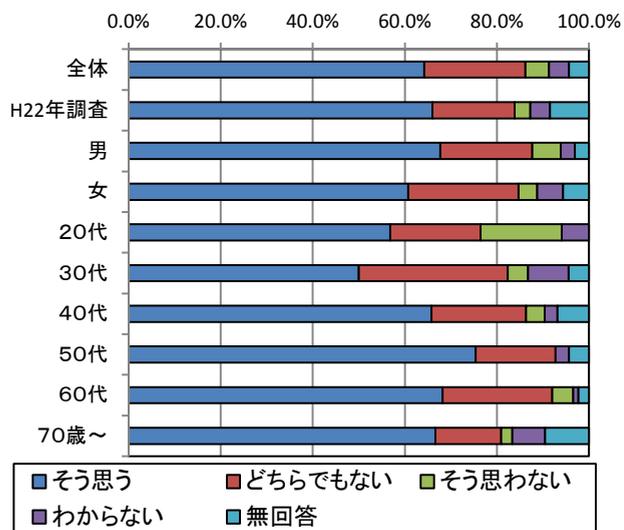


Q13 ⑧経済力のある子に育てる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は64.2%、「女の子の場合」は50.1%となっています。

男女別では、「そう思う」の割合が最も高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	64.2%	22.0%	5.1%	4.3%	4.3%	50.1%	32.0%	7.2%	5.9%	4.9%	391
H22年	66.0%	17.8%	3.4%	4.2%	8.5%	49.0%	28.0%	5.5%	4.5%	13.0%	471
男	67.7%	20.0%	6.2%	3.1%	3.1%	52.3%	30.8%	7.7%	4.6%	4.6%	195
女	60.7%	24.0%	4.1%	5.6%	5.6%	48.0%	33.2%	6.6%	7.1%	5.1%	196
20代	56.9%	19.6%	17.6%	5.9%	0.0%	41.2%	27.5%	21.6%	7.8%	2.0%	51
30代	50.0%	32.4%	4.4%	8.8%	4.4%	38.2%	44.1%	5.9%	8.8%	2.9%	68
40代	65.8%	20.5%	4.1%	2.7%	6.8%	53.4%	31.5%	2.7%	5.5%	6.8%	73
50代	75.4%	17.4%	0.0%	2.9%	4.3%	65.2%	26.1%	1.4%	2.9%	4.3%	69
60代	68.2%	23.9%	4.5%	1.1%	2.3%	53.4%	29.5%	9.1%	4.5%	3.4%	88
70歳～	66.7%	14.3%	2.4%	7.1%	9.5%	42.9%	33.3%	4.8%	7.1%	11.9%	42

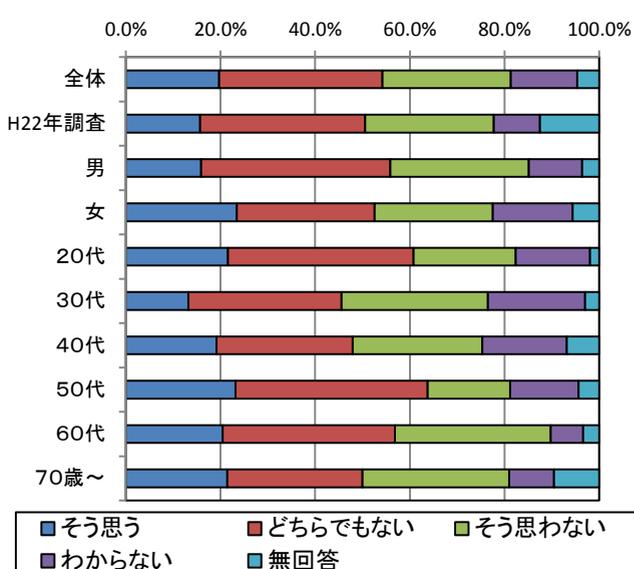
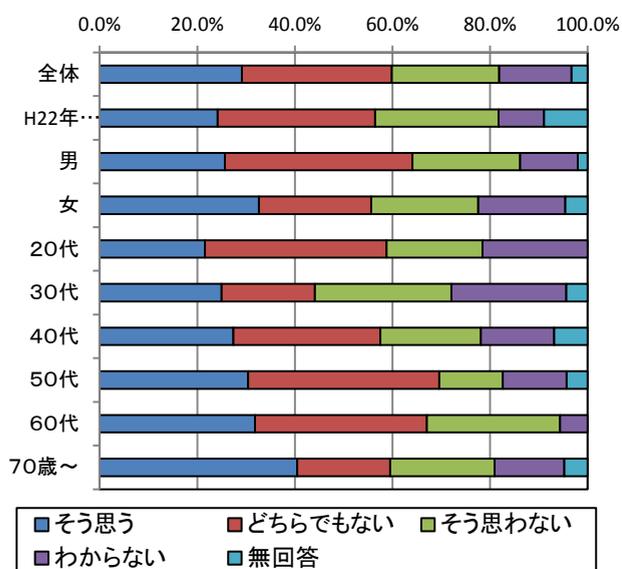


Q13 ㊸4年制大学以上に進学させる

全体では、「どちらでもない」が、「男の子の場合」は30.7%、「女の子の場合」は34.5%と最も高くなっています。

男女別では、男性は「どちらでもない」の割合が最も高くなっていますが、女性は「男の子の場合」は「そう思う」の回答の割合の方が高くなっています。

	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらでもない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	29.2%	30.7%	22.0%	14.8%	3.3%	19.7%	34.5%	27.1%	14.1%	4.6%	391
H22年	24.2%	32.3%	25.3%	9.3%	8.9%	15.7%	34.8%	27.2%	9.8%	12.5%	471
男	25.6%	38.5%	22.1%	11.8%	2.1%	15.9%	40.0%	29.2%	11.3%	3.6%	195
女	32.7%	23.0%	21.9%	17.9%	4.6%	23.5%	29.1%	25.0%	16.8%	5.6%	196
20代	21.6%	37.3%	19.6%	21.6%	0.0%	21.6%	39.2%	21.6%	15.7%	2.0%	51
30代	25.0%	19.1%	27.9%	23.5%	4.4%	13.2%	32.4%	30.9%	20.6%	2.9%	68
40代	27.4%	30.1%	20.5%	15.1%	6.8%	19.2%	28.8%	27.4%	17.8%	6.8%	73
50代	30.4%	39.1%	13.0%	13.0%	4.3%	23.2%	40.6%	17.4%	14.5%	4.3%	69
60代	31.8%	35.2%	27.3%	5.7%	0.0%	20.5%	36.4%	33.0%	6.8%	3.4%	88
70歳～	40.5%	19.0%	21.4%	14.3%	4.8%	21.4%	28.6%	31.0%	9.5%	9.5%	42



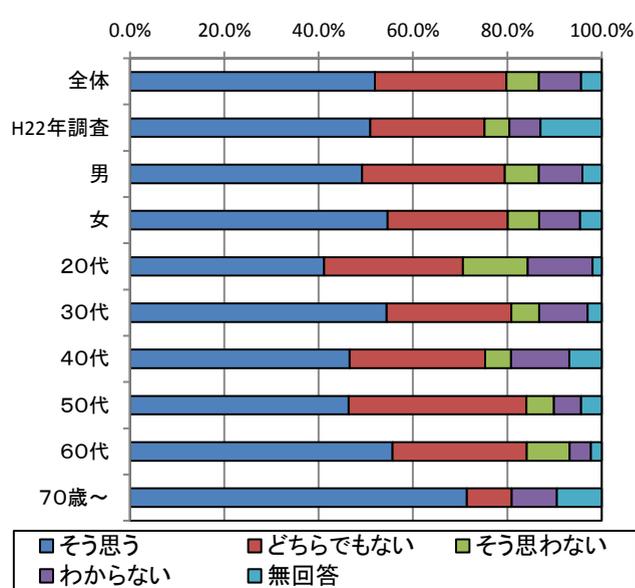
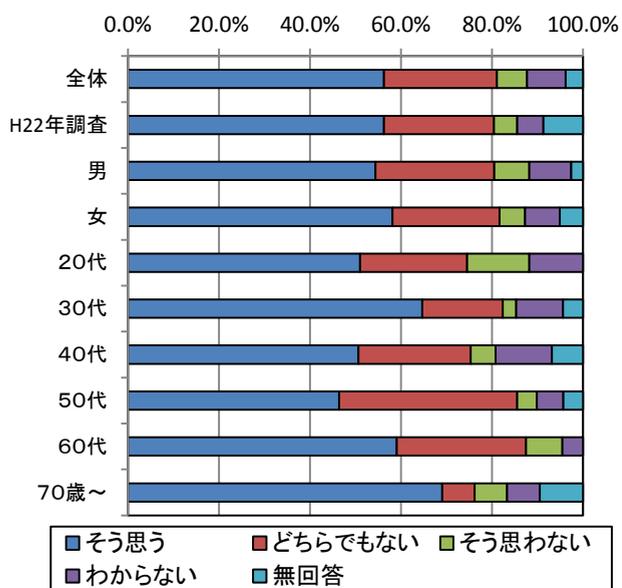
Q13

⑩「手に職」を持たせる

全体では、「そう思う」が「男の子の場合」は56.3%、「女の子の場合」は51.9%となっています。

男女別でも、「男の子の場合」と「女の子の場合」のどちらも「そう思う」の回答の割合が高くなっています。

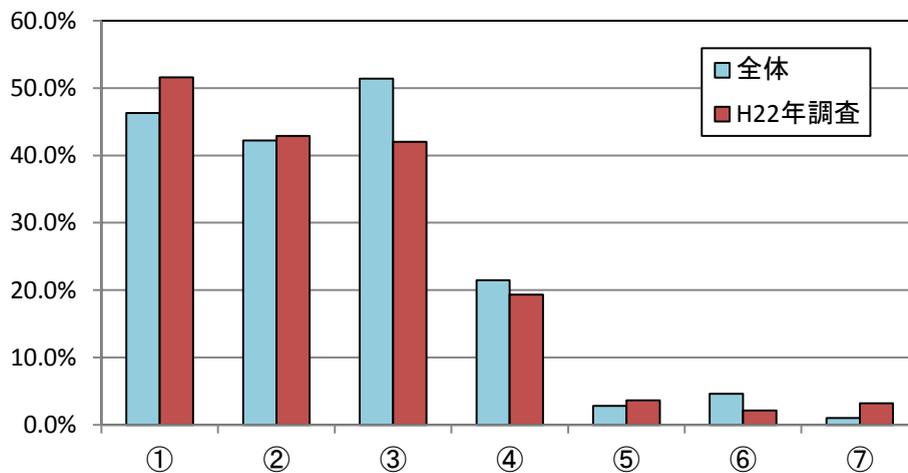
	男の子の場合					女の子の場合					件数
	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	いどちらでもな	そう思わない	わからない	無回答	
全体	56.3%	24.8%	6.6%	8.4%	3.8%	51.9%	27.9%	6.9%	9.0%	4.3%	391
H22年	56.3%	24.2%	5.1%	5.7%	8.7%	51.0%	24.2%	5.3%	6.6%	13.0%	471
男	54.4%	26.2%	7.7%	9.2%	2.6%	49.2%	30.3%	7.2%	9.2%	4.1%	195
女	58.2%	23.5%	5.6%	7.7%	5.1%	54.6%	25.5%	6.6%	8.7%	4.6%	196
20代	51.0%	23.5%	13.7%	11.8%	0.0%	41.2%	29.4%	13.7%	13.7%	2.0%	51
30代	64.7%	17.6%	2.9%	10.3%	4.4%	54.4%	26.5%	5.9%	10.3%	2.9%	68
40代	50.7%	24.7%	5.5%	12.3%	6.8%	46.6%	28.8%	5.5%	12.3%	6.8%	73
50代	46.4%	39.1%	4.3%	5.8%	4.3%	46.4%	37.7%	5.8%	5.8%	4.3%	69
60代	59.1%	28.4%	8.0%	4.5%	0.0%	55.7%	28.4%	9.1%	4.5%	2.3%	88
70歳～	69.0%	7.1%	7.1%	7.1%	9.5%	71.4%	9.5%	0.0%	9.5%	9.5%	42



Q14 男女平等の意識を育てるために、学校教育ではどのようなことに力をいれるべきだと思いますか。（〇は2つまで）

男女平等の意識を育てるために、学校教育では「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」51.4%

全体では、「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」が51.4%、「生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する」が46.3%、「異性を思いやる気持ちの大切さを教える心の教育を充実させる」が42.2%、「性に対する正しい知識や性の尊厳についての学習を推進する」が21.5%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」の割合が9.4ポイント増加し、「生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるように配慮する」の割合が5.3ポイント減少し、「異性を思いやる気持ちの大切さを教える心の教育を充実させる」の割合が0.7ポイント減少し、「性に対する正しい知識や性の尊厳についての学習を推進」の割合が2.2ポイント増加しています。男女別では、「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間をもうける」で、男性と女性の回答に10%以上の差がみられます。



	① 生活指導や進路指導に別なく配慮する	② 異性を思いやる心の教育を充実させる	③ 男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける	④ 性に対する正しい知識や性の尊厳についての学習を推進する	⑤ その他	⑥ わからない	⑦ 無回答	件数
全体	46.3%	42.2%	51.4%	21.5%	2.8%	4.6%	1.0%	391
H22年調査	51.6%	42.9%	42.0%	19.3%	3.6%	2.1%	3.2%	471
男	43.1%	44.6%	44.6%	27.2%	3.1%	5.6%	0.0%	195
女	49.5%	39.8%	58.2%	15.8%	2.6%	3.6%	2.0%	196
20代	49.0%	41.2%	54.9%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	51
30代	39.7%	42.6%	52.9%	20.6%	2.9%	7.4%	1.5%	68
40代	38.4%	35.6%	53.4%	20.5%	1.4%	8.2%	0.0%	73
50代	40.6%	46.4%	47.8%	29.0%	1.4%	4.3%	1.4%	69
60代	53.4%	40.9%	47.7%	22.7%	4.5%	3.4%	1.1%	88
70歳～	61.9%	50.0%	14.3%	0.0%	2.4%	2.4%	2.4%	42

5. 働くことについて

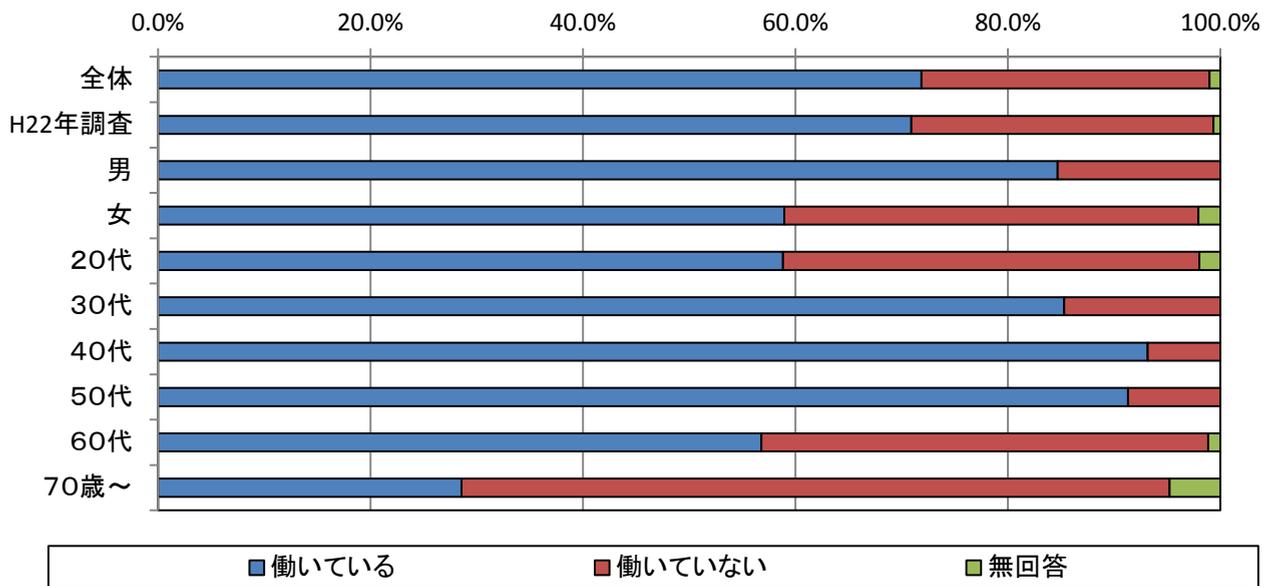
Q15 あなたは現在、働いていますか。（学生のアルバイトは除いてください）
（1つに○）

「働いている人」は71.9%

全体では、「働いている」が71.9%、「働いていない」が27.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「働いている」の割合は1.0ポイント増加し、「働いていない」の割合は1.4ポイント減少しています。

男女別では、男性の方が高くなっています。

年代別では、60代までは「働いている」の割合が高くなっており、特に、40代、50代で「働いている」の割合が高くなっています。



	働いている	働いていない	無回答	件数
全体	71.9%	27.1%	1.0%	391
H22年調査	70.9%	28.5%	0.6%	471
男	84.7%	15.3%	0.0%	196
女	59.0%	39.0%	2.1%	195
20代	58.8%	39.2%	2.0%	51
30代	85.3%	14.7%	0.0%	68
40代	93.2%	6.8%	0.0%	73
50代	91.3%	8.7%	0.0%	69
60代	56.8%	42.0%	1.1%	88
70歳~	28.6%	66.7%	4.8%	42

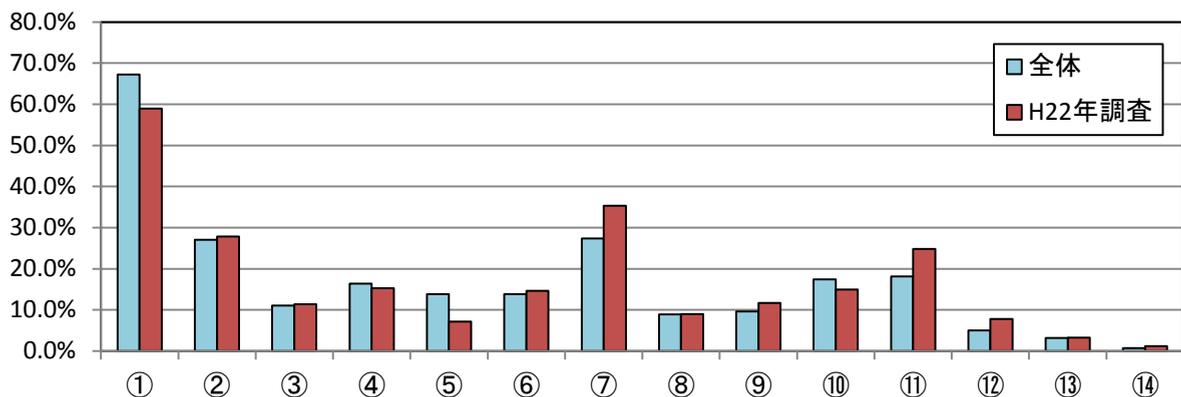
Q16 「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたが現在働いている理由をお聞かせください。（〇は3つまで）

**働いている理由は、「生計を維持するため」男性は 79.5%
女性 49.6%**

全体では、「生計を維持するため」が67.3%、「働くのが当然だから」27.4%、「家計の足しにするため」が27.0%、「自分で自由に使えるお金を得る」が18.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「生計を維持するため」の割合は8.3ポイント増加し、「働くのが当然だから」の割合は7.9ポイント減少し、「家計の足しにするため」の割合は0.8ポイント減少し、「自分で自由に使えるお金を得るため」の割合は6.8ポイント減少しています。

男女別では、男性は「生計を維持するため」の割合が最も高くなっていますが、女性はばらつきがみられます。

年代別では、20代で「働くのが当然だから」46.7%と、どの年代よりも高くなっています。30代、40代、50代、60代は「生計を維持するため」の割合が最も高くなっています。



	持① す生 る計 たを め維	めし② に家 す計 るの た足	か自③ ら立 経個 し済人 た的 いにし	す資④ た格、 めを技 い能の か、能	献⑤ す社 る会 たに め貢	きる⑥ だこ 仕 かと 事が 好す	当⑦ 然働 だく かの らが
全体	67.3%	27.0%	11.0%	16.4%	13.9%	13.9%	27.4%
H22年	59.0%	27.8%	11.4%	15.3%	7.2%	14.7%	35.3%
男	79.5%	12.0%	10.8%	18.1%	21.1%	9.6%	34.3%
女	49.6%	48.7%	11.3%	13.9%	3.5%	20.0%	17.4%
20代	56.7%	16.7%	46.7%	16.7%	10.0%	0.0%	46.7%
30代	81.0%	24.1%	15.5%	12.1%	17.2%	12.1%	27.6%
40代	69.1%	29.4%	5.9%	14.7%	10.3%	10.3%	23.5%
50代	73.0%	27.0%	6.3%	25.4%	19.0%	14.3%	25.4%
60代	54.0%	34.0%	0.0%	14.0%	14.0%	28.0%	26.0%
70歳～	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	16.7%

	か余⑧ ら裕 時 が間 あ るに	る⑨ か家 ら業 であ	め⑩ のン 返な 住 済ど の借 た金	た⑪ お由 金に 自 を使 分 得え る自	を⑫ 得教 る育 た資 め金	⑬ そ の 他	い⑭ わ か ら な	件 数
全体	8.9%	9.6%	17.4%	18.1%	5.0%	3.2%	0.7%	281
H22年	9.0%	11.7%	15.0%	24.9%	7.8%	3.3%	1.2%	334
男	4.2%	10.8%	17.5%	15.1%	4.8%	2.4%	0.0%	166
女	15.7%	7.8%	17.4%	22.6%	5.2%	4.3%	1.7%	115
20代	0.0%	3.3%	16.7%	36.7%	3.3%	6.7%	0.0%	30
30代	5.2%	1.7%	19.0%	19.0%	6.9%	1.7%	1.7%	58
40代	7.4%	4.4%	25.0%	13.2%	13.2%	4.4%	0.0%	68
50代	12.7%	1.6%	17.5%	15.9%	0.0%	1.6%	1.6%	63
60代	16.0%	28.0%	10.0%	16.0%	0.0%	2.0%	0.0%	50
70歳～	8.3%	58.3%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	12

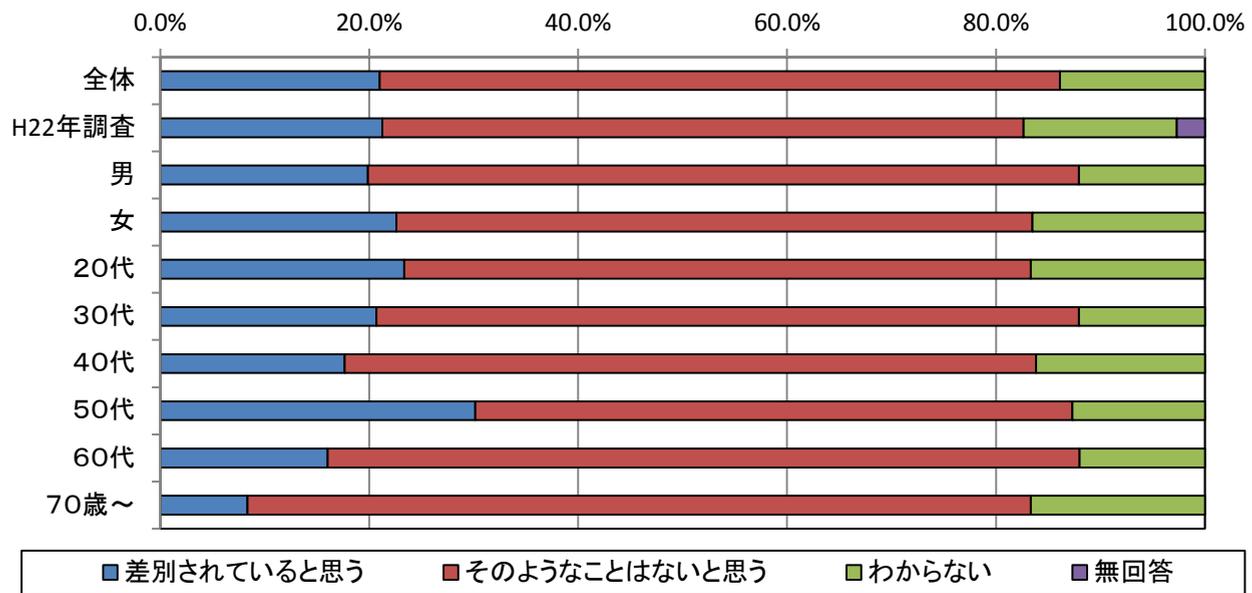
Q17 「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ差別されていると思いますか。（1つに○）

**働いている人の65.1%が「差別されているようなことはない」
21.0%が「差別されていると思う」**

全体では、「差別されていると思う」が21.0%、「そのようなことはないと思うが」65.1%、「わからない」が13.9%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「差別されていると思う」の割合は0.3ポイント減少しています。

男女別では、「そのようなことはないと思う」「差別されていると思う」「わからない」の順になっています。

年代別では、「そのようなことはないと思う」の割合がどの年代も最も高くなっています。



	差別されている と思う	そのようなこと はないと思う	わからない	無回答	件数
全体	21.0%	65.1%	13.9%	0.0%	281
H22年	21.3%	61.4%	14.7%	2.7%	334
男	19.9%	68.1%	12.0%	0.0%	166
女	22.6%	60.9%	16.5%	0.0%	115
20代	23.3%	60.0%	16.7%	0.0%	30
30代	20.7%	67.2%	12.1%	0.0%	58
40代	17.6%	66.2%	16.2%	0.0%	68
50代	30.2%	57.1%	12.7%	0.0%	63
60代	16.0%	72.0%	12.0%	0.0%	50
70歳~	8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	12

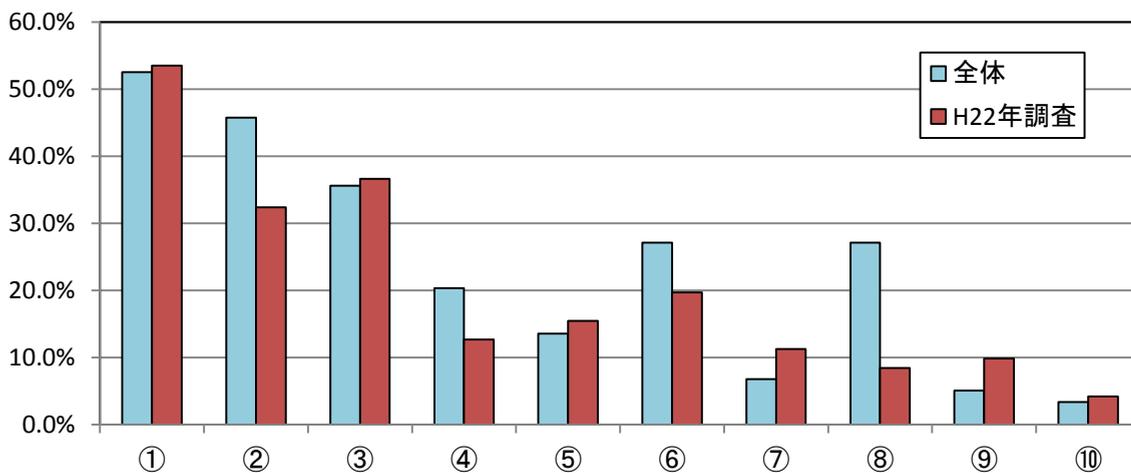
Q18 「差別されていると思う」とお答えされた方にお聞きします。
差別されているのは具体的にどのようなことですか。（〇は3つまで）

差別されていると思うことは「賃金」「昇進、昇格」「能力の評価」

全体では、「賃金に差別がある」が52.5%、「昇進、昇格に差別がある」が45.8%、「能力が正当に評価されない」が35.6%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「賃金に差別がある」の割合は1.0ポイント減少し、「昇進、昇格に格差がある」の割合は13.4ポイント増加し、「能力が正当に評価されない」の割合は1.0ポイント減少しています。

男女別では、男性は「賃金に差別がある」「昇進、昇格に差別がある」の割合が高く、女性は「賃金に差別がある」「能力が正当に評価されない」の割合が高くなっています。

年代別では、50代、60代で「賃金に差別がある」の割合が最も高くなっています。30代では、「結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある」の割合が半数以上を占めています。



	①賃金に差別がある	②昇進、昇格に差別がある	③能力が正当に評価されない	④補助的な仕事しかやらせてもらえない	⑤女性を幹部職員に登用しない	⑥結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある	⑦女性には定年まで勤め続けるには大変	⑧研修や訓練を受ける機会が少ない	⑨その他	⑩わからない	件数
全体	52.5%	45.8%	35.6%	20.3%	13.6%	27.1%	6.8%	27.1%	5.1%	3.4%	59
H22年	53.5%	32.4%	36.6%	12.7%	15.5%	19.7%	11.3%	8.5%	9.9%	4.2%	71
男	51.5%	45.5%	21.2%	30.3%	21.2%	24.2%	6.1%	36.4%	3.0%	6.1%	33
女	53.8%	46.2%	53.8%	7.7%	3.8%	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	26
20代	14.3%	57.1%	57.1%	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	7
30代	33.3%	50.0%	16.7%	8.3%	25.0%	58.3%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	12
40代	33.3%	50.0%	41.7%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	12
50代	73.7%	36.8%	31.6%	21.1%	0.0%	21.1%	0.0%	36.8%	5.3%	0.0%	19
60代	87.5%	50.0%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	8
70歳～	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1

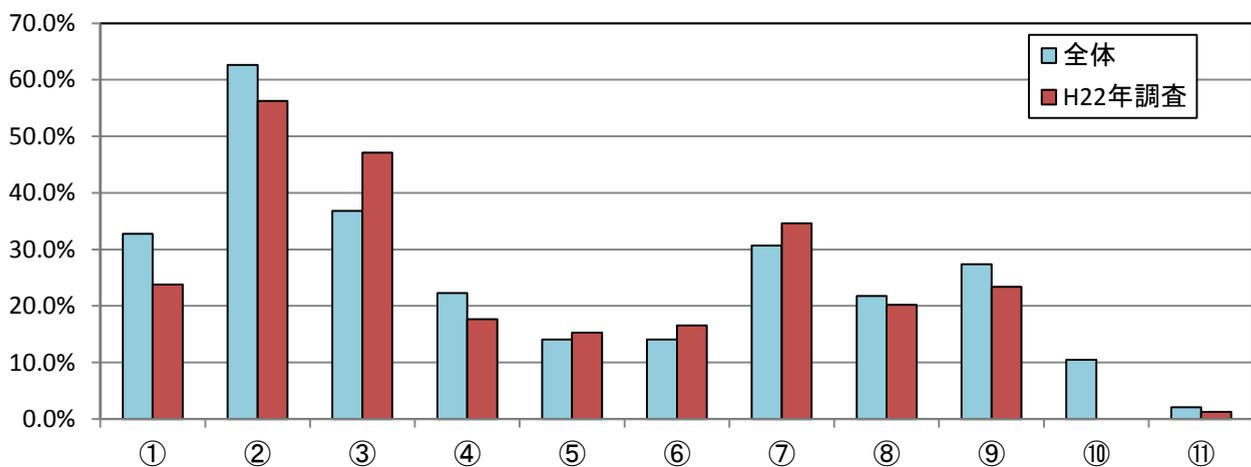
Q19 女性が安心して働ける環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

**女性が安心して働ける環境をつくるためには、
「職場が理解し協力する」「夫や家族が理解し協力する」
「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」ことが必要**

全体では、「仕事と家庭の両立に職場が理解し協力する」が62.7%、「夫や家族が理解し協力する」が36.8%、「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」が32.7%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「仕事と家庭の両立に職場が理解し協力する」の割合は6.4ポイント増加し、「夫や家族が理解し協力する」の割合は10.3%減少し、「給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する」の割合は8.9ポイント増加しています。

男女別でも、男女とも同様な結果となっています。「夫の育児、介護休業を取りやすくする」では、男性の割合が若干高くなっています。

年代別では、割合にばらつきがられます。20代、30代では、「産前・産後・生理休暇等を取りやすくする」の割合が他の年代よりも高くなっています。対して、40代、50代、60代、70歳以上では「介護・看護に対する支援や施設、サービスを充実させる」の割合が増えています。



	① 昇進や給料などの男女差を解消する	② 職場と家庭の両立	③ 夫や家族が理解し協力する	④ 育児・介護休業制度を定着させる	⑤ 夫の育児・介護休業を取りやすくする	⑥ 産前・産後・生理休暇等を取りやすくする	⑦ 育児・保育に対する支援や施設を充実させる	⑧ 介護・看護に対する支援や施設を充実させる	⑨ 結婚・出産・育児のため、雇用・退職・転職を柔軟にする	⑩ 採用時における男女差別をなくする	⑪ その他
全体	32.7%	62.7%	36.8%	22.3%	14.1%	14.1%	30.7%	21.7%	27.4%	10.5%	2.0%
H22年	23.8%	56.3%	47.1%	17.6%	15.3%	16.6%	34.6%	20.2%	23.4%	0.0%	1.3%
男	35.4%	58.5%	35.4%	22.6%	17.9%	13.3%	30.8%	20.0%	29.7%	8.2%	2.1%
女	30.1%	66.8%	38.3%	21.9%	10.2%	14.8%	30.6%	23.5%	25.0%	12.8%	2.0%
20代	43.1%	66.7%	23.5%	25.5%	9.8%	35.3%	23.5%	7.8%	35.3%	9.8%	0.0%
30代	30.9%	60.3%	33.8%	20.6%	25.0%	22.1%	39.7%	11.8%	25.0%	4.4%	4.4%
40代	24.7%	60.3%	37.0%	23.3%	23.3%	8.2%	35.6%	27.4%	26.0%	9.6%	2.7%
50代	30.4%	65.2%	40.6%	20.3%	8.7%	10.1%	27.5%	20.3%	27.5%	13.0%	1.4%
60代	40.9%	58.0%	47.7%	18.2%	8.0%	5.7%	31.8%	25.0%	31.8%	9.1%	2.3%
70歳～	23.8%	71.4%	28.6%	31.0%	7.1%	9.5%	19.0%	40.5%	14.3%	21.4%	0.0%

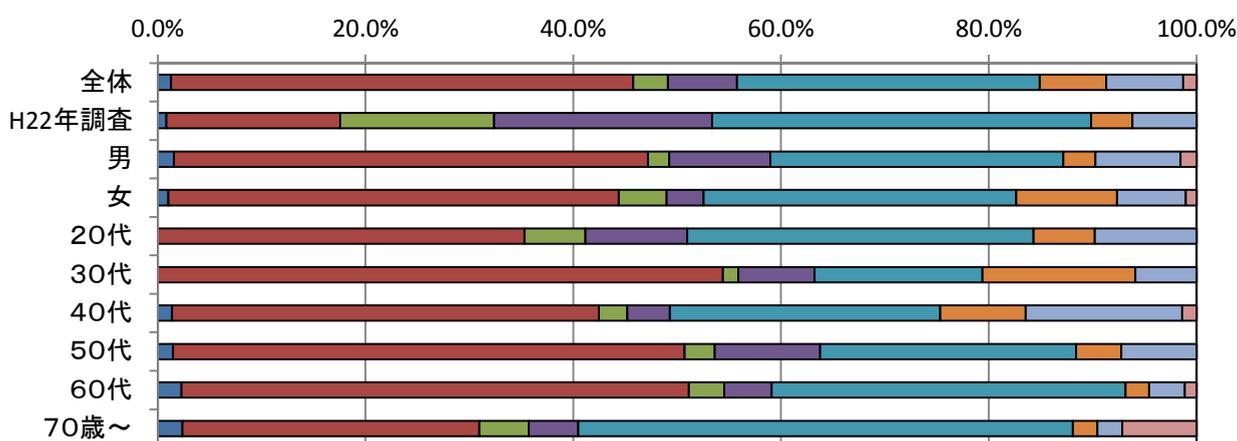
Q20 一般的に女性が仕事を持つことについて、あなたはどのように思いますか。
(〇は1つだけ)

「女性も仕事を持ち続けるほうがよい」44.5%
「子どもができたなら退職し、大きくなったら再び就職するほうがよい」29.2%

全体では、「女性も仕事を持ち続けるほうがよい」が44.5%、「子どもができたなら退職し、大きくなったら再び就職するほうがよい」29.2%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「女性も仕事を持ち続けるほうがよい」の割合は29.7%増加し、「子どもができたなら退職し、大きくなったら再び就職するほうがよい」7.3ポイント減少しています。

男女別でも、全体と同じような割合になっています。

年代別では、70歳以上の「子どもができたなら退職し、大きくなったら再び就職するほうがよい」が最も高い割合になっています。



- 1. 女性は仕事をもたない方がよい
- 2. 女性も仕事を持ち続けるほうがよい
- 3. 結婚するまでは仕事を持つ方がよい
- 4. 子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい
- 5. 子どもができたなら退職し、大きくなったら再び就職するほうがよい
- 6. その他
- 7. わからない
- 8. 無回答

	① 女性 が よ い は し ま も た な い	② け る 女 性 も が し ま を も ち 続 け る	③ を 結 婚 す ま い は し ま を も つ	④ よ い 、 子 ど も が し ま を も つ ま で	⑤ 再 職 し 子 ど も が し ま を も つ ま で	⑥ そ の 他	⑦ わ か ら な い	⑧ 無 回 答	件 数
全体	1.3%	44.5%	3.3%	6.6%	29.2%	6.4%	7.4%	1.3%	391
H22年	0.8%	16.7%	14.8%	21.0%	36.5%	4.0%	6.2%	0.0%	471
男	1.5%	45.6%	2.1%	9.7%	28.2%	3.1%	8.2%	1.5%	195
女	1.0%	43.4%	4.6%	3.6%	30.1%	9.7%	6.6%	1.0%	196
20代	0.0%	35.3%	5.9%	9.8%	33.3%	5.9%	9.8%	0.0%	51
30代	0.0%	54.4%	1.5%	7.4%	16.2%	14.7%	5.9%	0.0%	68
40代	1.4%	41.1%	2.7%	4.1%	26.0%	8.2%	15.1%	1.4%	73
50代	1.4%	49.3%	2.9%	10.1%	24.6%	4.3%	7.2%	0.0%	69
60代	2.3%	48.9%	3.4%	4.5%	34.1%	2.3%	3.4%	1.1%	88
70歳～	2.4%	28.6%	4.8%	4.8%	47.6%	2.4%	2.4%	7.1%	42

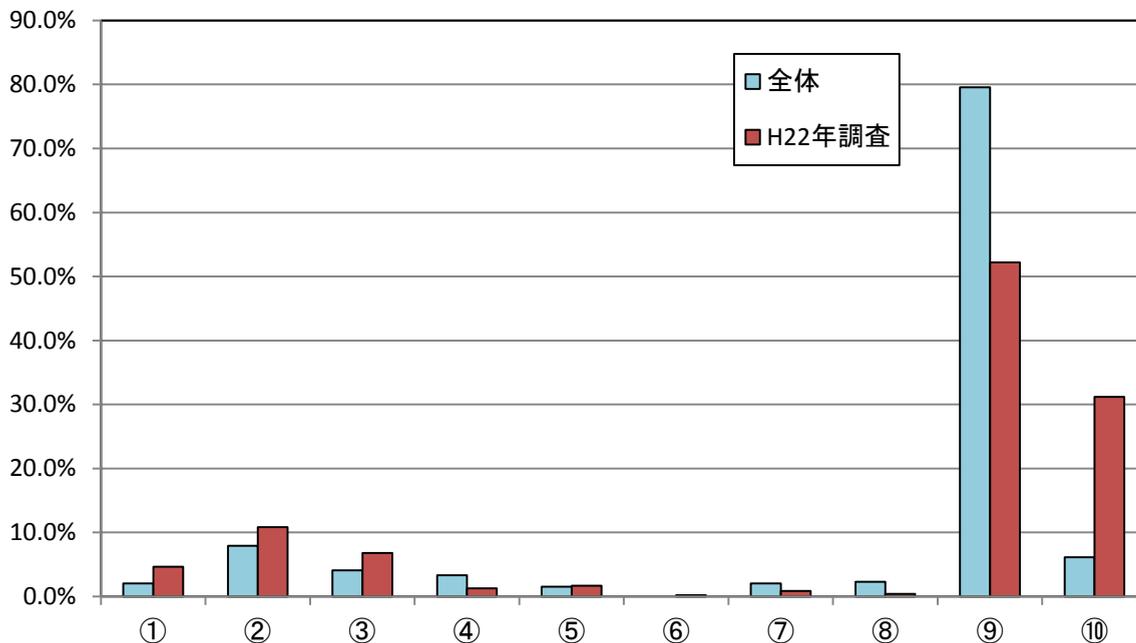
6. 配偶者等からの暴力（DV）等について

Q21 あなたはこれまでに、配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

DVをされた経験のある方は、14.4%

全体では、全回答から「そのようなことはない」79.5%、「無回答」6.1%を除くと14.4%となっています。また、「ののしる、おどす、大声でどなるなど言葉の暴力を受ける」が7.9%、「何を言っても長時間無視し続ける」が4.1%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、配偶者等からの暴力を受けた経験のある方は2.2ポイント減少しています。また、「ののしる、おどす、大声でどなるなど言葉の暴力を受ける」が2.9%減少し、「交友関係や電話を細かく監視する」が2.0%増加しています。

男女別では、男性は経験のある方は11.8%で、「何を言っても長時間無視し続ける」が3.1%、「ののしる、おどす、大声でどなるなど言葉の暴力を受ける」が4.6%、女性では、経験のある方は16.9%で、「ののしる、おどす、大声でどなるなど言葉の暴力を受ける」が11.2%、「なぐる、けるなどの身体的な暴力を受ける」が2.6%となっています。



	① 体的ななぐる、けるなどの身の暴力を受ける	② よるでののしる、おどす、大声でどなるなど言葉の暴力を受ける	③ 視し何をつも長時間無視し続ける	④ 交友関係や電話を細かく監視する	⑤ ないやがっているのに性的な行為を強要する	⑥ 見せたいやないの雑誌ポルノをみる	⑦ 生活費を渡さない	⑧ その他	⑨ そのようなことはない	⑩ 無回答	件数
全体	2.0%	7.9%	4.1%	3.3%	1.5%	0.0%	2.0%	2.3%	79.5%	6.1%	391
H22年	4.7%	10.8%	6.8%	1.3%	1.7%	0.2%	0.8%	0.4%	52.2%	31.2%	471
男	1.5%	4.6%	3.1%	2.6%	0.5%	0.0%	0.5%	3.6%	82.6%	5.6%	195
女	2.6%	11.2%	5.1%	4.1%	2.6%	0.0%	3.6%	1.0%	76.5%	6.6%	196

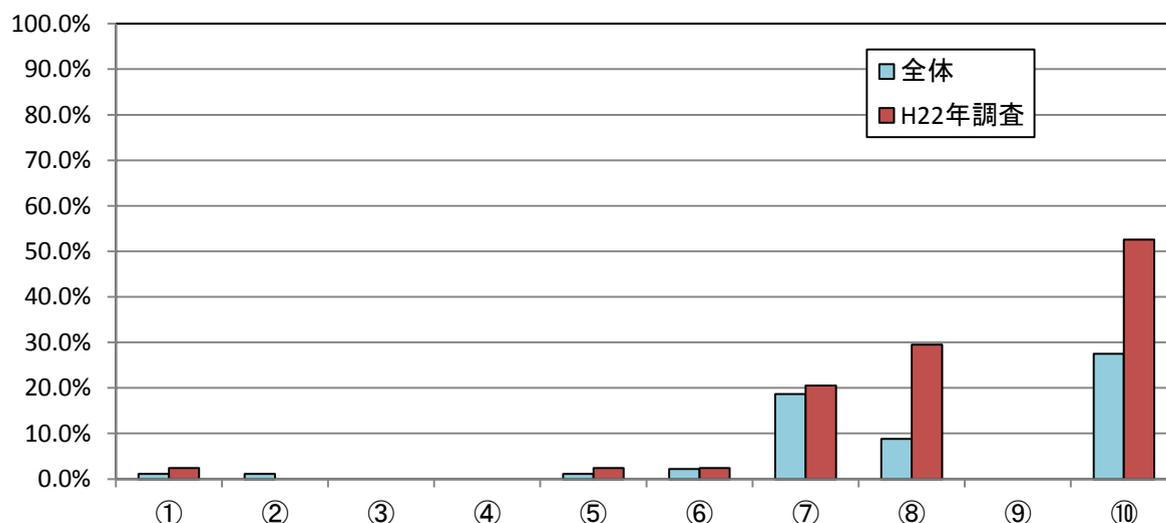
Q22 Q24で経験のある方にお聞きします。

そのような経験をされたとき、誰かに相談されましたか。（あてはまるものすべてに○）

DVをされた経験のある方の27.5%が「どこ（だれ）にも相談していない」

配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験のある方の相談先は、全体では、「友人・知人」が8.8%、「家族・親戚」が18.7%となっています。また、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が27.5%となっています。

男女別で見ると、男性は「友人・知人」が15.6%、「家族・親戚」が9.4%、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が34.4%、女性は「友人・知人」が5.1%、「家族・親戚」が23.7%、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が0%となっています。



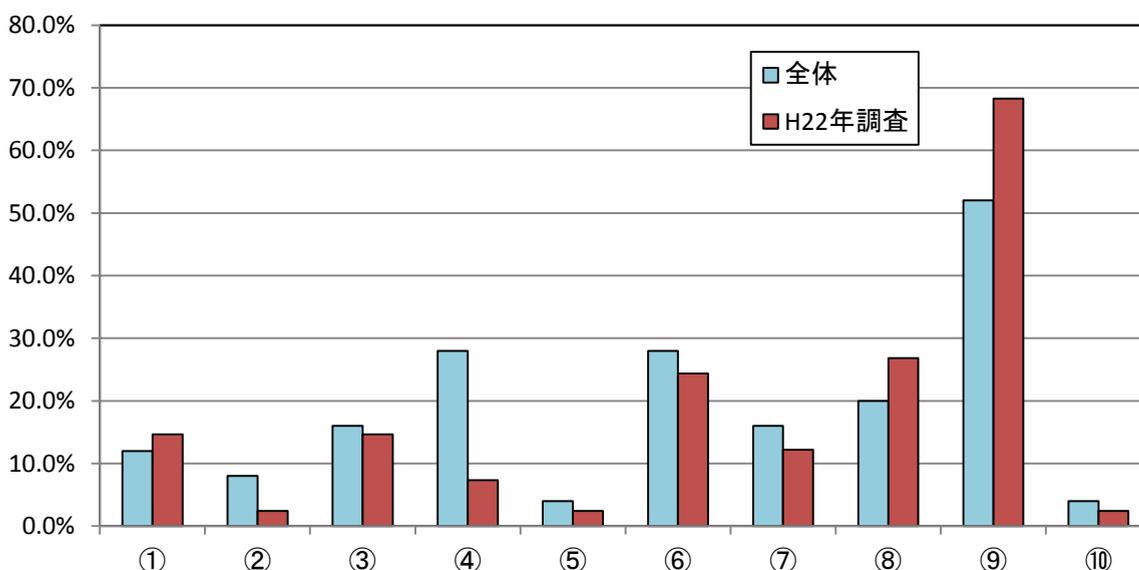
	①警察	②国・県・市の相談窓口	③民間の相談窓口	④民生・児童委員	⑤医師・カウンセラー	⑥家庭裁判所・弁護士	⑦家族・親戚	⑧友人・知人	⑨その他	⑩どこ（だれ）にも相談しなかった	件数
全体	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%	18.7%	8.8%	0.0%	27.5%	91
H22年	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	20.5%	29.5%	0.0%	52.6%	41
男	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%	9.4%	15.6%	0.0%	34.4%	32
女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.7%	5.1%	0.0%	0.0%	59

Q23 Q22で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。
 どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

**どこ（だれ）にも相談しなかった理由は、
 「相談するほどのことではないと思ったから」52.0%
 「相談しても無駄だと思ったから」28.0%**

「どこ（だれ）にも相談しなかった」理由は、全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が52.0%、「相談しても無駄だと思ったから」が28.0%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が28.0%となっています。

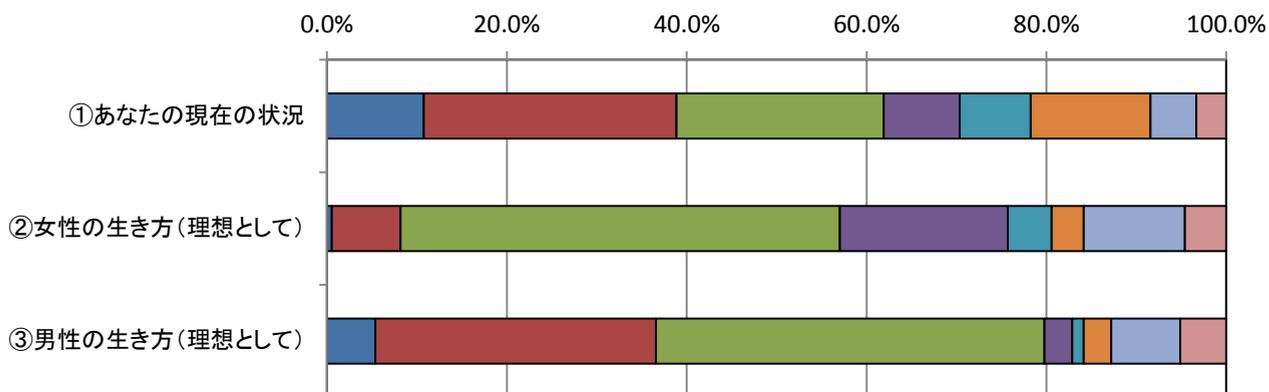
男女別でみると、男性では、「相談するほどのことではないと思ったから」が63.6%、「相談しても無駄だと思ったから」が45.5%、女性では、「相談しても無駄だと思ったから」が63.6%、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」が42.9%となっています。



	① 誰も相談する人がいなかったから	② どこ（だれ）に相談してよいかかわからなかったから	③ 恥ずかしくてだれにも言えなかったから	④ 相談しても無駄だと思ったから	⑤ 相談したことがわからず、返しを受けると思っただから	⑥ 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっつけたいと思っただから	⑦ 他人を巻き込みたくなかったから	⑧ 自分にも悪いところがあると思っただから	⑨ 相談するほどのことではないと思っただから	⑩ その他	件数
全体	12.0%	8.0%	16.0%	28.0%	4.0%	28.0%	16.0%	20.0%	52.0%	4.0%	25
H22年	14.6%	2.4%	14.6%	7.3%	2.4%	24.4%	12.2%	26.8%	68.3%	2.4%	41
男	18.2%	9.1%	18.2%	45.5%	0.0%	27.3%	36.4%	9.1%	63.6%	0.0%	11
女	7.1%	7.1%	14.3%	63.6%	7.1%	28.6%	0.0%	28.6%	42.9%	7.1%	14

Q26 仕事と、家庭生活または地域活動について、現在のあなたの状況と、人の生き方としてあなたが望ましいと思うのは、どのような生き方でしょうか。
(それぞれの項目ごとに1つ〇)

現状では「仕事を優先している」28.1%
女性の生き方(理想)では「両立させる」48.8%
男性の生き方(理想)では「両立させる」43.2%



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念している(専念する)
- 家庭生活または地域活動にも関わがあくまで、仕事を優先している(優先させる)
- 家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている(両立させる)
- 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている(優先させる)
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している(専念する)
- その他
- 分からない
- 無回答

	仕事に専念している(専念する)	家庭生活または地域活動にも関わがあくまで、仕事を優先している(優先させる)	家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている(両立させる)	仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている(優先させる)	仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している(専念する)	その他	分からない	無回答	件数
①あなたの現在の状況	10.7%	17.4%	23.0%	8.4%	7.9%	13.3%	5.1%	3.3%	391
②女性の生き方(理想として)	0.5%	7.7%	48.8%	18.7%	4.9%	3.6%	11.3%	4.6%	391
③男性の生き方(理想として)	5.4%	25.8%	43.2%	3.1%	1.3%	3.1%	7.7%	5.1%	391

Q26

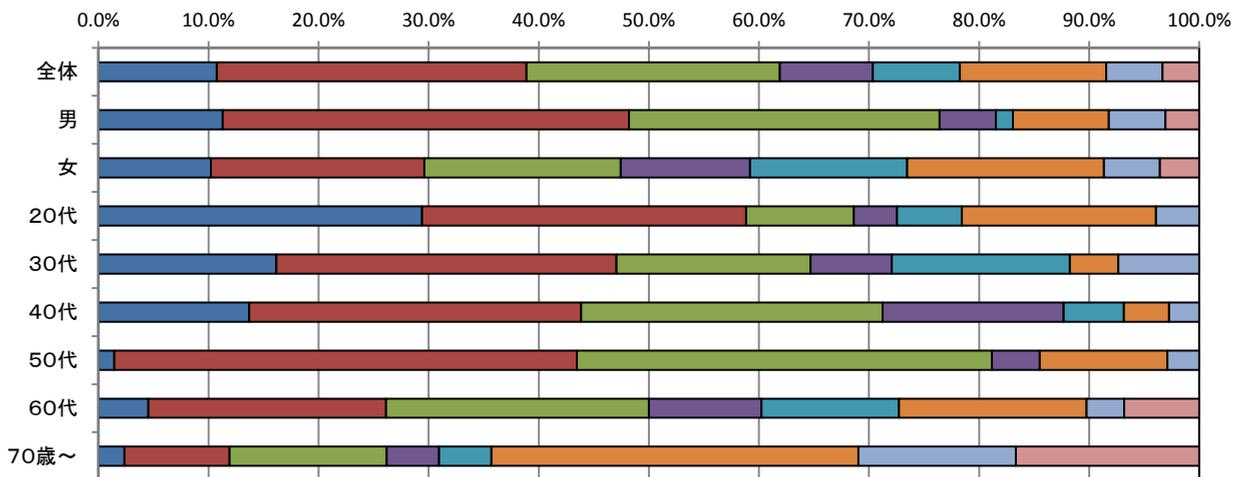
①あなたの現在の状況

現在の状況は「仕事を優先している」28.1%、
「両立させている」23.0%

全体では、「家庭生活または地域活動にも関わらなく、仕事を優先している（優先させる）」が28.1%で、「家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）」が23.0%となっています。

男女別では、全体と同じように「家庭生活または地域活動にも関わらなく、仕事を優先している（優先させる）」の割合が高くなっています。

年代別でも同じような割合になっています。また、60代、70歳以上では「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させている（両立させる）」の割合が高くなっています。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念している（専念する）
- 家庭生活または地域活動にも関わらなく、仕事を優先している（優先させる）
- 家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）
- 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている（優先させる）
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している（専念する）
- その他
- 分からない
- 無回答

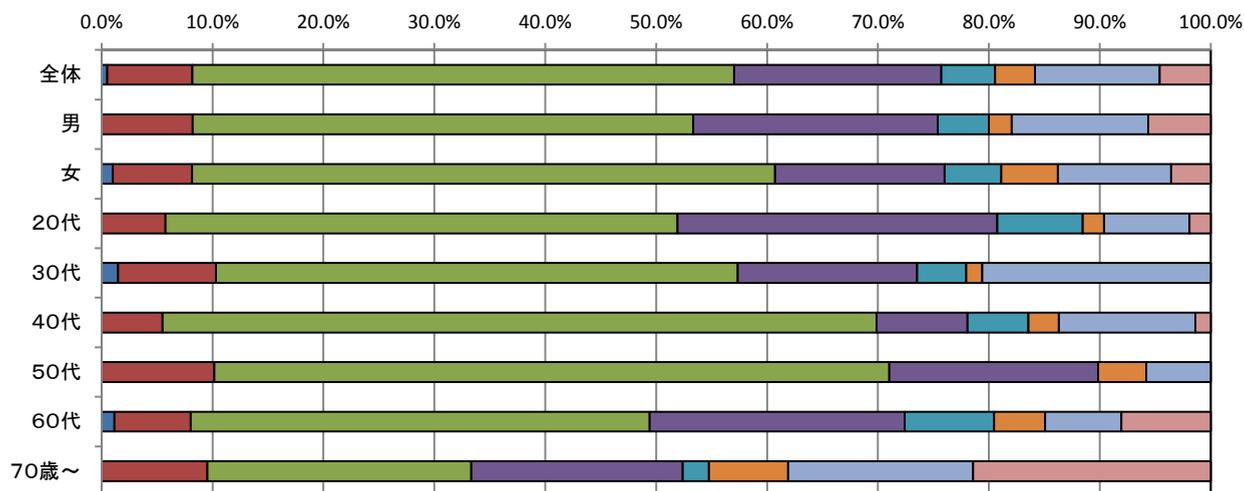
	念も家 す、庭 る、生 事、活 に、ま 専、た 念、は し、地 て、域 活、動 （、よ 専）	先関家 し、庭 る、生 事、活 に、ま 専、た 念、は し、地 て、域 活、動 （、よ 専）	い仕家 る、事 （、を 同、生 立、活 じ、ま さ、た さ、さ せ、う る、に ）は、	いま仕 （、は 優、地 先、域 さ、活 せ、動 る、を ）を、	念地仕 す、域、 事、活、 （、よ、 ）も、 専、家 念、庭 し、生 て、活 る、ま た、 専）	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答	件 数
全体	10.7%	28.1%	23.0%	8.4%	7.9%	13.3%	5.1%	3.3%	391
男	11.3%	36.9%	28.2%	5.1%	1.5%	8.7%	5.1%	3.1%	195
女	10.2%	19.4%	17.9%	11.7%	14.3%	17.9%	5.1%	3.6%	196
20代	29.4%	29.4%	9.8%	3.9%	5.9%	17.6%	3.9%	0.0%	51
30代	16.2%	30.9%	17.6%	7.4%	16.2%	4.4%	7.4%	0.0%	68
40代	13.7%	30.1%	27.4%	16.4%	5.5%	4.1%	2.7%	0.0%	73
50代	1.4%	42.0%	37.7%	4.3%	0.0%	11.6%	2.9%	0.0%	69
60代	4.5%	21.6%	23.9%	10.2%	12.5%	17.0%	3.4%	6.8%	88
70歳~	2.4%	9.5%	14.3%	4.8%	4.8%	33.3%	14.3%	16.7%	42

Q26 ②女性の生き方（理想として）

女性の生き方（理想として）は「両立させている」48.8%

全体では、「家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）」が48.8%、「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている（優先させる）」が18.7%となっています。

男女別、年代別でも「家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）」の割合が高くなっています。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念している(専念する)
- 家庭生活または地域活動にも関わがあくまで、仕事を優先している(優先させる)
- 家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている(両立させる)
- 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている(優先させる)
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している(専念する)
- その他
- 分からない
- 無回答

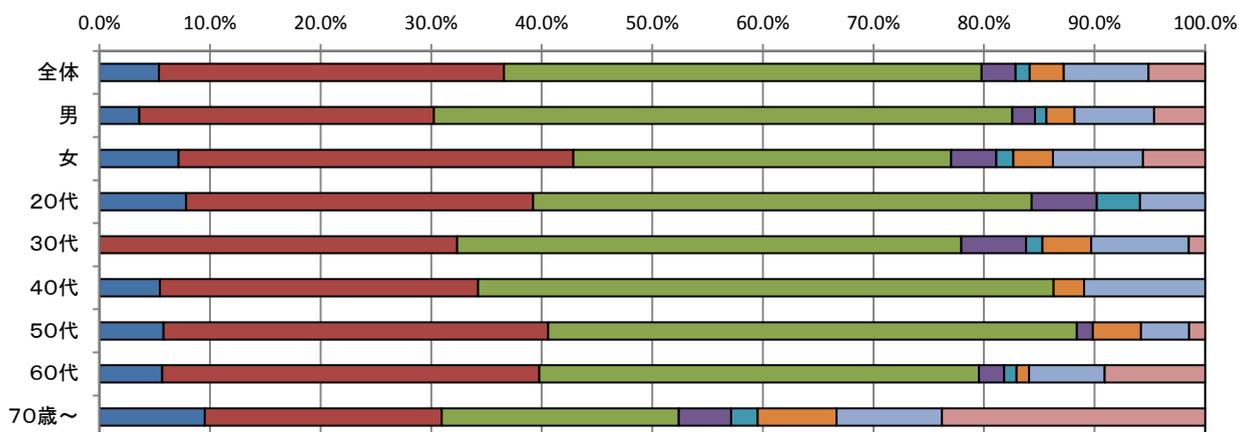
	すも家庭 る、庭生 す生活 にま 専念は して地 域活 動に 先 念	てわ家 いるが 庭生 活に あ く ま だ は 地 域 活 動 に 先 関	(事家 立庭 同生 させ活 ようま たは 地 域 活 動 と い る 仕	(たは 優は 先地 させ せる る を 優 先 さ せ て 生 活 す る ま	る域 仕 活事 動に より も 専 念 し て い る 生 活 に 専 念 す 地	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答	件 数
全体	0.5%	7.7%	48.8%	18.7%	4.9%	3.6%	11.3%	4.6%	391
男	0.0%	8.2%	45.1%	22.1%	4.6%	2.1%	12.3%	5.6%	195
女	1.0%	7.1%	52.6%	15.3%	5.1%	5.1%	10.2%	3.6%	196
20代	0.0%	5.8%	46.2%	28.8%	7.7%	1.9%	7.7%	1.9%	51
30代	1.5%	8.8%	47.1%	16.2%	4.4%	1.5%	20.6%	0.0%	68
40代	0.0%	5.5%	64.4%	8.2%	5.5%	2.7%	12.3%	1.4%	73
50代	0.0%	10.1%	60.9%	18.8%	0.0%	4.3%	5.8%	0.0%	69
60代	1.1%	6.9%	41.4%	23.0%	8.0%	4.6%	6.9%	8.0%	88
70歳~	0.0%	9.5%	23.8%	19.0%	2.4%	7.1%	16.7%	21.4%	42

Q26 ③男性の生き方（理想として）

男性の生き方（理想として）は「両立させている」43.2%

全体では、「家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）」が43.2%、「家庭生活または地域活動にも関わるがあくまで、仕事を優先している（優先させる）」が31.2%となっています。

男女別、年代別でも「家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）」の割合が高くなっています。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念している（専念する）
- 家庭生活または地域活動にも関わるがあくまで、仕事を優先している（優先させる）
- 家庭生活または地域活動と、仕事を同じように両立させている（両立させる）
- 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させている（優先させる）
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念している（専念する）
- その他
- 分からない
- 無回答

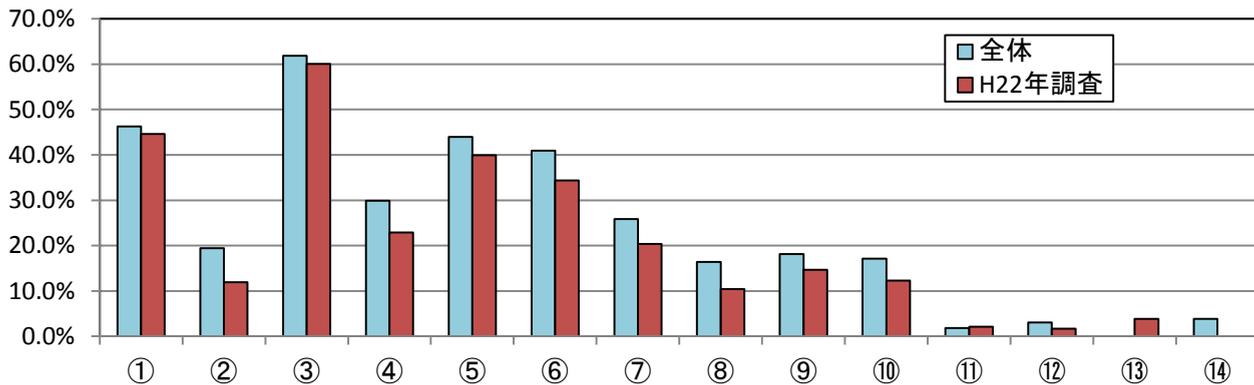
	念も家 す、庭 す、仕 事（に また 専念 して 地域 活動 （よ り専 断）	先関家 する庭 るわ生 ては活 るが いる あ く た は 地 域 活 動 に 優 も	い仕家 る事庭 （を ）同 立 じ ま さ よ う は 地 域 活 動 と 、	いま仕 （は ）も 優 先 地 域 活 動 を 優 先 し て 活	念地仕 す域事 （活 ）動 に も 、 専 念 家 庭 生 活 ま た は 専	そ 他	分 か ら な い	無 回 答	件 数
全体	5.4%	31.2%	43.2%	3.1%	1.3%	3.1%	7.7%	5.1%	391
男	3.6%	26.7%	52.3%	2.1%	1.0%	2.6%	7.2%	4.6%	195
女	7.1%	35.7%	34.2%	4.1%	1.5%	3.6%	8.2%	5.6%	196
20代	7.8%	31.4%	45.1%	5.9%	3.9%	0.0%	5.9%	0.0%	51
30代	0.0%	32.4%	45.6%	5.9%	1.5%	4.4%	8.8%	1.5%	68
40代	5.5%	28.8%	52.1%	0.0%	0.0%	2.7%	11.0%	0.0%	73
50代	5.8%	34.8%	47.8%	1.4%	0.0%	4.3%	4.3%	1.4%	69
60代	5.7%	34.1%	39.8%	2.3%	1.1%	1.1%	6.8%	9.1%	88
70歳～	9.5%	21.4%	21.4%	4.8%	2.4%	7.1%	9.5%	23.8%	42

Q27 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が必要 61.9%

全体では、「夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかること」61.9%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」46.3%となっています。前回調査（H22年）と比較すると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合は1.8ポイント増加し、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合は1.7ポイント増加しています。

男女別でも「夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかること」が最も多くなっています。他に「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」「社会の中で、男性による家事・子育て・介護・地域活動についても、その評価を高めること」も高い割合となっています。



	① 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	② 男性が家事などに参加することに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	③ 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	④ 年配者や周りの人が、夫婦の役割を担うこと	⑤ 社会の中で、男性による家事、子育て、その評価を高めること	⑥ 労働時間短縮や休暇の取得を普及すること	⑦ 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めること	⑧ 国や地方自治体などの研修等に、男性の参加を促すこと	⑨ 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間づくり	⑩ 家庭や地域活動と仕事の両立しやすい環境づくり
全体	46.3%	19.4%	61.9%	29.9%	44.0%	40.9%	25.8%	16.4%	18.2%	17.1%
H22年	44.6%	11.9%	60.1%	22.9%	39.9%	34.4%	20.4%	10.4%	14.6%	12.3%
男	40.5%	19.5%	63.6%	24.6%	40.0%	42.6%	25.6%	16.4%	19.5%	16.4%
女	52.0%	19.4%	60.2%	35.2%	48.0%	39.3%	26.0%	16.3%	16.8%	17.9%

	⑪ その他	⑫ 特に必要なことはない	⑬ わからない	⑭ 無回答	件数
全体	1.8%	3.1%	0.0%	3.8%	391
H22年	2.1%	1.7%	3.8%	0.0%	471
男	2.1%	4.1%	0.0%	5.1%	195
女	1.5%	2.0%	0.0%	2.6%	196

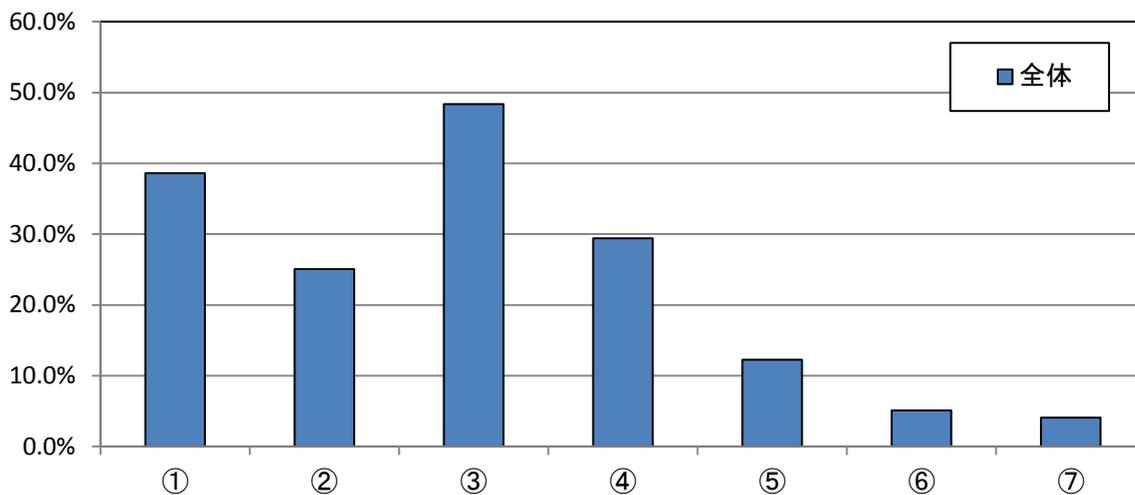
Q28 新都市の政策・方針を決定する審議会などにおける女性委員の登用状況は21.6%と低いですが、それは、どのような理由からだと思えますか。（〇は2つまで）

**「女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから」
48.3%**

全体では、「女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから」48.3%、「女性自身が社会進出に消極的だから」38.6%となっています。

男女別でも「女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから」の割合が高くなっています。

年代別でも「女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから」が高い割合になっています。その中でも20代、30代、70歳以上では、半数以上の割合になりました。



	① 女性自身が社会進出に消極的だから	② 女性の社会進出をよく思わないの社会通念があるから	③ 女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから	④ 家庭があるため女性には社会進出できない	⑤ 女性の指導力が男性と差があるから	⑥ その他	⑦ 無回答	件数
全体	38.6%	25.1%	48.3%	29.4%	12.3%	5.1%	4.1%	391
男	39.5%	22.6%	47.7%	28.2%	13.3%	6.7%	5.1%	195
女	37.8%	27.6%	49.0%	30.6%	11.2%	3.6%	3.1%	196
20代	47.1%	13.7%	51.0%	41.2%	11.8%	2.0%	0	51
30代	29.4%	25.0%	50.0%	32.4%	11.8%	8.8%	0	68
40代	35.6%	31.5%	32.9%	28.8%	6.8%	5.5%	1.4%	73
50代	40.6%	27.5%	44.9%	30.4%	21.7%	5.8%	1.4%	69
60代	43.2%	30.7%	48.9%	22.7%	12.5%	3.4%	6.8%	88
70歳～	35.7%	11.9%	50.0%	23.8%	7.1%	4.8%	19.0%	42

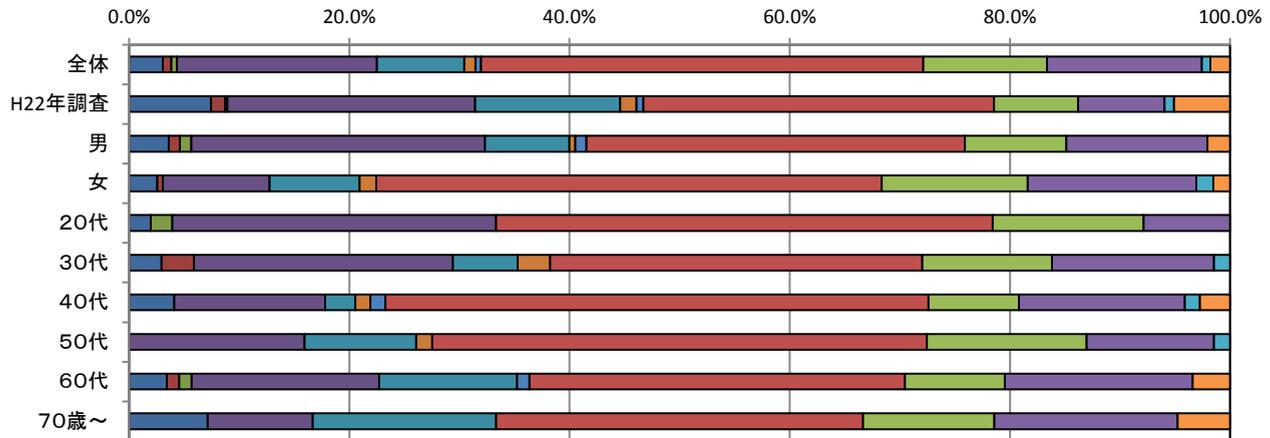
8. 介護について

Q29 あなたは、要介護者などの身の回りの世話は、どのような形をとるのが最も望ましいと思いますか。（1つに〇）

「家族全員で世話、かつ在宅サービス利用」40.2%

全体では、「家族全員で世話をし、かつ在宅サービスを利用する」が40.2%で高い割合になっています。

男女別、年代別でも「家族全員で世話をし、かつ在宅サービスを利用する」が最も高い割合になっています。また、男性と20代、30代では、「家族全員で世話をし、在宅サービスを利用する」の割合が20%を超えています。



- 1. 配偶者が世話
- 2. 娘や嫁などの家族の女性が世話
- 3. 息子が世話
- 4. 家族全員で世話
- 5. 主に配偶者が世話し、かつ在宅サービス利用
- 6. 娘や嫁などの家族の女性が世話し、かつ在宅サービス利用
- 7. 主に息子が世話し、在宅サービス利用
- 8. 家族全員で世話し、在宅サービス利用
- 9. 介護保険制度などの在宅サービス利用
- 10. 介護保険施設を利用
- 11. その他
- 無回答

	① 配偶者が世話	② 家族の娘や嫁などの女性が世話	③ 息子が世話	④ 家族全員で世話	⑤ 主に配偶者が世話し、かつ在宅サービス利用	⑥ 娘や嫁などの家族の女性が世話し、かつ在宅サービス利用	⑦ 主に息子が世話し、在宅サービス利用	⑧ 家族全員で世話し、在宅サービス利用	⑨ 介護保険制度などの在宅サービス利用	⑩ 介護保険施設を利用
全体	3.1%	0.8%	0.5%	18.2%	7.9%	1.0%	0.5%	40.2%	11.3%	14.1%
H22年	7.4%	1.3%	0.2%	22.5%	13.2%	1.5%	0.6%	31.8%	7.6%	7.9%
男	3.6%	1.0%	1.0%	26.7%	7.7%	0.5%	1.0%	34.4%	9.2%	12.8%
女	2.6%	0.5%	0.0%	9.7%	8.2%	1.5%	0.0%	45.9%	13.3%	15.3%
20代	2.0%	0.0%	2.0%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	45.1%	13.7%	7.8%
30代	2.9%	2.9%	0.0%	23.5%	5.9%	2.9%	0.0%	33.8%	11.8%	14.7%
40代	4.1%	0.0%	0.0%	13.7%	2.7%	1.4%	1.4%	49.3%	8.2%	15.1%
50代	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	10.1%	1.4%	0.0%	44.9%	14.5%	11.6%
60代	3.4%	1.1%	1.1%	17.0%	12.5%	0.0%	1.1%	34.1%	9.1%	17.0%
70歳～	7.1%	0.0%	0.0%	9.5%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	11.9%	16.7%

	⑪ その他	⑫ 無回答	件数
全体	0.8%	1.8%	391
H22年	0.8%	5.1%	471
男	0.0%	2.1%	195
女	1.5%	1.5%	196
20代	0.0%	0.0%	51
30代	1.5%	0.0%	68
40代	1.4%	2.7%	73
50代	1.4%	0.0%	69
60代	0.0%	3.4%	88
70歳～	0.0%	4.8%	42

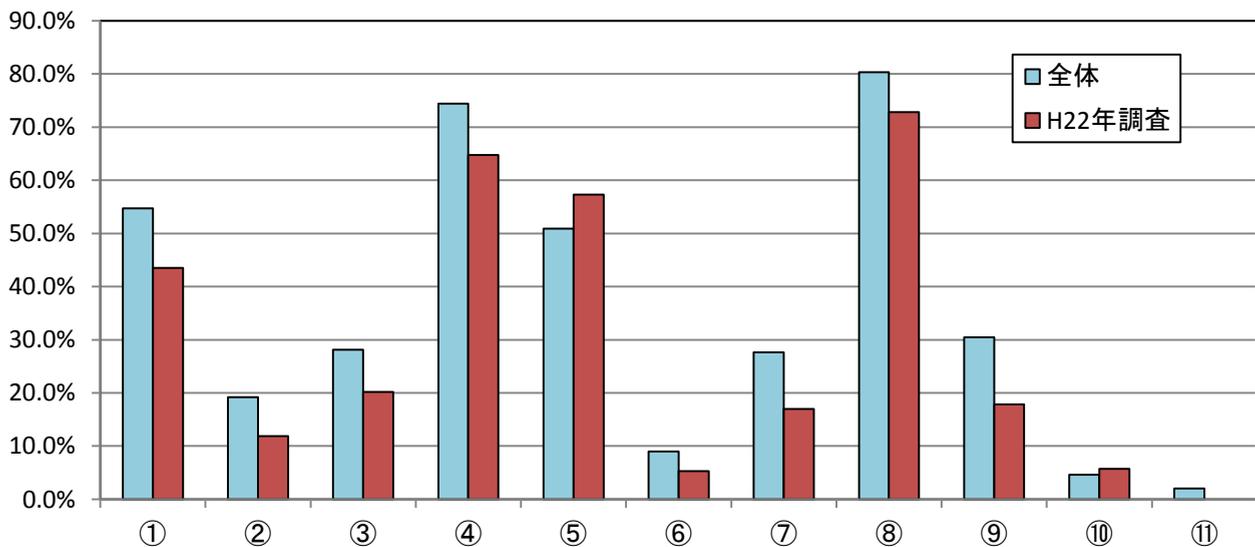
9. 男女共同参画社会に関する意識について

Q30 これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものをあげてください。
(あてはまるものすべてに○)

「男女共同参画社会」の知名度は54.7%

全体では、「DV（配偶者からの暴力）」80.3%、「男女雇用機会均等法」74.4%、「男女共同参画社会」54.7%と高い割合になっています。

前回調査（H22年）と比較すると「DV（配偶者からの暴力）」7.5ポイント増加し、「男女雇用機会均等法」9.6ポイント増加し、「男女共同参画社会」11.2ポイント増加と、ほとんどの項目が増加していますが、「育児・介護休業法」だけが6.4ポイント減少しています。



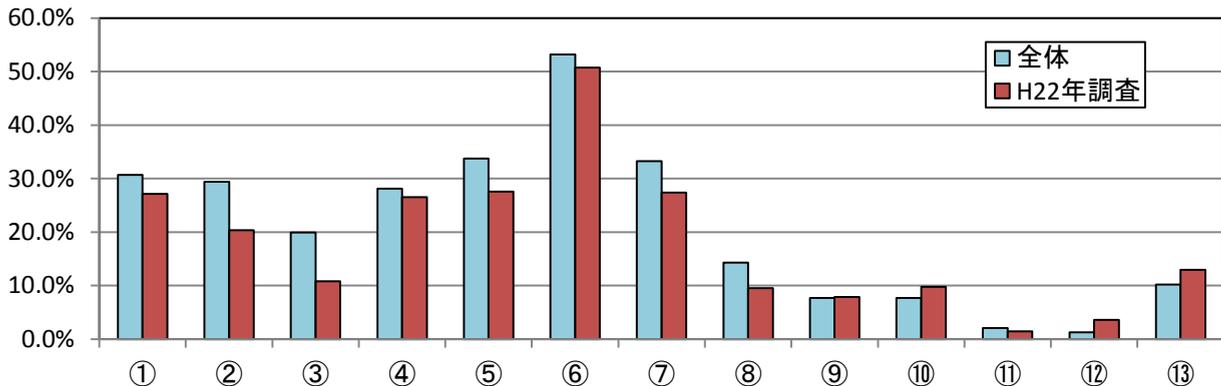
	① 男女共同参画社会	② 女子差別撤廃条約	法③ 男女共同参画基本	法④ 男女雇用機会均等	⑤ 育児・介護休業法	措⑥ ポジティブアクション（積極的改善措置）	れ⑦ ジェンダー（社会的・文化的に）	ら⑧ DV（配偶者等からの暴力）	調⑨ ワークライフバランス（仕事と生活の調和）	た⑩ 見たり聞いたりしたものはない
全体	54.7%	19.2%	28.1%	74.4%	50.9%	9.0%	27.6%	80.3%	30.4%	4.6%
H22年	43.5%	11.9%	20.2%	64.8%	57.3%	5.3%	17.0%	72.8%	17.8%	5.7%
男	59.0%	19.5%	28.7%	74.4%	47.7%	6.2%	26.2%	79.0%	32.3%	4.1%
女	50.5%	18.9%	27.6%	74.5%	54.1%	10.7%	29.1%	81.6%	28.6%	5.1%

	⑪ 無回答	件数
全体	2.0%	391
H22年	0.0%	471
男	1.5%	195
女	2.6%	196

Q31 「男女共同参画社会」を形成してくため、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。（あてはまるすべてに○）

行政が力を入れていくべきことは、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」53.2%

意見にばらつきがみられます。その中でも「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が最も多くなっています。「法律や制度の面で見直しを行う」「女性を政策決定の場に積極的に登用する」「職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う」「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なくなった分野などへ女性の進出を促進するため職業訓練を充実する」「学校教育や社会教育の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が30%前後と高い割合になっています。



	① 法律や制度の面で見直しを行う	② 女性を政策決定の場に積極的に登用する	③ 各種団体の女性のリーダーを養成する	④ 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う	⑤ 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の進出を促進するため職業教育や職業訓練を充実する	⑥ 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	⑦ 学校教育や社会教育等の生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力について学習を充実する	⑧ 女性や男性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する	⑨ 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	⑩ 広報紙やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
全体	30.7%	29.4%	19.9%	28.1%	33.8%	53.2%	33.2%	14.3%	7.7%	7.7%
H22年	27.2%	20.4%	10.8%	26.5%	27.6%	50.7%	27.4%	9.6%	7.9%	9.8%
男	33.8%	32.3%	23.6%	31.3%	31.3%	46.7%	31.8%	14.4%	8.7%	8.2%
女	27.6%	26.5%	16.3%	25.0%	35.2%	59.7%	34.7%	14.3%	7.1%	7.1%

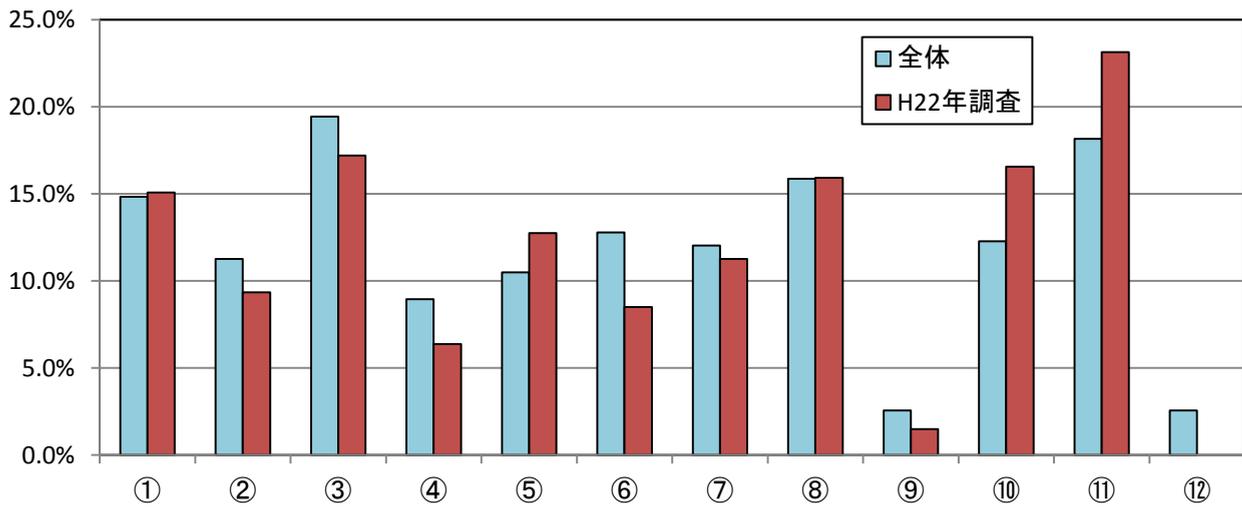
	⑪ その他	⑫ 特にない	⑬ わからない	件数
全体	2.0%	1.3%	10.2%	391
H22年	1.5%	3.6%	13.0%	471
男	2.6%	1.5%	10.8%	195
女	1.5%	1.0%	9.7%	196

Q32 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、あなた自身としてはどのようなことに力を入れていきたいと思っていますか。（あてはまるものすべてに○）

**私たちが力を入れていきたいことは、
『「男女共同参画」をまず自分の職場、学校、家庭の中で実践
してみる』が19.4%**

全体では、「『男女共同参画』をまず自分の職場、学校、家庭の中で実践してみる」と回答した割合が高く、次いで「行政にまかせる」、「家族及び身近な人たちと、『男女共同参画社会』について話し合う」となっています。

男女別でも、「『男女共同参画』をまず自分の職場、学校、家庭の中で実践してみる」と回答した割合が最も高くなっています。



	① 家族及び身近な人たちと話し合う	② 知識を広げる	③ 「男女共同参画」をまず自分の職場、学校、家庭の中で実践してみる	④ ネットワークとして拡大するための活動を行う	⑤ 地域の中で常に話題として挙げる	⑥ 地域の中で「男女共同参画」を実践してみる	⑦ 職場、学校、家庭において「男女共同参画」を呼びかける	⑧ 行政に任せる	⑨ その他	⑩ 特にない
全体	14.8%	11.3%	19.4%	9.0%	10.5%	12.8%	12.0%	15.9%	2.6%	12.3%
H22年	15.1%	9.3%	17.2%	6.4%	12.7%	8.5%	11.3%	15.9%	1.5%	16.6%
男	15.9%	12.8%	19.0%	10.8%	10.8%	13.3%	13.8%	17.4%	2.6%	10.3%
女	13.8%	9.7%	19.9%	7.1%	10.2%	12.2%	10.2%	14.3%	1.0%	14.3%

	⑪ わからない	⑫ 無回答	件数
全体	18.2%	2.6%	391
H22年	23.1%	0.0%	471
男	15.9%	2.6%	195
女	20.4%	2.6%	196

ご意見・ご要望

「男女共同参画社会づくり」他県・市等での見学会の実施。若者が働く場所環境の充実が必要である。さびれた街は見たくない、参画で何とか活性化できないか。

高齢で目的にそわない回答があると思います。

今の世の中、職場でも家庭でも男の仕事・女の仕事はないと思います。何でもやる気です。私には息子も娘もいますが、息子にも家事を娘にも力仕事？何でもできる子に育ててほしいです。

行政において力を持っている、じい様達がたいてい男尊女卑の考えが強いので、年寄りは一ささと引退してもらって、若い人が実権を持つようになったら徐々に男女が平等になっていくのではないのでしょうか。何十年後かに男女共同参画社会ができるように高校生くらいにそういうすりこみをしてみるのはどうでしょう。

私の職場ではかなり女性が優遇されているので特に不満はないです。でも子供の保育や親の介護の負担が女性に大きいのしかかる現実もよく理解できます。行政として少しでも負担が軽くなるように尽力いただければ幸いです。

女性の上司だからといって女性に理解あるとは限らない。男対女だけでなく、女対女の意識改革が必要。

いることにより、女性はその権利を使いにくい状況が生まれてしまう。制度を作ったら人的補償等の制度も補わないとただの絵に描いた餅のような制度になってしまいます。例えば、教育現場で短時間休暇制度で休む職員が出ると教務や教頭等にしわよせがいき、結果的にそのしわよせが言った者の家庭を犠牲にしてやっと制度が生きることになるようではおかしいことになる。みかけ上先進的な立派な制度でも、そのことで誰かに過重負担が生まれるようでは制度が形骸化されると思います。

男女差別をなくすことはよいことだと思うが、それにとらわれて能力もないのに役職につけるのは反対。設問が女性によりすぎていて不快でした。男性が差別されていることもあると思います。

「男女が互いに尊重し性別に関わりなく…」とありますが、今平等でない状況だから「男女共同参画形成」となるのでしょうか？男女それぞれの役割分担ができた方がバランスがとれると思います。現在女性でも社会的に活躍している方は大勢みえます。男だから女だからと社会的不満のある市の職員・新城市民が多いという事でしょうか？

職場の規定や家族の協力により妊娠・流産を繰り返しながらも出産・育児・親の介護をし無事定年退職ができた。20数年前の介護中は制度も整ってなく、地域の人々や家族の協力を得ての格闘の日々。数年後に専門病院を自ら探しお願いをしました。現在は制度も施設も充実されつつあり女性が働き続ける事も可能ですが、男性と同等に働くには知識の獲得・職場の雰囲気、何よりも本人の意識・覚悟・体力・気力が重要。就職以前から認識必要。

何をしてよいかピンときませんが…。地震や津波等、災害訓練の役割分担？から具体的に細かく決めて行けば、同時に男女が協力？する機会が増えていき、お互い尊重し合えるのではないかと思います。

まだまだ一般の人にはなじみがない、行政の内部でのテーマのような感じである。

参画社会作りはまず身近な所から意識を高める活動が求められる。議員の男女比率を均等にすべき女性リーダーの意識。

偏見を持っている人はそれが偏見だという事に気がついていないと思う。その事に気づいてもらう機会を行政で行うことができればいい。

保育園は16時までだったが、こども園は14時30分までになったため女性が増々働きにくくなった。

男女平手も良いが、各個人がそれぞれの得意分野を活かせる社会づくりが必要だろう。男女とも得手不得手はあるのだから、互いの苦手な部分を補い合える社会づくりが結局男女の平手に繋がるのではないか。

女性と男性は体からして違うので、全く同じに扱うことはできないと思っていて、そういう互いの性差を踏まえて上での平等を考えることが大事なのではないかと思います。

市民の意識は少しずつ良い方向に進んでいるように思います。特にQ31で掲げられている事を新城市ではぜひ実践をしていただきたいと思います。プラン倒れで終わってはいけない大切な事ばかりです。

「男女共同参画社会」の意味、意図、必要性が分からない。

<p>現在は昔よりも男女共に平等に近い状態になってきているが、やはり昔からの男性の生き方・女性の生き方の考え方は変わらないと思う。男は仕事、女は家庭という固定概念はなかなか消えることはないと思うが個人・社会が意識を変えていくようになってほしい。</p> <p>そして今は男性も家庭を女性も仕事をと助け合っていかななくてはいけない時代と思うので、女として生まれた私自身が仕事を専念していこうと思います。新城市が住みやすい町になってくれるよう私自身も意識を高めていきたいと思っています。新城市をよろしくお願いします。</p>
<p>女性が参加しやすいよう託児所。産休等とりやすくする。</p>
<p>男女共同参画社会になったら、具体的にこうなるという内容をテレビやDVDなどの画像・映像などで表現し、現状からの移行する方法などを徐々に浸透させて、違和感を少なく受け入れられるような環境づくりが必要であると思います。</p>
<p>男女の完全な平等ということは、身体的・脳的な違いがあり、無理だと思う。むしろ、その違いをお互いに補い合える夫婦関係、職場でのパートナーシップ、つまりは思いやりや歩みよりが必要だと思う。</p>
<p>社会において女性が気づくべきこと、男性が気づくべきこと、多々あるとは思いますが、平等に平等にと過度になりすぎず、「女性が」「男性が」と過度になりすぎないことが大切だと思います。</p>
<p>働きたくても働けない女性が多い。特に子育て世代。子供を預ける場所が少ない。結局は親世代に手伝ってもらうが、気がねがあり、働くのをあきらめてしまう。習い事も仕事があればさせられない。何とかしてほしい。男性は仕事をすれば家庭の事は考えなくてもよいが、女性は大変。</p>
<p>男女で差があるのは当たり前だと思います。お互いの差を認識した上で、社会に参画していけば良いと思います。</p>
<p>男性や子供も幸せに感じられるような対策を。子供たちを社会全体で育成できる社会にもっとなれば、親も安心できるし、行政や制度にはばかり頼らずに予算もかからない。(スーパーで見ていると新城市の子供たちは行儀が悪いと思う。また、虐待を予感させるような痩せ細った子供たちも見る。親としての知識や自覚がない若い親も見る。さしあたっての問題として若い夫婦への支えや教育(特に食)が必要だと多出するたびに思う。)</p>
<p>女性が住んでみたいお洒落な街にする。</p>
<p>1人1人の意識を変えることが大切だと思いますが、とても難しい事だと思います。研修会、勉強会などで教えられても、頭では解るのですが、なかなか行動に移せないのが現状ではないかと思うのです。いくら知識を持って自分が変わらないので、周りが変わらないのだと思うのです。知識を持つことは大切な事だと思います。しかし、行動がともなわなければなりません。人間が行動を起こす時は「気づき」自分の中から気づいた時だと思います。知識を広める為のセミナーでなく「気づきのおきる」セミナーをお願いしたいと思っています。以前、名古屋で1度だけお聞きした事がありました、夏木ルミ子さんの講演で「自分らしく生きる」テーマでした。とても印象深く、まさしく「気づきのセミナー」だったと思いましたので、ぜひまたあの講演をお聞きしたくお願い申し上げます。</p>
<p>どのように活用されるか。市政全体を見てのアンケートかと思うが、最重要課題は何か、させ、取り組む。申し訳ないが、手を広げすぎ。</p>
<p>学校のPTA役員は会長を除き、母親が任うのが当然になっているが、これはおかしいと感じる。そもそもPTA活動は働くお母さんにとって荷が重すぎると感じる。本当に必要なことのみ最小限の負荷にしてほしい。(どうでもいい行事が多すぎる)</p>
<p>各市議の活動が見えない。見えてこない。だからこそ、さらに活発な動きを期待しています。</p>
<p>新城市のような小さい市では「男は仕事、女は家庭」という昔ながらの伝統的性別役割意識がまだまだ強く根付いているのではないかと思います。そういう意識の中で育った女性は「いずれ結婚して男の人に養ってもらえば良い」と考え、自立の必要を感じなくなってしまう(非正規に甘んじる)のでは?あと、学校卒業後非正規で働く若者が多くいます。彼らの現状を知り、しっかりサポートする仕組みを作してほしいです。</p>
<p>市役所の女性管理職が増える事を望みます。</p>
<p>「男女共同参画社会づくり」のテーマで広報しんしろの内容に入れて、他の人にも内容や状況がわかるようにしてほしい。</p>
<p>男女それぞれが互いを思いやる社会作りが大切で男女を越えた人作りとしての問題になると思います。</p>
<p>このようなアンケートを行った事で何が利点があるのですか?もっと分かりやすい言葉、アンケート内容にした方が良くと思う。</p>

この世には男と女しかいない。それぞれの力量・特性を理解し、尊重することが大事だと思う。男女問題に限らず「教育」が一番だと思う。「教育」は学校教育だけではない。家庭、地域、社会、全てが責任を負い協力すべきだと思う。
思いやり、いたわりの心と気持ちがあれば、男女はうまくいくと思う。年金生活になっても働けるうちは動いて社会に奉仕する気持ちで生活できればいいです。
この質問の意味が判らない。女性の質問を全員に聞いていると思います。答えに困ります。
男女平等を考えても、やはり大変な仕事は男性がやるし、それを女性もやれ！と言われる女性側はイヤと言うだろうし、女性がもっと平等になりたいと思うならレディファーストの行為もなくせばいいと思う。私はレディファースト必要ですが。考えも皆さんバラバラの意見をまとめるのは大変だと思いますが、コレをやります！と言えば日本人はぶつぶつ言いながらちゃんとしていくのではないのでしょうか。
法律や制度などで女性を支援しつつ、なぜ女性には支援が必要なのか、男性にはなかなか理解してもらえない部分をきちんと理解してもらいたい。制度などで女性優遇に不満をもつようであると、その後の人間関係にも影響すると思う。
これからは女性も働かないと生活が難しい時代になっていくと思う。女性が家庭を持ち、子育てしながらでも働ける様な環境の整備をしてほしいと思う。
今は制度の上で一定割合を設定し、女性登用していくと伴に学校教育で学習する。何年か後、社会に浸透し、逆に差別と感じてきたとき平等に戻す。
女性の意識改革、能力向上をはかる対策を積極に行った上での共同参画でなければ、女性にとってかえって過度な負担になりかねないのでは？女性の中には平等を本当に望んでいないと思われるような責任感の欠如が認められる方も見受けられます。
女性は窓口を設ければそれを利用すると思いますが、男性はそのような制度を利用することに抵抗があるのではないのでしょうか。（匿名での電話などなら利用できるかもしれませんが）女性への配慮はもちろんですが、男性への配慮も同時に必要になってくる部分もあるのではと思いました。
最後までアンケートに答えたら「男女共同参画社会」の意味がわかるのかな？と進めてきましたが、いまひとつ意味が理解できませんでした。
男女共同参画社会の制度・支援づくりも大切ですが、それによるムードづくりも重要なと思います。
区別の説明会を
女性（既婚者）が社会に進出するには、家族もそうですが色々の方の助けがないとできません。まずは、働ける環境を作る事から始めなければ前に進めません。
教育が大切だと思います。男女と差別するより、個人の個性を活かせる世の中になってほしい。男らしさ、女らしさは幼い頃からの教育が必要でそれを分かった上での尊重が必要だと思います。
今現在、契約社員で働いているが子供をもっているが男性の倍以上働かないと評価されないし、雇用も安定しない。周りの人間は女親が子供を見るべきと言っているが、社会的に矛盾しているような気がする。子供を見るべきと言うのであれば、安定して収入を得られる形を作るべきだと思う。
毎年送られてくるアンケートの内容は、毎回分かりにくい。必要な説明文もなしに質問に答えなさいって…。「男女共同参画社会」って何ですか？男女平等は無理だと思います。全て平等では成り立たない。男性だってセクハラを受ける時代。女性だけアンケート。すでに平等ではない。
結局意識の問題だから形でいろいろやってもそれは「やっているよ」と言うためだけの税金の無駄使いに終わるのでは。 女性であろうと同等の人間、相手を人として尊重する気持ちの問題。風俗・習慣・社会習慣が変わらないとなかなか。今まで男の意識改革を念頭に書いてきたが、本当は女性の意識改革の方が大事かも。年寄りに「あの女、生意気！」と言われても平気で真ん中に座るとか「我が家は夫より私の方が能力があるから区長は私がやる」と言う人が出てくればと思う。女性自身が男社会をうまく利用しているのでは。僕は本当に男女共同社会が出来れば、男女の平均寿命は同等になるのでは、生きている間に是非完成することを望むものである。）
男女平等の前に、市政が閉鎖的なので、もっと市民の意見が反映される行政を行って欲しい。 ③結婚・家庭生活の質問は、個人の自由だと思います。市がとやかく言う問題ではない。
男性がわがまま、幼稚だと感じる。男性が意識を変えることが必要。
不快な質問が多かった。